Canon

MP740/MP710 ソフトウェアガイド

本書では、MP740/MP710 のことを「本機」と書きます。
また、MP740 のことを「ファクスモデル」と書きます。

目次

はじめに

本書について

本書は、Windows の基本的な使い方やパソコンを起動する方法を理解していることを前提に説明しています。ウィンドウ、ダイアログボックス、ポイント、ドラッグなどの一般的な Windows の用語については、説明していません。これらの用語については、Microsoft Windows の取扱説明書をご覧ください。

本書では、原則として Windows XP の画面を使っていますが、必要に応じて Windows 98/Me/2000 の画面も掲載しています。お使いの環境によって画面が少し異なることがあります。ご了承ください。
Windows XP のコントロールパネルの操作は、「カテゴリの表示」での操作を掲載しています。

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。
参考	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

表記について

本書では、次のように表記しています。

[ ]	[ ] で囲んでいるものは、画面名、画面に表示される項目、ボタン名、メニューのコマンドです。
/（スラッシュ）	OS や機種名を併記するときに使います。 たとえば、Windows 2000 と Windows XP を、「Windows 2000/XP」と表記しています。
画面	ダイアログボックスは「画面」と表記しています。
本機	PIXUS MP740/MP710 を指します。
原稿	本機でコピーしたり読み込んだりする書類や写真、本などを指します。

商標について

Canon は、キヤノン株式会社の登録商標です。PIXUS、MP、ScanGear、および BJ は、キヤノン株式会社の商標です。
Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

略称について

本書に記載している名称は下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 および 98 Second Edition：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 Professional：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP Professional および Home Edition：	Windows XP
Microsoft® Word：	Word

お客様へのお願い

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。

本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がございましたら、最寄のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

本機を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

出版物などからスキャンした文章や画像を自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられておりますので、ご注意ください。

本書以外の取扱説明書、ヘルプ

本書のほかに、次の取扱説明書やヘルプがあります。

オンラインヘルプ	プリンタドライバやファクスドライバ（ファクスモデルのみ）の画面や操作手順の説明をパソコンで見ることができます。
セットアップガイド	はじめてお使いになるときは、必ずお読みください。 本機をご購入後、設置、取り付けからご利用になるまでに必要な説明が記載されています。
基本操作ガイド	コピー、フォトプリント、ファクス（ファクスモデルのみ）、パソコンを使った印刷やスキャンの操作、日常のお手入れ、および困ったときの対処方法など、本機をお使いいただく上で基本となる操作と機能について説明しています。

1

インストール

使うための準備をする

1章 インストール（使うための準備をする）

必要な機器・ソフトウェア

ソフトウェアをインストールして使うためには、次のような機器およびソフトウェアが必要です。

パソコン

IBM PC/AT 互換機

オペレーションシステム（OS）日本語版のみ対応

Windows 98
Windows Me
Windows 2000 Professional（Service Pack 1 以降）
Windows XP Professional/Home Edition

参考

Windows 2000 でご利用いただくためには、Windows 2000 に Service Pack 1 以降がインストールされている必要があります。

その他のソフトウェア

Internet Explorer 4.01 以降（Service Pack 2 以降）

CPU

Windows 98/Me/2000： Pentium/Celeron 233MHz プロセッサ以上
（300MHz 以上を推奨）
Windows XP：Pentium/Celeron 300MHz プロセッサ以上

メモリ

64MB 以上（128MB 以上を推奨）

ハードディスク

空き容量 65MB 以上（150MB 以上を推奨）
MP ドライバインストール時：50MB 以上の空き容量
MP Toolbox インストール時：15MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

単独、またはネットワーク接続を介してアクセスできる CD-ROM ドライブ

モニタ

256 色 SVGA 以上のモニタ（High Color 以上推奨）

USB インタフェース

USB1.1 に対応しています。USB ケーブルは、本機に付属されている USB ケーブル、または長さ 5 メートル以内の USB-IF 認定の USB ケーブルを使用してください。

重要

パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

Windows 2000/XP 使用時のユーザ権限について

Windows 2000 にソフトウェアをインストールするときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。
Windows XP にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログオンする必要があります。
使用時は、Users 権限以上のユーザでログオンしてください。

参考

パソコンにソフトウェアをインストールしたり、ユーザを管理する権限を、Administrator と呼びます（Windows XP では、管理者と呼ぶこともあります）。

Service Pack について

Service Pack とは、Windows 自体のトラブルを修正するためのプログラムで、Microsoft 社から提供されています。
Service Pack の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。

参考

パソコンにどの Service Pack がインストールされているかは、次の方法で確認できます。

1.［マイ コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。

2.［システム］に現在インストールされている Service Pack が表示されます。

ソフトウェアをインストールする

セットアップ画面を起動する

インストールを行うと、お使いのパソコンのハードディスク上に必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

重要

- ネットワークドライブにはインストールしないでください。
- パソコンに古い MultiPASS Suite がインストールされているときは、これらを削除してから、インストールしてください。
- Windows 2000/XP にインストールするときは、Administrator または管理者としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。

参考

ローカルドライブやネットワークドライブにソフトウェアのコピーがあるときは、セットアップ CD-ROM を使わずに、コピーのあるドライブからインストールできます。

1 本機の電源を入れます。

2 パソコンの電源を入れます。

重要

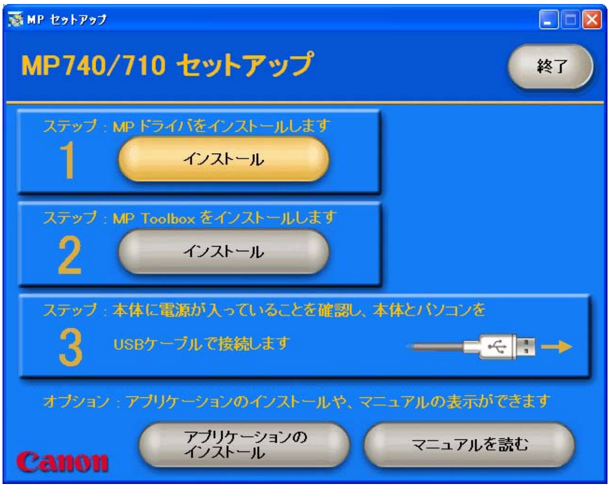
- このときはまだ、本機とパソコンを USB ケーブルで接続しないでください。
- 本機を接続していると、「新しいハードウェアが見つかりました」、「デバイスドライバウィザード」、「新しいハードウェアの検出ウィザード」などの画面が表示されます。この場合は、USB ケーブルを外して、[キャンセル]をクリックしてください。

3 起動しているアプリケーション(ウイルスチェックプログラムを含む)をすべて終了します。

4 セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［セットアップ］画面が表示されます。

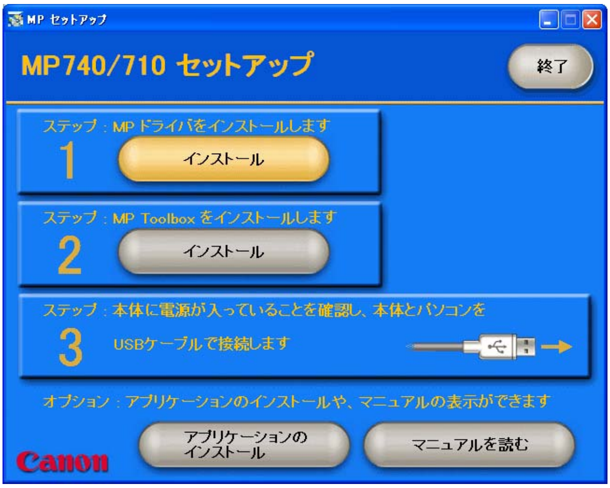
これから、画面に表示されている、ステップ 1、2、3 の順にインストールの作業を進めます。



この画面が表示されないときは、デスクトップの［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン）を開き、そこに表示された［setup（setup.exe）］をダブルクリックします。

ネットワークやハードディスクに保存したコピーを使ってインストールするときは、コピー先の［setup（setup.exe）］をダブルクリックします。

ステップ 1　MP ドライバをインストールする



1 [セットアップ] 画面で、ステップ 1 の [インストール] をクリックします。

2 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

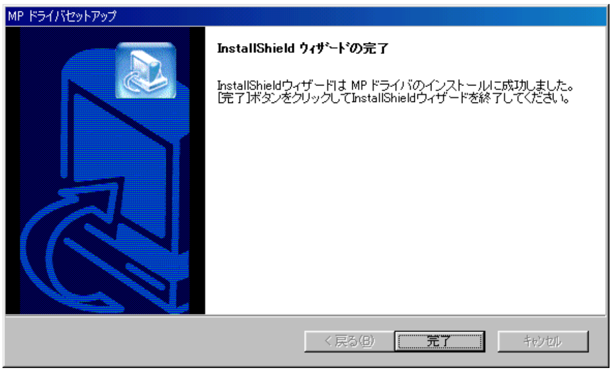
[完了] 画面で、再起動が必要なとき：



○「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選ばれた状態にします。

（このあと、CD-ROM ドライブにセットアップ CD-ROM をセットした状態で［完了］をクリックして、パソコンを再起動します。）

[完了] 画面で、再起動が必要ではないとき：



3 [完了] をクリックします。

ステップ2　MP Toolbox をインストールする



パソコンを再起動したときにこの画面が表示されなかったり、閉じてしまった場合は、デスクトップの［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン）を開き、そこに表示された［setup（setup.exe）］をダブルクリックします。
ネットワークやハードディスクに保存したコピーを使ってインストールするときは、コピー先の［setup（setup.exe）］をダブルクリックします。

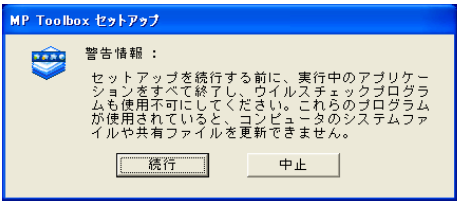
重要

この画面と異なる画面が表示されたときは、MP ドライバが正常にインストールされていません。インストールをやりなおしてください。→『基本操作ガイド』（「第 14 章　困ったときには」）

1 ［セットアップ］画面で、ステップ2の［インストール］をクリックします。

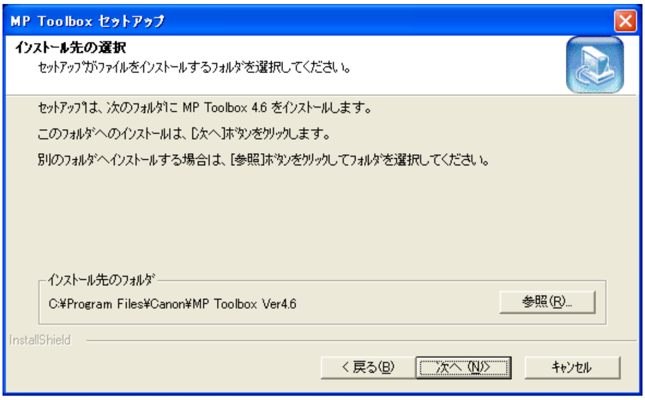


2 [次へ] をクリックします。

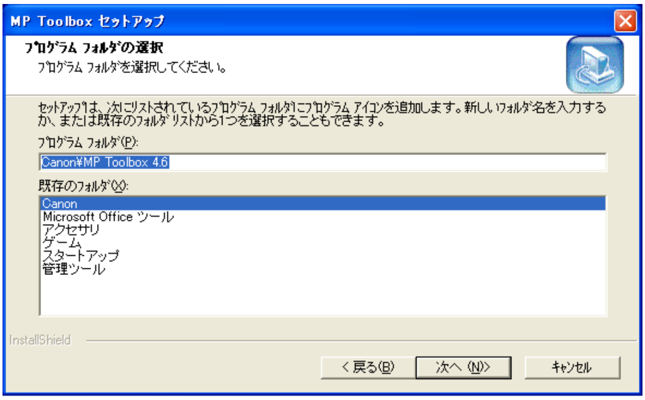


3 [続行] をクリックします。

4 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。



5 [インストール先の選択] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

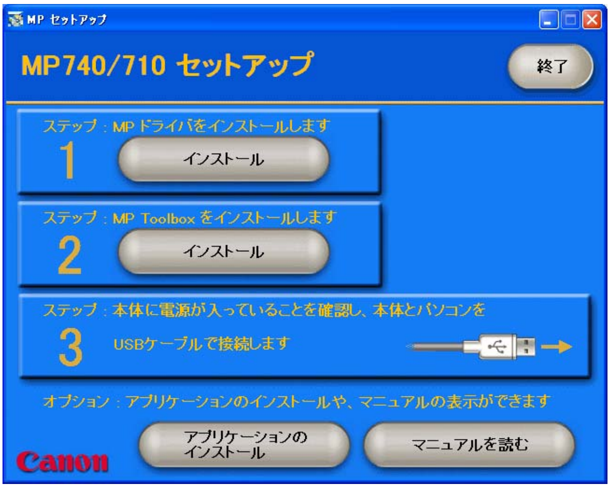


6 ［次へ］をクリックします。



7 ［完了］をクリックします。

ステップ３　USB ケーブルを接続する



重要

この画面と異なる画面が表示されたときは、MP ドライバまたは MP Toolbox が正常にインストールされていません。インストールをやりなおしてください。→『基本操作ガイド』(「第 14 章　困ったときには」)

1 本機に電源が入っていることを確認します。

2 USB ケーブルを本機とパソコンの USB ポートに接続します。

本機が自動的に検出され、パソコンが各種設定を行います。そのままの状態でしばらくお待ちください。

パソコンによっては、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。そのときは、パソコンを再起動させてください。パソコンを再起動した後も、設定は継続されますので、そのままの状態でしばらくお待ちください。

アプリケーションをインストールする

1 アプリケーションをインストールするときは、[セットアップ] 画面で [アプリケーションのインストール] をクリックします。ここでインストールしないで、あとでインストールすることもできます。

マニュアルを読む

1 セットアップ CD-ROM に収録されているマニュアルを読むときは、[セットアップ] 画面で [マニュアルを読む] をクリックします。

インストールはこれで完了です。[セットアップ] 画面の [終了] をクリックして画面を閉じ、CD-ROM ドライブからセットアップ CD-ROM を取り出します。

インストールが途中で失敗したとき

ソフトウェアの削除と再インストールの操作を行ってください。→「ソフトウェアのアンインストール(削除)と再インストール」

インストールの確認をする

インストールがうまくできたかどうか、次の方法で確認できます。
インストールがうまくできていないときは、ソフトウェアの削除と再インストールの操作を行ってください。→「ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール」

プリンタドライバとファクスドライバ（ファクスモデルのみ）

タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは［スタート］ボタンから［プリンタと FAX］）をクリックします。開いた画面に、本機のプリンタとファクスのアイコンがあれば、インストールされています。



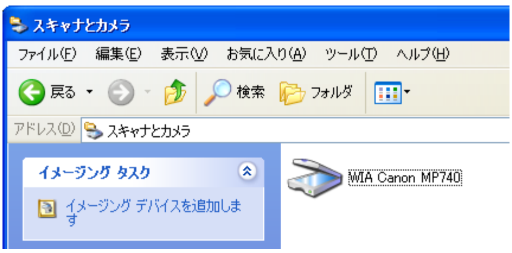
Windows XP の画面



Windows 98/Me/2000 の画面

スキャナドライバ

タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［コントロール パネル］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします）。
開いた画面で［スキャナとカメラ］をダブルクリック（Windows XP の場合はクリック）します。
本機のスキャナのアイコンがあれば、インストールされています。



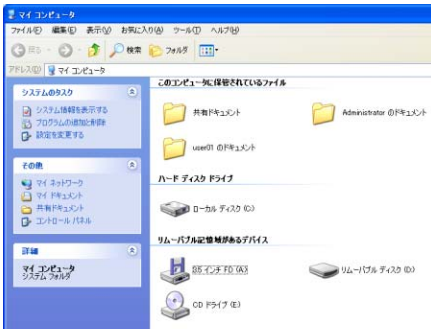
（例）Windows XP の画面



（例）Windows 2000 の画面

メモリカード（ストレージデバイス）ドライバ

デスクトップの［マイ コンピュータ］をダブルクリックします（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［マイ コンピュータ］をクリックします）。
開いた画面に、［リムーバブルディスク］として本機のメモリカードのアイコンが表示されていれば、インストールされています。



Windows XP の画面



Windows 98/Me/2000 の画面

MP Toolbox

デスクトップに［Canon MP Toolbox 4.6］のアイコンがあれば、インストールされています。



メモリカードの読み込み / 書き込み

本機をパソコンに接続すると、パソコンの［マイ コンピュータ］の中にメモリカードドライブ（リムーバブルディスク）が表示されます。
メモリカードを本機に差し込むと、パソコンの［リムーバブルディスク］を開いて、メモリカードの写真を見ることができます。他のハードディスクのファイルと同じように、その写真をハードディスクにコピーしたり、設定をかえることによって、ハードディスクのファイルをメモリカードにコピーすることができます。

重要

- **メモリカードにアクセス中は､メモリカードを抜いたりUSBケーブルを抜き差しししないでください｡**
- **カードスロットにメモリカードが差し込まれた状態で、パソコンをスタンバイ、または、休止状態にしないでください。また、パソコンがスタンバイ、または、休止状態になっているときに、メモリカードを取り出したり、入れかえたりしないでください。**
- **同じ種類のメモリカードを入れかえたり、別のカードスロットに入れかえるときは、メモリカードを取り出す前に本機の電源を切ってください。メモリカードを取り出して電源を入れてから、他のメモリカードを差し込んでください。**
- **Windows 2000 では、本機の電源を切ると、パソコンに［デバイスの取り外しの警告］画面が表示されます。その場合は、［OK］をクリックしてください。本機やパソコンには影響ありません。**
- **メモリカードは、１枚だけセットしてください。両方のスロットにメモリカードを差し込んだ場合は、右側が優先されて認識されます。**

メモリカードへのデータの書き込みを可能にする

次のように操作してください。

重要

Windows 2000 の場合、本機での書き込み禁止の状態がパソコン側で認識されていないと、データをメモリカードにコピーするときに遅延書き込みエラーが発生し、データが破損する恐れがあります。

1 メモリカードが本機にセットされていないことを確認します。

2 ［メニュー］を押します。

3 ［◀］か［▶］で、＜３. ユーザ データ＞を選びます。

```
メニュー
 3. ユーザ デ ータ
```

参考

- 表示されるメニューの番号は、選択しているモードによって異なります。
- フォトプリントモードからは操作できません。

4 ［セット］を押します。

5 **[◀] か [▶] で、< 4.システム カンリ セッテイ > を選びます。**

ユーザ゛ デ゛ ータ 4. システム カンリ セッテイ

参考

ご使用の機種によって、表示されるメニューの番号は異なります。

6 **[セット] を押します。**

7 **[◀] か [▶] で、<2. カード カキコミ キンシ > を選びます。**

システム カンリ セッテイ 2. カード゛ カキコミ キンシ

8 **[セット] を押します。**

カード゛ カキコミ キンシ スル

9 **[◀] か [▶] で、< シナイ > を選びます。**

< スル > を選ぶと書き込みできません。

10 **[セット] を押します。**

スタンバイモードに戻ります。

11 **コピー、スキャン、またはファクス(ファクスモデルのみ)モードにします。**

フォトプリントモードでは書き込みできません。

12 **メモリカードを適切なカードスロットへ差し込みます。**

参考

カードスロットにメモリカードが差し込まれた状態で、データの書き込みの設定を変更したときは、USB ケーブルを抜いて、差しなおしてください。USB ケーブルを差しなおさないと、設定は有効になりません。

通常使うプリンタに設定する

プリンタドライバをインストールすると、本機が「通常使うプリンタ」に設定されます。本機が「通常使うプリンタ」に設定されていると、アプリケーションで印刷をしようとしたとき、とくに指定しなくても、本機から印刷されます。［印刷］画面でプリンタとして本機を選ぶ必要がありません。

次のように操作すると、この設定をかえることができます。

重要

Windows 2000 では、プリンタドライバをインストールしただけでは「通常使うプリンタ」に設定されないことがあります。「通常使うプリンタ」に設定したいときは、必ず次のように操作してください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから［プリンタとFAX］）をクリックします。

2 ［プリンタ］（Windows XP のときは、［プリンタと FAX］）画面で、本機のプリンタのアイコンをクリック（Windows XP のときは、ダブルクリック）します。

3 ［ファイル］メニュー（Windows XP のときは、［プリンタ］メニュー）で、［通常使うプリンタに設定］をクリックします。

ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール

MP Toolbox や MP ドライバが必要なくなった場合や、正しくインストールされなかったときは、アンインストール（削除）してください。
Windows 2000 からソフトウェアをアンインストールするときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP からアンインストールするときは、管理者としてログオンする必要があります。

重要

MP ドライバを削除するときは、先に MP Toolbox を削除してください。MP ドライバを先に削除すると、スタートメニューのプログラムの中に［Canon］フォルダが残る場合があります。

MP Toolbox を削除するには

1 **MP Toolbox など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。**

MP Toolbox は、画面の右上の［×］をクリックすると終了します。

2 **タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.6］→［Toolbox アンインストール］をクリックします。**

3 **表示される指示にしたがって操作します。**

プログラムの修復、または、削除を選ぶ画面が開いたら、［削除］をクリックし、［次へ］をクリックします。

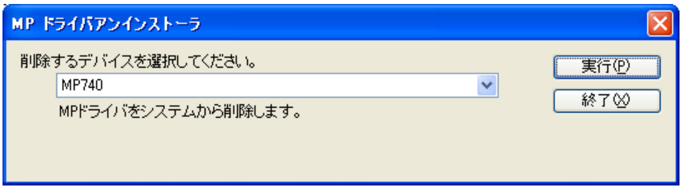
アプリケーションなどを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［OK］をクリックしてください。

パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動させてください。

MP ドライバを削除するには

1 起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

2 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP ドライバ］→［ドライバアンインストール］をクリックします。



3 「削除するデバイスを選択してください。」と表示されたら、［MP740］または［MP710］を選んで［実行］をクリックします。

MP ドライバを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。

4 再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動します。

5 USB ケーブルをパソコンと本機から外します。

Windows 2000 のときは、［デバイスの取り外しの警告］画面が表示されますので、［OK］をクリックしてください。本機やパソコンには影響ありません。

重要

4 でパソコンを再起動したときは、パソコンが起動する前に USB ケーブルを外してください。

再インストールするには

MP Toolbox、MP ドライバの順に削除したあと、インストールの操作を行ってください。

→「ソフトウェアをインストールする」

2

印刷

文書をプリントする

2

2章 印刷
（文書をプリントする）

文書を印刷する

文書を印刷するときの一般的な操作を説明します。

重 要

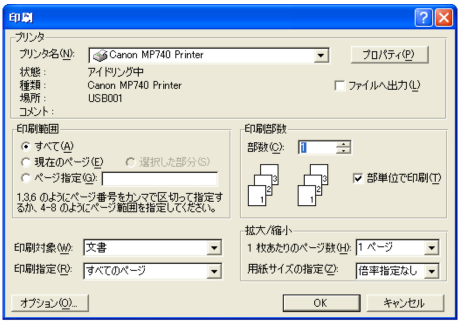
本機を使用しているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます（通常は、［ファイル］メニューで［印刷］を選びます）。

アプリケーションによっては、ツールバーの印刷ボタンをクリックして、現在のプリンタドライバの設定のままで印刷することもできます。





（例）Word の［印刷］画面

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］欄で、印刷に使うプリンタが選ばれていることを確認します。選ばれていないときは、クリックして選びます。

4 ［印刷］または［OK］をクリックして、印刷を開始します。

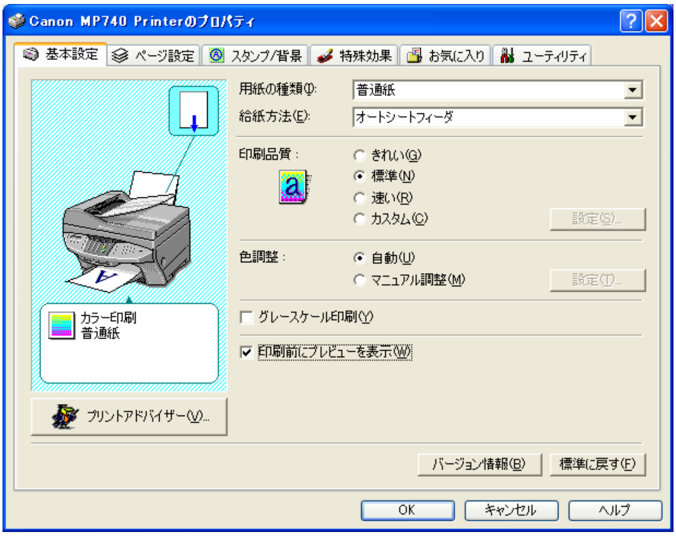
どのように印刷されるかをプレビューで確認する

文書を印刷する前に、プレビューを表示して、どのように印刷されるか確認することができます。

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます（通常は、[ファイル] メニューで [印刷] を選びます）。

3 [印刷] 画面の [プリンタの選択] または [プリンタ名] 欄でプリンタを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。

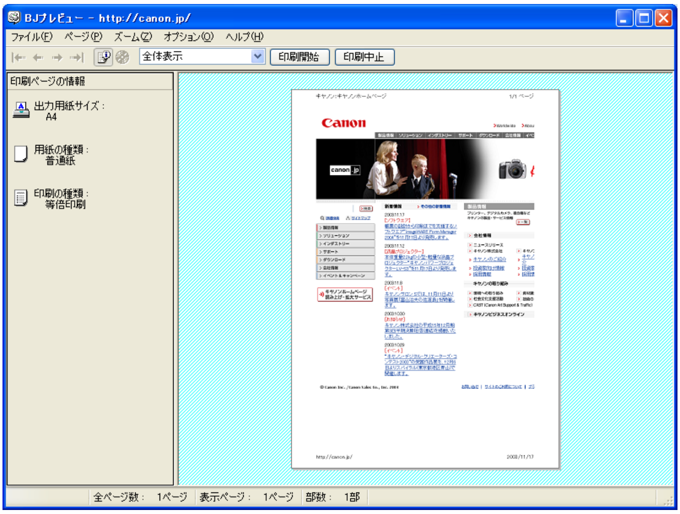


4 [基本設定] タブで [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークをつけます。

5 [OK] をクリックします。

6 ［印刷］画面で［印刷］または［OK］をクリックします。

プレビューが表示されます。



7 印刷するときは、［印刷開始］をクリックします。

プレビューを閉じて中止するときは、［印刷中止］をクリックします。

印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）

文書によって、設定をかえて印刷することができます。
用紙の種類などの設定やページ設定、絵や写真を印刷するときの画質をかえることができます。

これから印刷する文書だけの設定をする

アプリケーションから印刷画面を表示すると、これから印刷する文書だけの設定をかえることができます。
→「文書を印刷する」

1 **用紙トレイに用紙をセットします。**

2 **［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］欄でプリンタを選び、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。**

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面が表示されます。

3 **次のいずれかの方法で設定を変更します。**

あらかじめ登録したお気に入りを使う：

○ **［お気に入り］タブの［お気に入り一覧］で、呼び出したいお気に入りをクリックし、［お気に入りの呼出し］をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

お気に入りの登録のしかた →「設定をお気に入りに登録する / ［お気に入り］タブ」

プリントアドバイザーを使う：

○ **［基本設定］タブで、［プリントアドバイザー］をクリックし、画面に表示される指示にしたがって設定します。**

参考

プリントアドバイザーを使うと、［基本設定］タブの設定をより簡単に行うことができます。表示された質問に答えるだけで、［用紙の種類］などの設定が適切なものに変更されます。

個別に設定する：

○ 必要なタブを開いて、設定します。

→「用紙や印刷品質を設定する / ［基本設定］タブ」
→「用紙サイズや部数を設定する / ［ページ設定］タブ」
→「スタンプを選ぶ / ［スタンプ / 背景］タブ」
→「背景を選ぶ / ［スタンプ / 背景］タブ」
→「特殊効果を設定する / ［特殊効果］タブ」
→「クリーニングや本機の設定をする / ［ユーティリティ］タブ」

4 設定を元（インストールしたときの設定）に戻したいときは、［標準に戻す］をクリックします。
変更を確定して画面を閉じるときは、［OK］をクリックします。
変更をキャンセルして画面を閉じるときは、［キャンセル］をクリックします。

印刷するすべての文書の設定をする

［スタート］ボタンから［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは［プリンタとFAX］）を選ぶと、本機から印刷するすべての文書の設定をかえることができます。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは［スタート］ボタンから［プリンタとFAX］）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

Windows 2000/XP のとき：

○ 本機のアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows 98/Me のとき：

○ 本機のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面が表示されます。

3 次のいずれかの方法で設定を変更します。

あらかじめ登録したお気に入りを使う：

○ [お気に入り] タブの [お気に入り一覧] で、呼び出したいお気に入りをクリックし、[お気に入りの呼出し] をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

お気に入りの登録のしかた →「設定をお気に入りに登録する / [お気に入り] タブ」

プリントアドバイザーを使う：

○ [基本設定] タブで、[プリントアドバイザー] をクリックし、画面に表示される指示にしたがって設定します。

参考

プリントアドバイザーを使うと、[基本設定] タブの設定をより簡単に行うことができます。表示された質問に答えるだけで、[用紙の種類] などの設定が適切なものに変更されます。

個別に設定する：

○ 必要なタブを開いて、設定します。

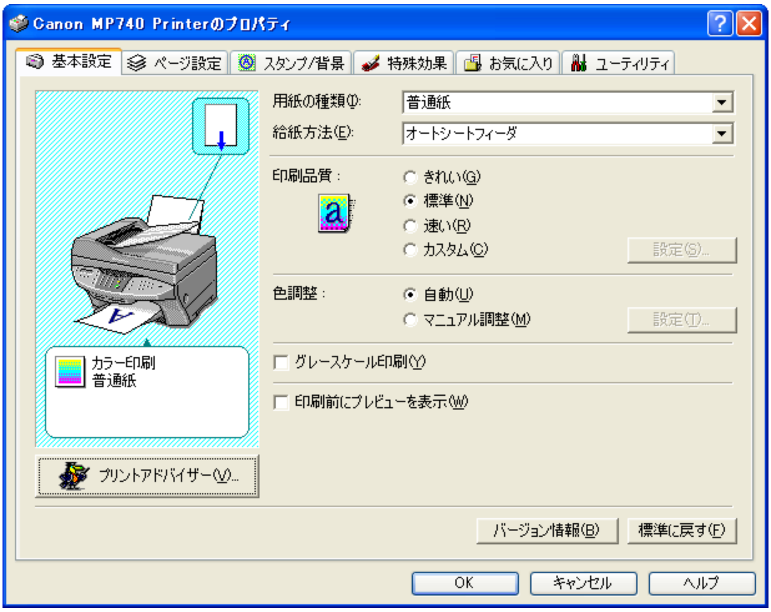
→「用紙や印刷品質を設定する / [基本設定] タブ」
→「用紙サイズや部数を設定する / [ページ設定] タブ」
→「スタンプを選ぶ / [スタンプ / 背景] タブ」
→「背景を選ぶ / [スタンプ / 背景] タブ」
→「特殊効果を設定する / [特殊効果] タブ」
→「クリーニングや本機の設定をする / [ユーティリティ] タブ」

4 設定を元（インストールしたときの設定）に戻したいときは、[標準に戻す] をクリックします。

変更を確定して画面を閉じるときは、[OK] をクリックします。
画面を開いたまま変更を確定するときは、[適用] をクリックします。
変更をキャンセルして画面を閉じるときは、[キャンセル] をクリックします。

用紙や印刷品質を設定する / ［基本設定］タブ

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブでは、用紙の種類、給紙方法、印刷の品質などの基本的な設定をします。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



用紙の種類

印刷に使う用紙の種類を選びます。選んだ用紙の種類によって、他の項目の選択肢がかわります。

給紙方法

●オートシートフィーダ
　普通紙や特殊紙などの用紙を印刷するときに選びます。
●ASF（こすれ改善）
　厚めの用紙に印刷する場合で印刷面のこすれが気になるときに選びます。
●ディスクトレイ
　［用紙の種類］で［プリンタブルディスク］を選んだときだけ表示されます。
　CD-R などに印刷するときに選びます。

印刷品質

印刷する文書に適した印刷品質を選びます。
●きれい
　よりきれいに印刷できますが、印刷速度は低下します。
●標準
　平均的な速度と品質で印刷します。
●速い
　印刷品質は落ちますが、高速で印刷できます。この設定は、ページ数が多いときや、下書き原稿を印刷するときに適しています。

●カスタム

印刷品質とハーフトーンを個別に設定します。→「自分で印刷品質を設定する」

重 要

［用紙の種類］の設定によっては、選択できない印刷品質があります。

色調整

印刷に使う色を調整する方法を選びます。

●自動

プリンタドライバが自動的に色調整します。

●マニュアル調整

細かい指定をして色調整します。→「自分で色調整する」

グレースケール印刷

カラーの文書を白黒にして印刷したいときにチェックマークをつけます。

印刷前にプレビューを表示

印刷する前に、どのような印刷結果になるかを画面に表示したいときにチェックマークをつけます。→「どのように印刷されるかをプレビューで確認する」

プリントアドバイザー

［プリントアドバイザー］をクリックすると、開始画面が表示されます。表示された項目から印刷の目的に合ったものを選んでいくと、自動的に適切な印刷設定になります。

プリンタ操作のプレビュー画面

［基本設定］タブの左に表示されるプリンタのイラストには、現在の設定が表示されます。

自分で印刷品質を設定する

印刷品質とハーフトーンを細かく調整します。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブで次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［印刷品質］で［カスタム］を選び、［設定］をクリックします。



2 ［カスタム設定］画面で、印刷品質やハーフトーンの設定をします。

品位

スライダを右に動かすと品質が上がり、左に動かすと印刷が速くなります。

重要

［用紙の種類］の設定によっては、選択できない品位があります。

ハーフトーン

ハーフトーンの部分をどのように表現するかを選びます。

●自動
　画像の種類に合わせて、自動的にディザ、誤差拡散のうち、適した方で印刷されます。

●ディザ
　決まったパターンで並んだ点を使ってハーフトーンの部分を表現します。グラフやチャートなど、色の違いをはっきりさせたいものに適しています。

●誤差拡散
　ランダムに配置した点でハーフトーンを表現します。写真やグラフなど、階調を細かく表現したいときに選んでください。

重要

［用紙の種類］と［品位］の組み合わせによっては、選択できないハーフトーンの表現方法があります。

印刷データのサイズを小さくする（Windows 2000/XP のみ）

アプリケーションで印刷する印刷データのサイズを小さくすることができます。画像データが抜け落ちるなどして、うまく印刷できないときにチェックマークをつけてください。

参考

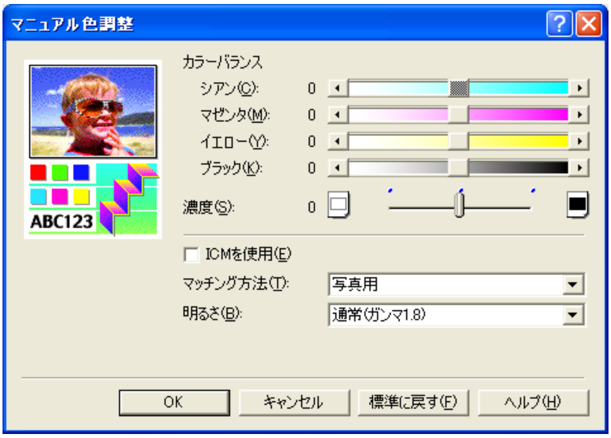
お使いのアプリケーションによっては、効果が見られない場合があります。

3 ［OK］をクリックします。

自分で色調整する

通常、色はアプリケーションで調整します。より細かく調整したいときは、［マニュアル色調整］画面でカラーバランスを設定します。画面左上に表示される写真とイラストのサンプルで、おおまかな調整の具合いを確認できます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブで次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［色調整］で［マニュアル調整］を選び、［設定］をクリックします。



2 ［マニュアル色調整］画面で、スライダを左右に動かして、カラーバランスと濃度を調整します。

3 Windows の色管理機能を有効にするときは、［ICM を使用］にチェックマークをつけます。

［ICM を使用］にチェックマークをつけないときは、［マッチング方法］欄で印刷する画像の種類を選び、［明るさ］欄で画像を印刷するときの明るさを選びます。

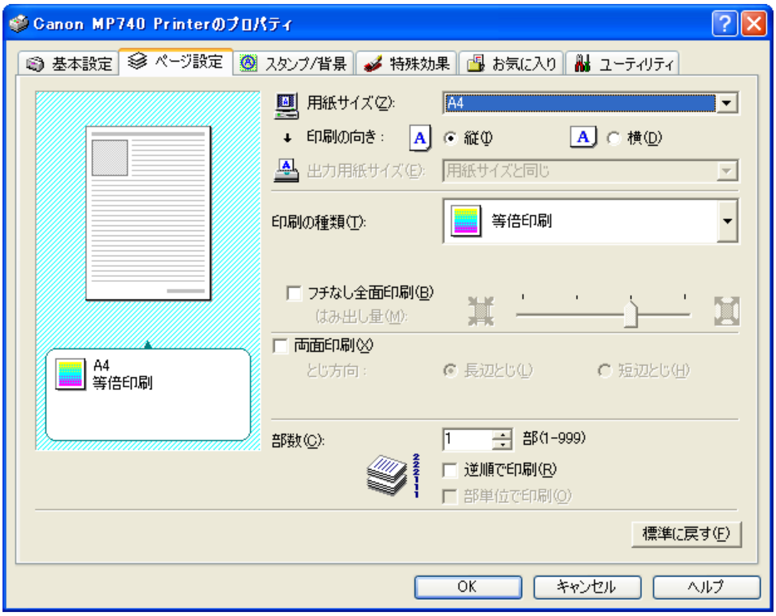
参考

ICM は、Image Color Management（画像カラー管理）の略語です。

4 ［OK］をクリックします。

用紙サイズや部数を設定する / ［ページ設定］タブ

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブでは、印刷する用紙サイズや印刷部数、印刷の向きなどを設定します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 → 「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



用紙サイズ

アプリケーションで指定されている用紙サイズと同じものを選びます。
自分で用紙サイズを指定するときは、［ユーザー定義用紙］を選びます。
→「登録されていないサイズの用紙に印刷する」

参考

本機にセットできないサイズを選ぶと「プリンタの適用範囲外の用紙サイズが選択されました。［印刷の種類］を［フィットページ印刷］に設定します。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックすると、自動的にフィットページ印刷が選ばれます。
→「用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（フィットページ印刷）」

印刷の向き

印刷の向きを選びます。［縦］を選ぶと、用紙を縦にして文書が印刷されます。［横］を選ぶと、用紙を横にして文書が印刷されます。

出力用紙サイズ

［印刷の種類］で、［等倍印刷］以外を選んだときは、ここで用紙トレイにセットする用紙のサイズを選びます。
一覧にないサイズにしたいときは、［ユーザー定義用紙］を選びます。
→「登録されていないサイズの用紙に印刷する」

印刷の種類

印刷方法を選びます。

●等倍印刷

通常の印刷をするときに選びます。原寸で印刷されます。

●フィットページ印刷

［用紙サイズ］と用紙トレイにセットした用紙サイズが違うときに、自動的に用紙トレイにセットした用紙のサイズに合わせて印刷されます。

→「用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（フィットページ印刷）」

●拡大 / 縮小印刷

文書を拡大したり縮小したりして印刷します。

→「倍率を決めて拡大・縮小する（拡大 / 縮小印刷）」

●割り付け印刷

1 枚の用紙に 2 ページ以上の原稿をレイアウトして印刷するときに選びます。

→「1 枚の用紙に 2 ページ以上印刷する（割り付け印刷）」

●ポスター印刷

ポスターのような大きな印刷物を作るとき分割して印刷します。印刷したものを貼り合わせて使ってください。

→「ポスター印刷」

●冊子印刷

両面印刷を使って印刷し、1 枚の用紙の表と裏に 2 ページずつ印刷します。中央で折り曲げると、中とじの冊子を作ることができます。

→「両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）」

拡大縮小率

［拡大 / 縮小印刷］を選んだときに表示されます。倍率を選ぶか入力します。

フチなし全面印刷

白いフチがでないように、画像を用紙サイズより拡大して用紙全体に印刷します。
フチなし全面印刷のときは、［ページ設定］タブの［出力用紙サイズ］、［印刷の種類］、［両面印刷］および［スタンプ / 背景］タブの設定はできません。

→「フチなしで用紙全面に印刷する」

はみ出し量

フチなし全面印刷を選ぶと、画像を用紙サイズより少し拡大するので、用紙からはみ出す部分は印刷されません。スライダを動かして、どれだけはみ出すかを調整できます。

両面印刷

普通紙の両面に印刷します。

→「両面に印刷する」

とじ方向

両面印刷のとき、用紙をとじる方向を選びます。用紙の長い辺をとじるときは［長辺とじ］、短い辺をとじるときは［短辺とじ］を選びます。

部数

印刷する部数を選ぶか入力します。

逆順で印刷

2 ページ以上の文書は最終ページから印刷され、ページ順に積み上げられます。

部単位で印刷

2 ページ以上の文書を 2 部以上印刷するとき、1 組ずつ印刷されます。チェックマークをつけないと、ページごとに指定した部数ずつ印刷されます。

プリンタ制御（Windows 98/Me のみ）

［バックグラウンド印刷］と［スプール中に印刷］の設定ができます。
→「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

登録されていないサイズの用紙に印刷する

［ページ設定］タブの［用紙サイズ］や［出力用紙サイズ］では、登録されていないサイズの用紙を設定することもできます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 **［用紙サイズ］または［出力用紙サイズ］の［ユーザー定義用紙］を選びます。**



2 **［ユーザー定義用紙］画面で、用紙サイズの［単位］、［幅］、［長さ］を指定します。**

3 **［OK］をクリックします。**

フチなしで用紙全面に印刷する

印刷する用紙のフチに余白ができないように原稿を全面に印刷したいときは、［フチなし全面印刷］を指定します。原稿が用紙の大きさいっぱいに拡大されて印刷されます。

使用できる用紙

プロフォトペーパー、スーパーフォトペーパー、マットフォトペーパー、光沢紙、インクジェット官製葉書、はがき、普通紙

アプリケーションでの原稿の設定

●余白を設定できるアプリケーション
上下左右の余白を「0」ミリに設定します。
●余白を設定できないアプリケーション
原稿を印刷する用紙サイズと同じサイズにして、写真やイラストが用紙いっぱいになるように（余白をあけないように）してください。

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を開きます。

→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

3 ［基本設定］タブの［用紙の種類］で用紙を選びます。

4 ［ページ設定］タブの［フチなし全面印刷］にチェックマークをつけます。

フチなし全面印刷に向かない用紙が選ばれている場合は、用紙を確認する画面が表示されますので、用紙を選びなおして［OK］をクリックします。

5 フチなし全面印刷に設定することを確認するメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

6 ［はみ出し量］を調整します。

フチなし全面印刷を選ぶと、画像を用紙サイズより少し拡大するので、用紙からはみ出す部分は印刷されません。スライダを動かして、どれだけはみ出すかを調整できます。通常は、スライダを右から２番めにセットすることをおすすめします。スライダを左に動かすとはみ出し量が少なくなり、白いフチがでてしまうことがあります。

7 必要に応じて、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の他の設定をします。

8 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［OK］をクリックします。

用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（フィットページ印刷）

印刷する用紙サイズを決めて、［フィットページ印刷］を指定すると、自動的にぴったりの大きさに拡大・縮小して印刷されます。プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

フチなし全面印刷といっしょには使えません。→「フチなしで用紙全面に印刷する」

1 [印刷の種類] で [フィットページ印刷] を選びます。

2 [用紙サイズ] でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって、[縦] または [横] をクリックします。

4 [出力用紙サイズ] で用紙トレイにセットした用紙のサイズを選びます。

5 [OK] をクリックします。

倍率を決めて拡大・縮小する（拡大 / 縮小印刷）

拡大縮小率をパーセントで指定して、拡大または縮小するときは、[拡大 / 縮小印刷] を指定します。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の [ページ設定] タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

フチなし全面印刷といっしょには使えません。→「フチなしで用紙全面に印刷する」

1 [印刷の種類] で [拡大 / 縮小印刷] を選びます。

2 [用紙サイズ] でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって [縦] または [横] をクリックします。

4 [出力用紙サイズ] で用紙トレイにセットした用紙のサイズを選びます。

[拡大縮小率] に、出力用紙サイズにぴったり収まって印刷される倍率が、参考値として表示されます。

5 [拡大縮小率] で倍率をパーセントで指定します。

20 ～ 400% の範囲で指定できます。

6 [OK] をクリックします。

1 枚の用紙に 2 ページ以上印刷する（割り付け印刷）

1 枚の用紙に 2 ページ以上のページをまとめて印刷します。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の [ページ設定] タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- Windows 98/Me では、[バックグラウンド印刷] がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

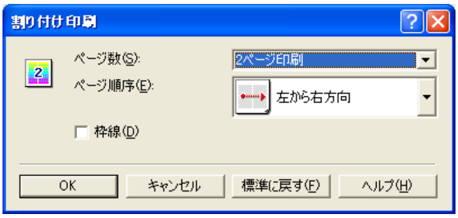
1 [印刷の種類] で [割り付け印刷] を選びます。

2 [用紙サイズ] でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって [縦] または [横] をクリックします。

4 [出力用紙サイズ] で用紙トレイにセットした用紙のサイズを選びます。

5 [詳細設定] をクリックします。



6 [ページ数] で、1 枚の用紙に印刷するページ数を選びます。

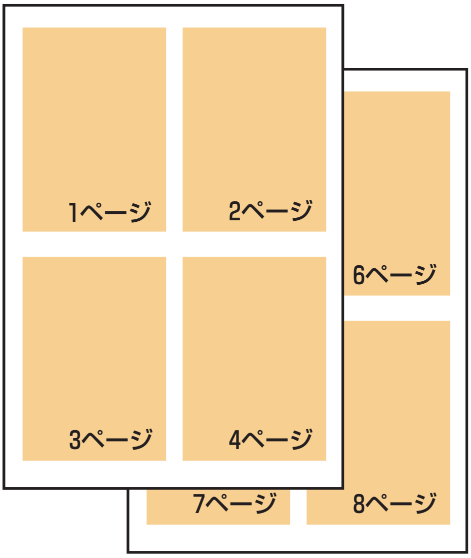
7 ［ページ順序］で、1 枚の用紙にどういう順序でページを配置するかを選びます。

8 ページごとに枠を付けるときは、［枠線］にチェックマークをつけます。

9 ［OK］をクリックします。

例

［ページ設定］タブの［印刷の向き］で［縦］、［割り付け印刷］画面の［ページ数］で［4 ページ印刷］、［ページ順序］で［左上から右方向］を選んだ場合



A4 で作った文書が、A4 の用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ印刷されます。

ポスター印刷

画像をいくつかに分割して大きく印刷することができます。［画像の分割数］に指定した数で、印刷する枚数が決まります。貼り合わせるための余白に、切り取り線や「切り取り」、「のりしろ」という文字を印刷することもできます。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重 要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- Windows 98/Me では、［バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

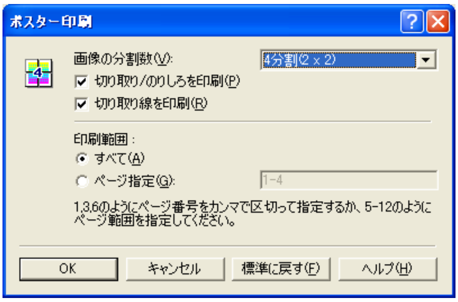
1 ［印刷の種類］で［ポスター印刷］を選びます。

2 ［用紙サイズ］でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

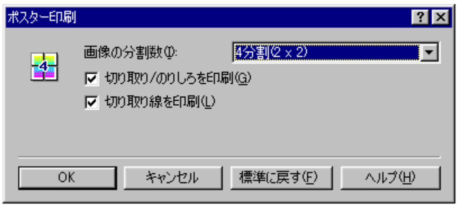
3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって［縦］または［横］をクリックします。

4 ［出力用紙サイズ］で用紙トレイにセットした用紙のサイズを選びます。

5 ［詳細設定］をクリックします。



Windows XP の画面



Windows 98 の画面

6 ［ポスター印刷］画面の［画像の分割数］で、画像を何枚の用紙に分割して印刷するかを選びます。

原稿の大きさに関係なく、［出力用紙サイズ］と［画像の分割数］にしたがって画像が拡大されます。

7 用紙に切り取り線を印刷するときは、［切り取り線を印刷］にチェックマークをつけます。

余白に「切り取り」、「のりしろ」という文字を印刷するときは、［切り取り / のりしろを印刷］にチェックマークをつけます。

Windows 2000/XP のときは、印刷範囲も指定してください。全ページ印刷する場合は、［すべて］をクリックします。何ページから何ページまで印刷するかを指定する場合は、［ページ指定］をクリックし、印刷するページを入力します。

8 ［OK］をクリックします。

9 印刷しなくてもよいページがあるときは、左側に表示されているプレビューの該当ページをクリックして消します（クリックして消したプレビューは、もう一度クリックすると再び表示されます）。

両面に印刷する

普通紙の両面に印刷できます。
用紙によっては裏面の文字が透けることがあります。この場合は、［印刷品質］を［速い］にしてください。
両面印刷した用紙を冊子のようにとじるときは、冊子印刷機能を使ってください。
→「両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）」

重 要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- ［印刷の種類］で、次の機能を選択しているときは使えません。
  - ポスター印刷
    →「ポスター印刷」
  - 冊子印刷
    →「両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）」
- Windows 98/Me では、［バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

1 用紙トレイに用紙をセットします。

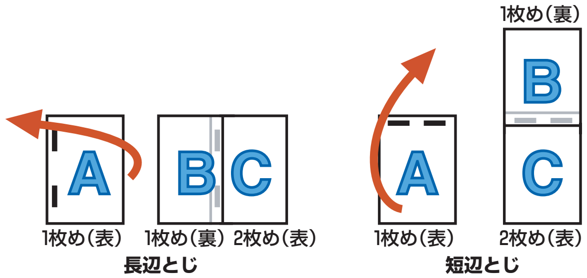
2 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を開きます。
→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

3 ［基本設定］タブの［用紙の種類］で［普通紙］を選びます。

重 要

［普通紙］以外を選択すると、両面印刷はできません。

4 [ページ設定] タブの [両面印刷] にチェックマークをつけます。用紙の長い辺をとじるときは [長辺とじ]、短い辺をとじるときは [短辺とじ] をクリックします。



5 必要に応じて、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の他の設定をします。

6 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、[OK] をクリックします。

7 [印刷] 画面で、[印刷] または [OK] をクリックします。

オモテ面だけがまとめて印刷され、オモテ面の印刷が終わると、片面の印刷が終わったことを知らせる画面が開きます。

8 画面の指示にしたがって用紙を裏返してセットし直します。

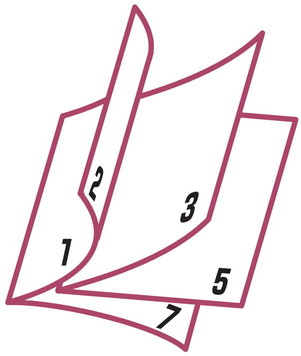
重要

[とじ方向] と [印刷の向き] の関係によって、用紙を裏返す手順が違います。画面の説明どおりに裏返してください。

9 [OK] をクリックします。

ウラ面が印刷されます。

両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）



左とじの冊子

冊子印刷を使って、1 枚の用紙の表と裏に 2 ページずつ印刷し、中央で折り曲げて中とじの冊子を作ることができます。
原稿の大きさが自動的に調整され、1 枚の用紙に見開きで 2 ページずつ印刷されます。
［印刷の向き］が［縦］のときは右開きまたは左開き、［横］のときは上開きまたは下開きを指定できます。

重 要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- Windows 98/Me では、［バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を開きます。

→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

3 ［基本設定］タブの［用紙の種類］で［普通紙］を選びます。

重 要

［普通紙］以外を選択すると、冊子印刷はできません。

4 ［ページ設定］タブの［印刷の種類］で［冊子印刷］を選び、［詳細設定］をクリックします。



5 ［冊子印刷］画面の設定をして、［OK］をクリックします。

■とじかた

［印刷の向き］が［縦］のとき、冊子を左側から開くようにしたいときは［左とじ］を、右側から開くようにしたいときは［右とじ］を選びます。［印刷の向き］が［横］のとき、冊子を上側から開くようにしたいときは［上とじ］を、下側から開くようにしたいときは［下とじ］を選びます。

■白ページを挿入

原稿をページの片側だけに印刷します。［印刷の向き］が［縦］のときは、印刷しないページ（白ページ）を［左ページ］にするか、［右ページ］にするかを指定します。［印刷の向き］が［横］のときは、印刷しないページ（白ページ）を［上ページ］にするか、［下ページ］にするかを指定します。

■とじしろ

とじしろの幅をミリ単位で指定します。

■枠線

ページごとに枠線をつけます。

6 必要に応じて、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の他の設定をします。

7 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［OK］をクリックします。

8 ［印刷］画面で、［印刷］または［OK］をクリックします。

オモテ面だけがまとめて印刷され、オモテ面の印刷が終わると、片面の印刷が終わったことを知らせる画面が開きます。

9 画面の指示にしたがって用紙を裏返してセットし直します。

10 [OK] をクリックします。

ウラ面が印刷されます。

バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）

バックグラウンド印刷の設定ができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の [ページ設定] タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 [ページ設定] タブの [プリンタ制御] をクリックします。



2 アプリケーションの操作をしながら、同時に印刷できるようにしたいときは、[プリンタ制御] 画面の [バックグラウンド印刷] にチェックマークをつけます。

3 印刷データの書き出し中に印刷を開始したいときは、[スプール中に印刷] にチェックマークをつけます。

チェックマークをつけないと、印刷データのスプールが終わるまで印刷は開始されません。

4 [OK] をクリックします。

バックグラウンド印刷の設定をすると、印刷するときに、デスクトップの右下にバックグラウンドモニタが開きます。



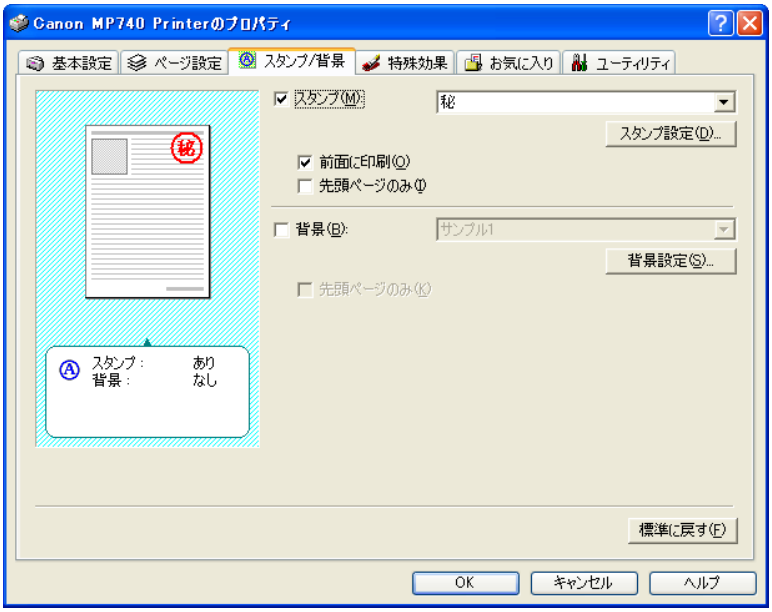
スタンプを選ぶ / [スタンプ / 背景] タブ

印刷する文書にスタンプを押すことができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- Windows 98/Me では、[バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

1 ［スタンプ］にチェックマークをつけ、選択欄で押したいスタンプを選びます。



2 スタンプを文字の上に押したいときは、[前面に印刷］にチェックマークをつけます。

文字が読みにくいときは、チェックマークを外して、スタンプが文字の下に印刷されるようにします。

3 最初のページにだけスタンプを押したいときは、[先頭ページのみ］にチェックマークをつけます。

4 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、[OK］をクリックします。

スタンプに使える画像は最初からいくつか用意されていますが、設定をかえたり、新しいスタンプを作ったりすることもできます。→「スタンプを作る、設定をかえる」

スタンプを作る、設定をかえる

スタンプを作るときは、文字の種類や大きさなどを設定できます。
スタンプの設定は、後で使えるように保存しておくことができます。

新しいスタンプを作るには、スタンプの設定をかえるには

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。

すでに登録されているスタンプの設定をかえるとき：

○ ［スタンプ］にチェックマークをつけ、右の選択欄で変更したいスタンプを選びます。

新しいスタンプを作るとき：

○ ［スタンプ］のチェックマークを外します。

2 ［スタンプ設定］をクリックします。

3 ［スタンプ設定］画面で、次の設定をします。

Windows 2000/XP のとき：

○ →「スタンプの文字と色を指定する（Windows 2000/XP)」
○ →「画像スタンプに使う画像を指定する（Windows 2000/XP)」
○ →「スタンプの位置をかえる、回転する」
○ →「スタンプを保存する、削除する」

Windows 98/Me のとき：

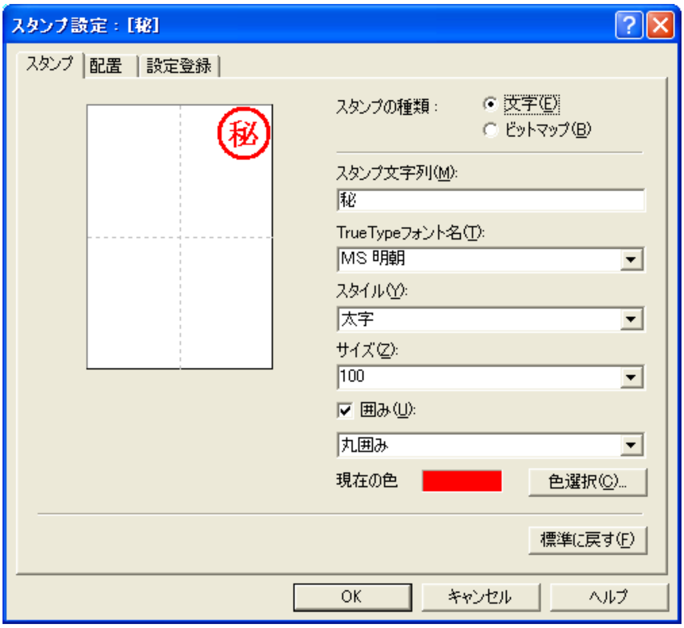
○ →「スタンプの文字と色を指定する（Windows 98/Me)」
○ →「スタンプの位置をかえる、回転する」
○ →「スタンプを保存する、削除する」

スタンプの文字と色を指定する（Windows 2000/XP）

［スタンプ設定］画面で次のように操作します。

［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 ［スタンプ］タブの［スタンプの種類］で［文字］をクリックします。



2 ［スタンプ文字列］にスタンプにする文字を入力します。

3 フォントの種類、スタイル、サイズ、囲みを指定します。

4 文字の色をかえたいときは［色選択］をクリックし、［色の設定］画面で決定します。



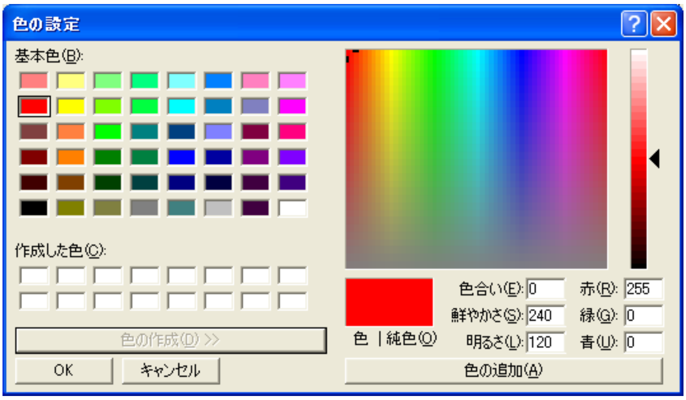
[基本色] から選ぶとき：

○ 指定したい色をクリックします。

○ [OK] をクリックします。

スタンプの色を自分で作りたいとき：

○ [基本色] の中からイメージにいちばん近い色をクリックし、[色の作成] をクリックします。



○ イメージしている色になるまでスライダを動かすか、色のそれぞれの値を入力します。

○ 作った色を [作成した色] に保存したいときは、[色の追加] をクリックします。新しく作った色は、[作成した色] に追加されます。[作成した色] が前に作った色でいっぱいになると、いちばん古い色が新しい色に置きかえられます。

○ [OK] をクリックします。

5 [スタンプ設定] 画面で、[OK] をクリックします。

6 確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

スタンプの文字と色を指定する（Windows 98/Me）

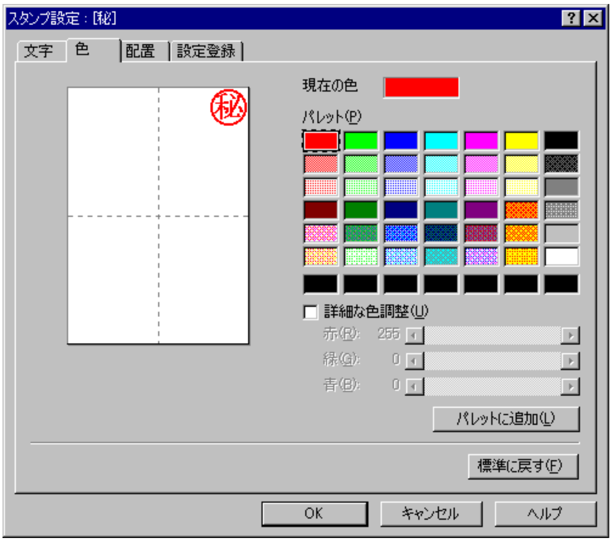
［スタンプ設定］画面で次のように操作します。
［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 「文字」タブの［スタンプ文字列］にスタンプにする文字を入力します。



2 フォントの種類、スタイル、サイズ、囲みを指定します。

3 ［色］タブで、文字の色を決定します。



■［パレット］から選ぶとき：

○ 指定したい色をクリックします。

■スタンプの色を自分で作りたいとき：

○ イメージしている色にいちばん近い色を［パレット］でクリックし、［詳細な色調整］にチェックマークをつけます。

○ イメージしている色になるように、それぞれの色のスライダを動かします。

○ 作った色を［パレット］に保存したいときは、［パレットに追加］をクリックします。新しく作った色は、［パレット］のいちばん下の列に追加されます。いちばん下の列がいっぱいになると、前に作った色と置きかえられます。

4 ［OK］をクリックします。

5 確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

画像スタンプに使う画像を指定する（Windows 2000/XP）

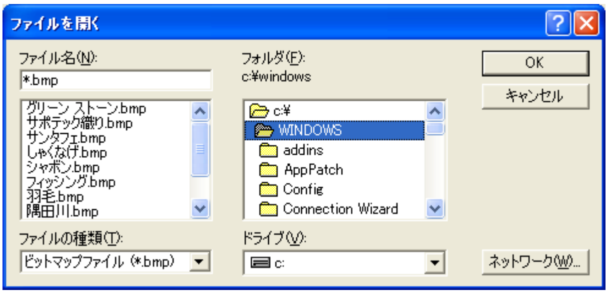
［スタンプ設定］画面で次のように操作します。

［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 ［スタンプ］タブの［スタンプの種類］で［ビットマップ］をクリックします。



2 [ファイル選択] をクリックします。



3 [ファイルを開く] 画面で画像ファイルのフォルダやファイル名を指定し、[OK] をクリックします。

4 画像を小さくしたいときは [サイズ] のスライダを左に動かします。大きくしたいときは右に動かします。

5 画像の白い部分を透明にしたいときは、[白い部分を透過する] にチェックマークをつけます。

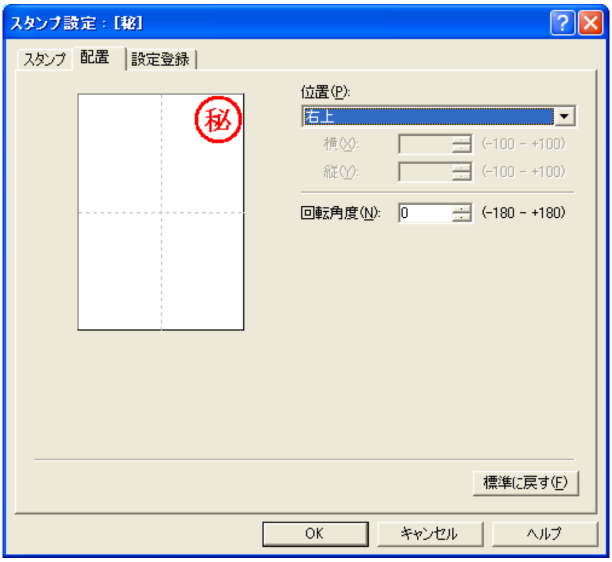
6 [OK] をクリックします。

7 確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

スタンプの位置をかえる、回転する

スタンプの位置をかえるには

［スタンプ設定］画面の［配置］タブで次のいずれかの操作をします。
［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」



ドラッグして動かす

1 ［配置］タブの左に表示されるスタンプにマウスポインタを置き、好きな位置にドラッグします。

座標を指定する

1 ［位置］の選択欄で［中央］、［左上］などからスタンプを押す位置を選びます。

選択肢以外の位置にしたいときは、［座標指定］を選び、［横］と［縦］の座標を指定します。

文字のスタンプを回転させるには

文字のスタンプを回転させることができます。

重 要

Windows 2000/XP では、[スタンプ] タブの [スタンプの種類] で [文字] を選んだときのみ、スタンプを回転させることができます。

1 [スタンプ設定] 画面の [配置] タブの [回転角度] で角度を指定します。

指定した角度の分だけ、スタンプが回転します。数値を大きくすると左回りに回転し、小さくすると右回りに回転します。

スタンプを保存する、削除する

スタンプを保存するには

[スタンプ設定] 画面で次のように操作します。

[スタンプ設定] 画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 [設定登録] タブの [タイトル] にスタンプの名前を入力します。



2 [新規保存] または [上書き保存] をクリックします。

[タイトル] に入力した名前が、[スタンプ一覧] にないときは [新規保存] 、あるときは [上書き保存] となります。

3 保存を確認するメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

4 ［スタンプ設定］画面で［OK］をクリックします。

スタンプを削除するには

［スタンプ設定］画面で次のように操作します。
［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 ［設定登録］タブで、一覧の中から削除するスタンプをクリックします。

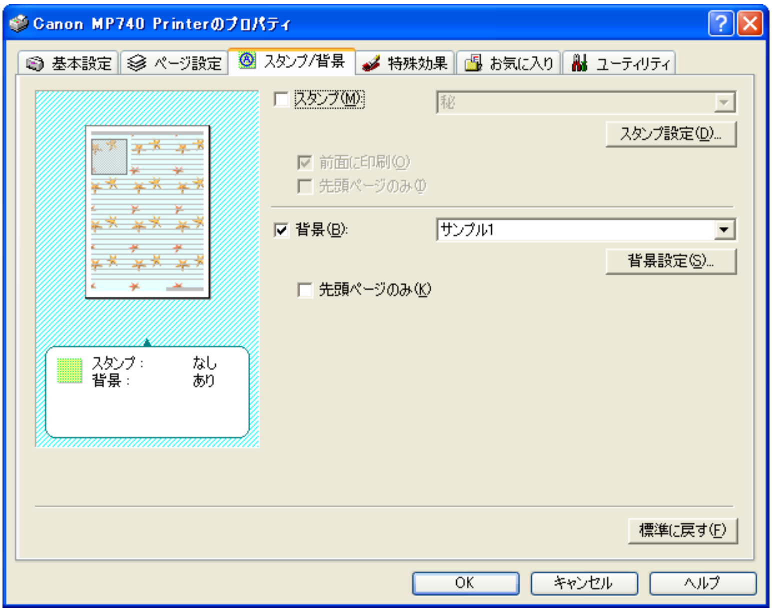
2 ［削除］をクリックします。

3 削除を確認するメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

4 ［スタンプ設定］画面で、［OK］をクリックします。

背景を選ぶ / ［スタンプ / 背景］タブ

印刷する文書に背景を入れることができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



1 ［背景］にチェックマークをつけ、選択欄で使いたい背景を選びます。

2 最初のページにだけ背景を印刷したいときは、［先頭ページのみ］にチェックマークをつけます。

3 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［OK］をクリックします。

背景に使える画像は最初からいくつか用意されていますが、設定をかえたり、他の画像をインポートすることもできます。
→「背景に新しい画像を登録する、背景を削除する」

背景に新しい画像を登録する、背景を削除する

背景に新しい画像を登録するには

画像をインポートして背景に登録することができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［スタンプ / 背景］タブで、［背景］のチェックマークを外します。

2 ［背景設定］をクリックします。



3 ［背景］タブで、［ファイル選択］をクリックします。

4 Windows 2000/XP のときは［ファイルを開く］画面、Windows 98/Me のときは［画像ファイルを選択］画面で、背景にする画像のファイル名を指定して、［OK］をクリックします。

5 ［背景］タブの［配置方法］で、画像をどのように配置するかを選びます。

［座標指定する］を選んだときは、［横］と［縦］の座標を指定します。

［中央に配置する］、［左上に配置する］、［右上に配置する］、［左下に配置する］、［右下に配置する］、［座標指定する］を選んだときは、［背景］タブの左に表示される背景を好きな位置にドラッグし、印刷位置をかえることもできます。

6 ［濃度］のスライダを左右に動かして、背景の濃さを調整します。

7 ［設定登録］タブをクリックします。



8 ［タイトル］に背景の名前を入力して、［新規保存］または［上書き保存］をクリックします。

［タイトル］に入力した名前が、［背景一覧］にないときは［新規保存］、あるときは［上書き保存］となります。

9 保存を確認するメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

10 ［背景設定］画面で、［OK］をクリックします。

背景を削除するには

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1. ［背景設定］をクリックします。
2. ［設定登録］タブの［背景一覧］から削除する背景を選び、［削除］をクリックします。
3. 削除を確認するメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。
4. ［背景設定］画面で、［OK］をクリックします。

特殊効果を設定する / ［特殊効果］タブ

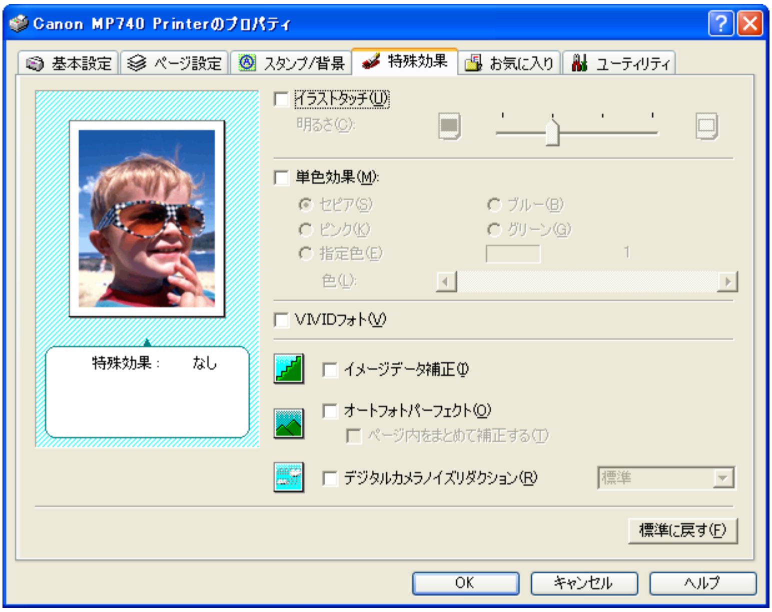
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［特殊効果］タブでは、画像をより印象的なものにするために、写真をイラスト風にしたり、画像の色を単色カラーにかえたり、といった特殊効果を設定できます。

重 要

Windows 98/Me で［バックグラウンド印刷］がオフのときは、［特殊効果］タブの機能のうち、イメージデータ補正だけを使うことができます。

→「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



イラストタッチ

フルカラーや 256 色のカラー画像を手書きのイラスト風にします。［明るさ］のスライダを使って、明るさを調整できます。

単色効果

フルカラーや 256 色のカラー画像を、［セピア］、［ブルー］、［ピンク］、［グリーン］などの単色カラーにします。

この4色以外の色にしたいときは、［指定色］をクリックして、［色］のスライダで設定します。

重 要

グレースケール印刷を選んでいるときは使えません。

→「用紙や印刷品質を設定する / ［基本設定］タブ」

VIVID フォト

画像を鮮明な色で印刷します。
画像の中の人物の自然な肌色を保ったまま、草原や森、海、空などの青や緑の色を鮮明にします。

重要

Windows 98/Me では、グレースケール印刷を選んでいるときは使えません。
→「用紙や印刷品質を設定する /［基本設定］タブ」

イメージデータ補正

アプリケーションを使って引き伸ばしたグラフィックや写真がギザギザになったとき、それをなめらかにします。インターネットのホームページなどの解像度の低い画像に適しています。

オートフォトパーフェクト

デジタルカメラで撮影した画像やスキャナで取り込んだ画像の色合いや明るさを補正します。変色や露出不足、露出過度が見られる画像に効果的です。

ページ内をまとめて補正する

ページ内に複数の画像があるときの［オートフォトパーフェクト］の補正方法を選びます。
チェックマークを外すと、画像の状況に応じ、画像ごとに補正します。通常はこの設定を使います。
チェックマークをつけると、ページ内にある複数の画像を一括して補正します。切り抜きや回転などの加工した画像があるときに効果的です。

デジタルカメラノイズリダクション

デジタルカメラで撮った写真のノイズを減らして印刷します。とくに空の青い部分や暗い部分を印刷するときに効果的です。
［標準］をお勧めしますが、効果が目立たないときは［強い］を選んでみてください。

参考

- アプリケーションや画像データの解像度によって、効果が目立たないことがあります。
- デジタルカメラで撮った写真以外に使うと、画像が乱れることがあります。

設定をお気に入りに登録する / ［お気に入り］タブ

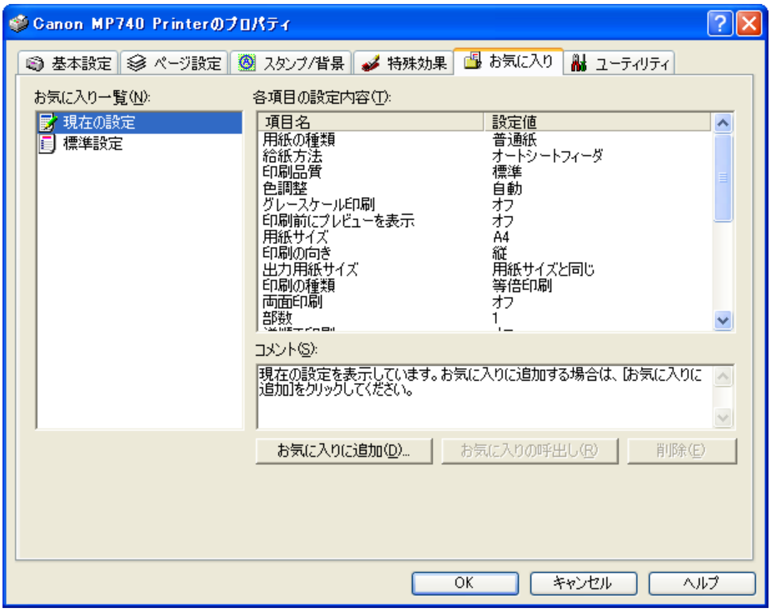
よく使う印刷の設定は、「お気に入り」に登録しておくと便利です。お気に入りは、いつでも簡単に呼び出せます。お気に入りには、［基本設定］タブ、［ページ設定］タブ、［スタンプ / 背景］タブ、［特殊効果］タブの設定が登録されます。
お気に入りは、いらなくなったら削除できます。ただし、あらかじめ登録されている［現在の設定］と［標準設定］は削除できません。
自分で設定したお気に入りを使った後で、［基本設定］タブ、［ページ設定］タブ、［スタンプ / 背景］タブ、［特殊効果］タブの設定を標準設定に戻すこともできます。

お気に入りに登録するには

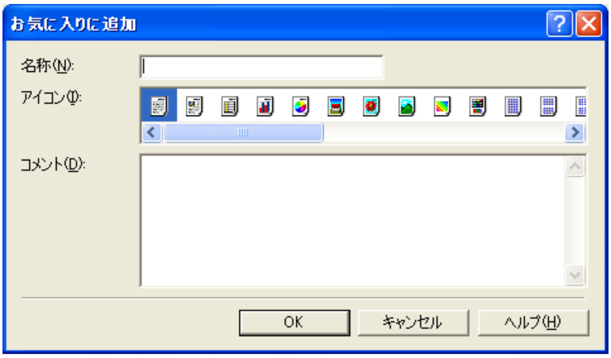
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 → 「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［基本設定］タブ、［ページ設定］タブ、［スタンプ / 背景］タブ、［特殊効果］タブで、印刷の設定をします。

2 ［お気に入り］タブをクリックします。



3 [お気に入りに追加] をクリックします。



4 [名称] にお気に入りの名前を入力します。

5 [アイコン] で、お気に入り用に使うアイコンをクリックします。

6 [コメント] に、お気に入りに関するコメントを入力して、[OK] をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

お気に入りを呼び出して使うには

1 [お気に入り] タブの [お気に入り一覧] で、呼び出したいお気に入りをクリックします。

2 [お気に入りの呼出し] をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

お気に入りを削除するには

1 [お気に入り] タブの [お気に入り一覧] で、削除したいお気に入りをクリックします。

2 [削除] をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

標準設定に戻すには

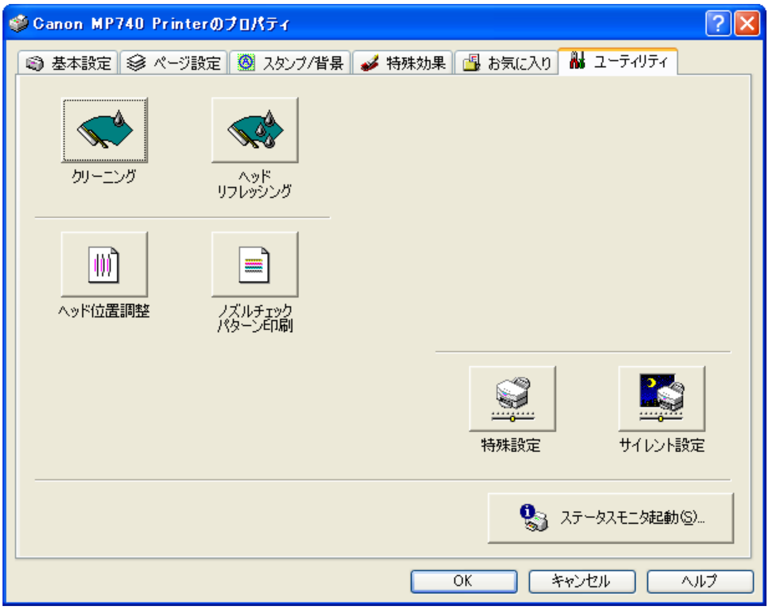
1 ［お気に入り］タブの［お気に入り一覧］で、［標準設定］をクリックします。

2 ［お気に入りの呼出し］をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

クリーニングや本機の設定をする / ［ユーティリティ］タブ

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ユーティリティ］タブでは、プリントヘッドのクリーニングやノズルチェックパターンの印刷、サイレント設定の調整などができます。ステータスモニタもこの画面から開きます。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



クリーニング、ヘッドリフレッシング →「プリントヘッドをクリーニングする」
ヘッド位置調整 →「ヘッド位置を調整する」
ノズルチェックパターン印刷 →「ノズルチェックパターンを印刷する」
特殊設定 →「乾きにくい用紙の設定（特殊設定）」
サイレント設定 →「動作音を抑える（サイレント設定）」
ステータスモニタ起動 →「BJ ステータスモニタで本機の状態を知る」

プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのノズルの詰まりをとります。インクが十分あるのに印刷がかすれたり、特定の色が印刷されないときに行ってください。クリーニングを頻繁に行うと、インクが早く消費されますので注意してください。プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ユーティリティ］タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

クリーニング中はほかの操作をしないでください。

1 ［ユーティリティ］タブで、［クリーニング］をクリックします。



2 ［クリーニング］画面でクリーニングを行うプリントヘッドを選び、［実行］をクリックします。

全色一括：ブラックとカラーのプリントヘッドを両方クリーニングする

ブラック：ブラックのプリントヘッドだけクリーニングする

カラー：カラーのプリントヘッドだけクリーニングする



3 ［OK］をクリックします。

参考

Windows 98/Me のときは、2 の後に確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。



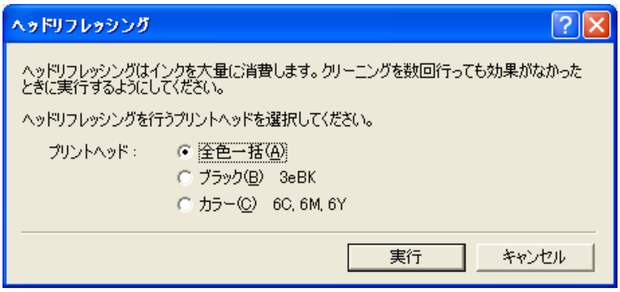
さらに強力なクリーニング（ヘッドリフレッシング）をするには

クリーニングを数回行っても印刷結果が改善されないときは、ヘッドリフレッシングをします。[クリーニング] より強力にクリーニングされます。クリーニングよりもインクが多く消費されるので注意してください。

重要

ヘッドリフレッシング中はほかの操作をしないでください。

1 [ユーティリティ] タブで、[ヘッドリフレッシング] をクリックします。



2 クリーニングと同じように、[全色一括]、[ブラック]、[カラー] のいずれかを選び、[実行] をクリックします。



3 [OK] をクリックします。



4 [OK] をクリックします。

ヘッド位置を調整する

ノズルチェックパターンなどに色むらやすじが出るときは、ヘッド位置を調整してください。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ユーティリティ］タブで、次のように操作します。

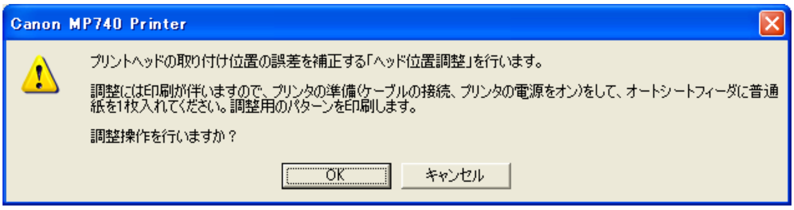
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

ヘッド位置調整中はほかの操作をしないでください。

1 用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットします。

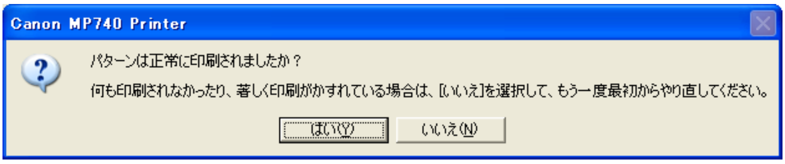
2 [ユーティリティ] タブで、[ヘッド位置調整] をクリックします。



3 [OK] をクリックします。

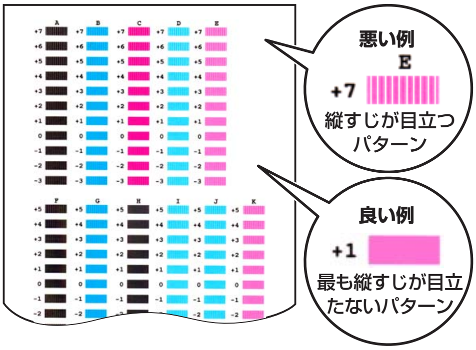


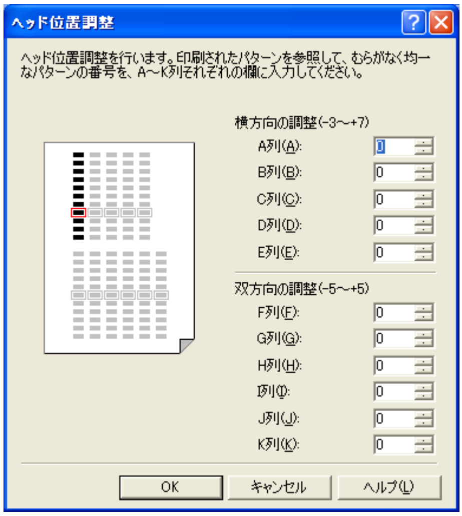
4 [OK] をクリックします。



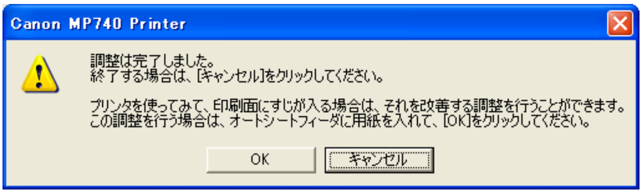
5 パターンが印刷されたら、[はい] をクリックします。

パターンが印刷されないときは、インクタンクが正しくセットされているか確認してください。





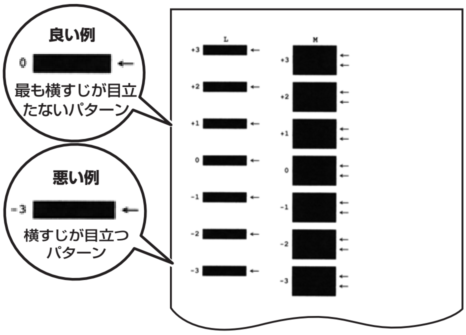
6 印刷されたパターンのA列で、縦すじがいちばん目立たないものを見つけ、その番号を入力します。
同じように、B～K列で、縦すじがいちばん目立たないものの番号をそれぞれ入力し、最後に［OK］をクリックします。

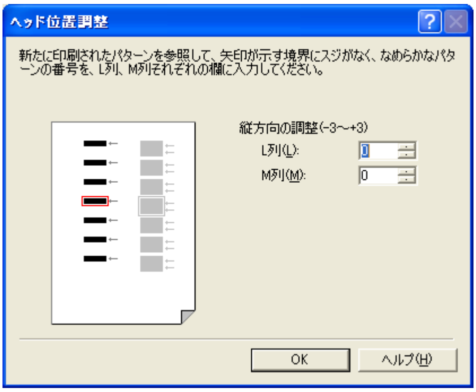


7 ［OK］をクリックします。



8 [OK] をクリックします。





9 印刷されたパターンのL列で、横すじがいちばん目立たないものを見つけ、その番号を入力します。同じように、M 列で、横すじがいちばん目立たないものの番号を入力し、[OK] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。

ノズルチェックパターンを印刷する

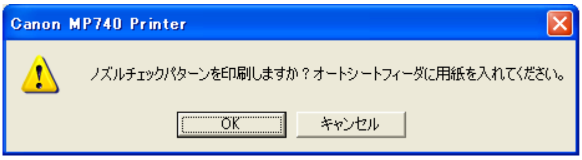
インクが十分あるのに印刷がかすれたり、特定の色が印刷されないときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンを見ると、プリントヘッドの状態がわかります。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の [ユーティリティ] タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重 要

ノズルチェックパターンの印刷中はほかの操作をしないでください。

1 用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットします。

2 ［ユーティリティ］タブで、［ノズルチェックパターン印刷］をクリックします。



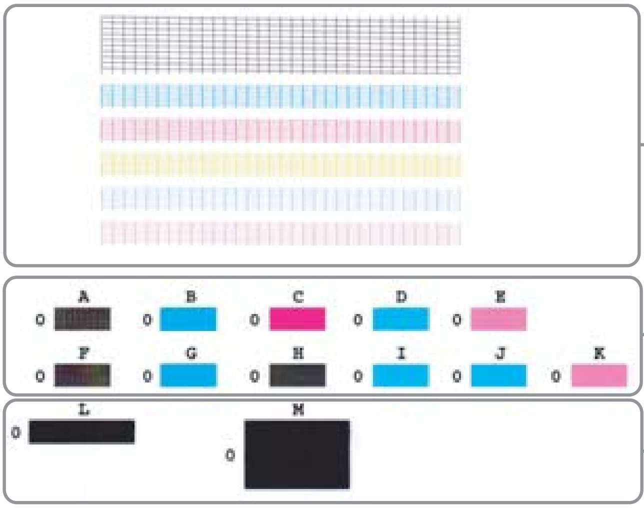
3 ［OK］をクリックします。



4 ［OK］をクリックします。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

インクが十分にあるときは、ノズルチェックパターンは次のように印刷されます。



この部分の印刷がかすれているときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。

ノズルチェックパターンに色むらがあるときは、プリントヘッドの位置を調整してください。

ノズルチェックパターンに横すじが出たときは、プリントヘッドの位置を調整してください。

乾きにくい用紙の設定（特殊設定）

この機能は、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を、プリンタのアイコンから表示したときだけ使えます。→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

Windows 2000/XP のときは、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは［スタート］ボタンから［プリンタとFAX］）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

Windows 2000/XP のとき：

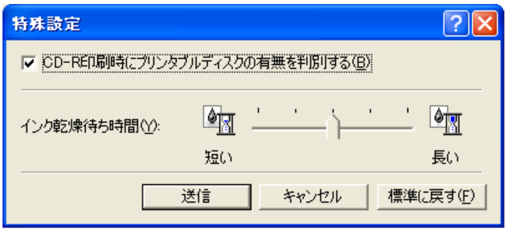
○ 本機のアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows 98/Me のとき：

○ 本機のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面が表示されます。

3 ［ユーティリティ］タブで、［特殊設定］をクリックします。



4 次の設定をします。

■CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する

CD-R 印刷をはじめる前に、CD-R トレイに CD-R メディアがセットされているかどうかを判別します。

■インク乾燥待ち時間

インクが乾きにくい用紙に印刷するときや濃度の高い印刷をするときに、スライダで印刷にかかる時間を調整します。

右にするほど、次のページの印刷開始までの休止時間が長くとられ、プリントヘッドや用紙どうしのインクのこすれなどがなくなります。

左にするほど、休止時間が短くなり、印刷の速度が速くなります。

5 設定が終わったら、本機の電源が入っていることを確認してから、［送信］をクリックします。

確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

設定が本機に登録されます。

参考

設定を初期の状態に戻すときは、［特殊設定］画面で［標準に戻す］をクリックして、［送信］をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

動作音を抑える（サイレント設定）

この機能は、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を、プリンタのアイコンから表示したときだけ使えます。→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

- Windows 2000/XP のときは、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。
- サイレント設定にすると、印刷時の動作音が小さくなりますが、印刷速度が通常より遅くなります。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは［スタート］ボタンから［プリンタとFAX］）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

Windows 2000/XP のとき：

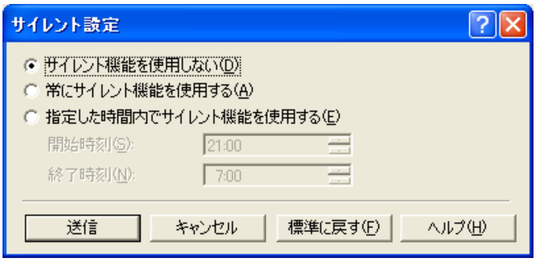
○ 本機のアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows 98/Me のとき：

○ 本機のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面が表示されます。

3 ［ユーティリティ］タブで、［サイレント設定］をクリックします。



4 次の設定をします。

■サイレント機能を使用しない

サイレント設定にしないときに選びます。通常はこの設定になっています。

■常にサイレント機能を使用する

本機をサイレント設定にするときに選びます。

■指定した時間内でサイレント機能を使用する

決まった時間帯に自動的にサイレント設定にしたいときに選びます。

[開始時刻] と [終了時刻] を 24 時制で入力してください。たとえば、深夜になると自動的に静かになるように設定できます。

5 設定が終わったら、本機の電源が入っていることを確認してから、[送信] をクリックします。

確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

設定が本機に登録されます。

参考

設定を初期の状態に戻すときは、[サイレント設定] 画面で [標準に戻す] をクリックして、[送信] をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

BJ ステータスモニタで本機の状態を知る

BJ ステータスモニタを表示すると、本機の状態や印刷の進行状況を見ることができます。本機の状態がリアルタイムに画面に表示され、印刷文書（印刷ジョブ）ごとの進行状況がわかります。また、本機にエラーが発生したり、インクが少なくなっているときも、それが表示され、どう対処したらよいかがわかります。

BJ ステータスモニタを起動するには

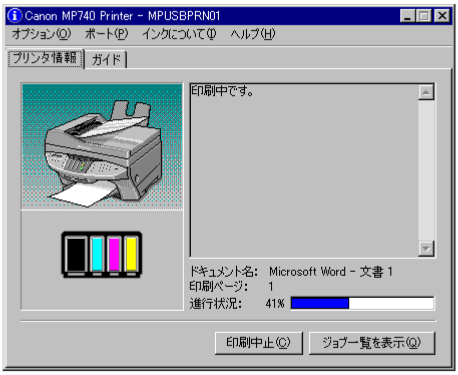
1 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を表示します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

2 [ユーティリティ] タブで、[ステータスモニタ起動] をクリックします。



Windows XP の画面



Windows 98 の画面（印刷中）

BJ ステータスモニタの画面には、本機とインクの状態が絵やメッセージで表示されます。
印刷中は印刷文書に関する情報や進行状況を表示します。
エラーが発生すると、その内容と対処方法が表示されますので、指示にしたがってください。

タイトルバー

本機の機種名と使っているポート名を表示します（プリンタ名を変更しているときは、その名称を表示します）。

左上（ガイド欄）

本機の状態や必要な操作を絵で表示します。背景の色には青、黄、赤の 3 種類があり、本機が通常の状態か、警告やエラーが発生している状態かがわかります。

青 - - - - - - - - - - - - - 本機はオンラインで、警告もエラーも発生していません。

黄 - - - - - - - - - - - - - 警告（オペレータコールエラー）が発生しているか、何らかの操作を本機で行っている途中の状態です。メッセージ欄（Windows 98/Me のときは、［ガイド］タブ）の説明を読んで対処してください。

赤 - - - - - - - - - - - - - エラーが発生しています。メッセージ欄（Windows 98/Me のときは、［ガイド］タブ）の説明を読んで対処してください。

左下（インク情報欄）

インクタンクの種類を絵で表示します。インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンで知らせます。

 - - - - - - - - - - - - - インクが残り少なくなっています。

 - - - - - - - - - - - - - インクがありません。

右上（メッセージ欄）

本機の状態や必要な操作の説明を表示します。

右下

ドキュメント名（印刷中の文書の名称）や、印刷しているページ、印刷の進行状況を表示します。

[オプション］メニューの項目（チェックマークをつけると次の設定になります）

●ステータスモニタを使用（Windows XP/2000 のみ）
　本機に関連するメッセージが発生したときだけ、BJ ステータスモニタが起動します。

●印刷中に表示
　印刷中には、必ず BJ ステータスモニタが表示されます。

●常に手前に表示
　BJ ステータスモニタがいつもいちばん手前に表示されます。他の画面の後ろに隠れてもかまわないときはチェックマークをつけません。

●ガイドメッセージを表示－長形封筒印刷
　長形封筒に印刷するときに、ガイドメッセージを表示します。

●警告発生時に自動的に表示－インク残量警告のとき
　インク残量警告が発生したとき、BJ ステータスモニタが自動的に開き、他の画面よりも手前に表示されます。

●Windows と同時に起動
　Windows を起動すると BJ ステータスモニタが自動的に起動します。

[インクについて］メニュー

インクに関する情報を表示します。

印刷を中止するには

［印刷中止］をクリックします。このボタンは印刷している間だけ有効です。
印刷が終わるとグレー表示になります。

ジョブ一覧を表示するには

［ジョブ一覧を表示］をクリックします。印刷中の文書や印刷待ちの文書の一覧が表示され、印刷の一時停止や中止ができます。



プリンタを共有し、ネットワークで使う

パソコンをネットワークに接続しているときは、１台のパソコンに接続した本機をほかのパソコンと共有して使えます。プリンタを共有するときは、サーバ（本機を接続したパソコン、ホスト）で、プリンタを共有プリンタに設定し、クライアント（サーバ以外のパソコン、リモート）ごとに、プリンタドライバをインストールしてください。
使っている OS によって、プリンタを共有できるクライアントが異なります。

サーバの OS	クライアントの OS
Windows 98/Me	Windows 98/Me
Windows 2000/XP	Windows 98/Me/2000/XP

クライアントから共有プリンタで文書を印刷すると、サーバに印刷状況を示すメッセージ（ステータスメッセージやエラーメッセージ）が表示されます。

共有プリンタに設定するには

1 サーバで、タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから［プリンタと FAX］をクリックします）。

2 ［プリンタ］画面（Windows XP のときは［プリンタと FAX］画面）で共有したいプリンタのアイコンを右クリックして、表示されたメニューの［共有］をクリックします。

メニューに［共有］が表示されないときは、プリンタ共有の設定が必要です。詳しくは、Windows の取扱説明書をご覧ください。

3 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［共有］タブで、［共有する］または［このプリンタを共有する］をクリックします。

4 共有プリンタの名前を決めて、共有名の入力欄に入力します。

参考

パスワードを設定することもできます。パスワードを設定すると、クライアントで共有プリンタを使うときに、パスワードの入力が必要になります。

5 サーバが Windows 2000/XP で、クライアントが Windows 98/Me のときは、追加ドライバをインストールしてください。

→「Windows 2000/XP でプリンタを共有する」

6 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、[OK] をクリックします。

クライアントにプリンタドライバをインストールするには

クライアントに古いバージョンの MultiPASS Suite がインストールされていると、プリンタドライバをインストールできません。あらかじめ削除してからインストールしてください。

1 サーバのパソコンの電源がONになっていることを確認します。

2 クライアントのパソコンで、タスクバーの [スタート] ボタンから、[設定] → [プリンタ] をクリックします (Windows XP のときは、[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします)。

3 [プリンタ] 画面 (Windows XP のときは、[プリンタと FAX] 画面) で [プリンタの追加] をダブルクリック (Windows XP のときは、[プリンタのインストール] をクリック) します。

4 画面に表示される指示にしたがって操作します。

プリンタドライバは、共有プリンタと同じ名前で、ネットワークプリンタとしてインストールされます。

Windows 2000/XP でプリンタを共有する

サーバが Windows 2000/XP で、クライアントが Windows 98/Me のときは、追加ドライバをインストールしてください。
設定を始める前に、セットアップ CD-ROM を用意してください。

1 サーバで、タスクバーの [スタート] ボタンから、[設定] → [プリンタ] をクリックします (Windows XP のときは、[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします)。

2 [プリンタ] 画面 (Windows XP のときは [プリンタと FAX] 画面) で、プリンタのアイコンをクリックします。

3 [ファイル] メニューの [共有] をクリックします。

4 プロパティ画面の［共有］タブで、［共有する］または［このプリンタを共有する］をクリックします。

5 共有名の入力欄に、共有プリンタにつけたい名前を入力します。

6 ［追加ドライバ］をクリックします。

7 画面に表示される指示にしたがって操作します。

■［追加ドライバ］画面で、サポートしたい OS の種類を選ぶようにメッセージが表示されたら、クライアントの OS を選びます。

サーバの OS が Windows 2000 のとき「Windows 95 または 98」

サーバの OS が Windows XP のとき「Windows 95、98、および Me」

■サーバの OS が Windows 2000 のとき、Windows 2000 の CD-ROM をセットするように表示されたら、代わりにセットアップ CD-ROM をセットします。

■サーバの OS が Windows XP のとき、プリンタドライバに関する画面が表示されたら、セットアップ CD-ROM をセットします。

■INF ファイルを指定するように表示されたら、セットアップ CD-ROM の次のファイルを指定してください。

¥MP¥Japanese¥Win98ME¥Setup¥Drv98ME¥mp52prn.inf

3 スキャン

原稿を読み込む

3章 スキャン（原稿を読み込む）

本機の操作パネルを使って読み込む

本機の［スタート］キーを押すだけで、原稿をパソコンに読み込むことができます。［スタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存］ボタンをクリックしたときと同じように読み込まれます。［保存］ボタンの設定をかえたり、他のボタンと同じ動作にすることもできます。

→「［スタート］キーを押したときの読み込み方の設定」

重要

- **本機を使用しているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。**
- **［スタート］キーを押したときに、MP Toolbox が自動的に起動しない場合は、［スキャナとカメラ］画面で、MP Toolbox が起動するように設定してください。**
  →「［スキャナとカメラ］画面で設定する」

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

本機の ADF（自動給紙装置）に、原稿を上向きにセットすることもできます（ファクスモデルのみ）。

2 本機の［スキャン］キーを押します。

本機がスキャンモードに切りかわります。

3 本機の［スタート］キーを押します。

原稿が読み込まれます。

参考

- ［スタート］キーを押したあと、MP Toolbox とその設定画面が開きますが、［実行］をクリックしなくても原稿は読み込まれます。
- MP Toolbox では、本機から原稿を読み込んだ（スキャンした）ときの動作を細かく設定できます。
- 原稿が読み込まれる場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
  -［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
  -［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがない場合は、［マイ ドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

［スタート］キーを押したときの読み込み方の設定

はじめて使うときは、本機の［スタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存］ボタンをクリックしたときと同じ動作をするように設定されています。
［スタート］キーを押したときの動作は、次の操作でかえることができます。

MP Toolbox のメイン画面でかえる

1 **デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.6］をダブルクリックします。**
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.6］→［Toolbox 4.6］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。



2 **のマークを、選びたいボタンの上にドラッグします。**



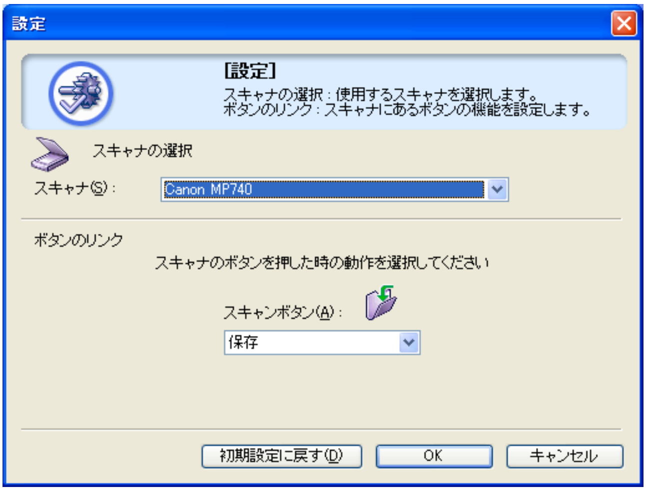
選んだボタンの上にマークが移動します。



MP Toolbox の［設定］画面で選ぶ

1 MP Toolbox の［設定］ボタンをクリックします。

2 ［ボタンのリンク］欄の［スキャンボタン］で本機の［スタート］キーに割り当てる動作のボタンを選びます。



3 ［OK］をクリックします。

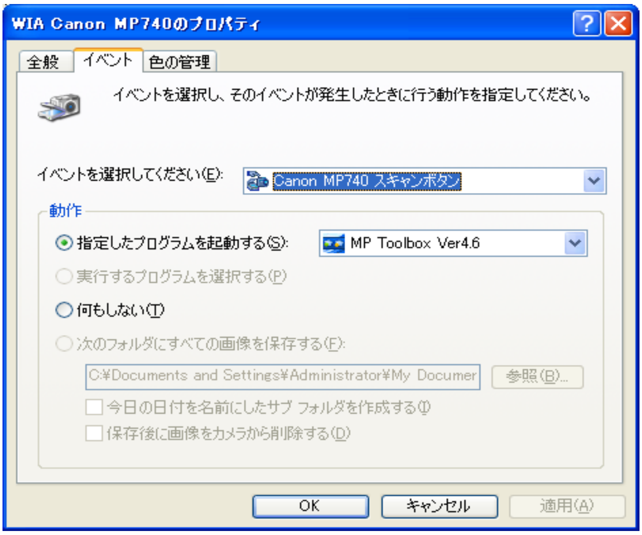
［スキャナとカメラ］画面で設定する

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［コントロール パネル］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします）。

2 開いた画面で［スキャナとカメラ］をダブルクリック（Windows XP のときはクリック）します。

3 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします（Windows 98/2000 のときは、本機のアイコンをクリックして、［プロパティ］をクリックします）。

4 [イベント]タブの[次のアプリケーションに送る]欄（Windows XP のときは、[動作] 欄）で、本機の [スタート] キーを押したときの動作を指定します。



イメージングや Photoshop などのソフトウェアが起動するように設定すると、本機の［スタート］キーを押したときに、まず、ScanGear MP が開きます。

MP Toolbox が起動するように設定すると、MP Toolbox の設定で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークがついていれば、本機の［スタート］キーを押したときに、まず、ScanGear MP が開きます。

5 [OK] をクリックします。

6 Windows 2000 のときは、パソコンを再起動します。

重要

Windows 2000 では、再起動しないと設定が有効になりません。

MP Toolbox を使って読み込む

MP Toolbox の用途別のボタンを使って原稿を読み込みます。

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

本機の ADF（自動給紙装置）に、原稿を上向きにセットすることもできます（ファクスモデルのみ）。

2 デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.6］をダブルクリックします。
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.6］→［Toolbox 4.6］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。



3 目的に合った MP Toolbox のボタンをクリックします。

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

■メール

原稿が読み込まれ、E メールソフトウェアで画像を添付したメールが作られます。

■OCR

原稿が読み込まれ、OCR ソフトウェア（文字読み取りソフトウェア）に読み込まれます。

■保存

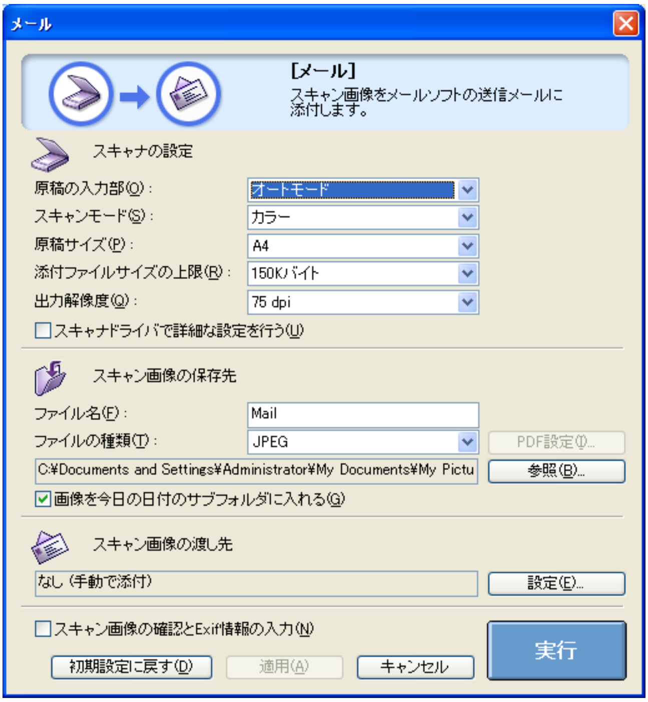
原稿が読み込まれ、保存されます。

■ファイル

原稿が読み込まれ、PDF ファイルとして保存されます。

■スキャン -1、スキャン -2

原稿が読み込まれ、登録されたアプリケーションで表示されます。ボタン名は、直接入力してかえることができます。全角4文字（半角8文字）まで入力できます。



4 設定を行います。

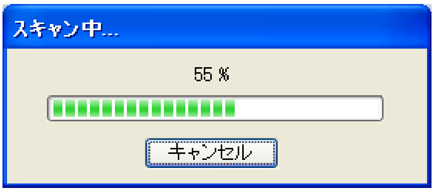
→「MP Toolbox の設定」

MP Toolbox の［保存］または［ファイル］以外のボタンをクリックして、設定画面の［スキャン画像の渡し先］にアプリケーションが表示されていないときは、アプリケーションを登録してください。

次回以降も同じ設定にしたいときは、［適用］をクリックします。

5 ［実行］をクリックします。

原稿が読み込まれます。



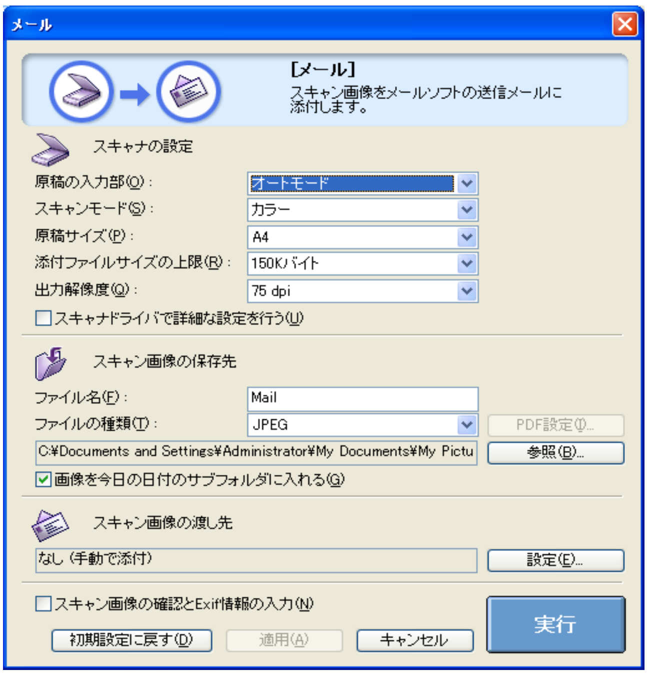
参考

- 3 の操作で［保存］または［ファイル］ボタンをクリックしたときに保存される場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
  ［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
  ［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがない場合は、［マイ ドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

- 3 の操作で［メール］、［OCR］、［ファイル］、［スキャン -1］、［スキャン -2］ボタンをクリックしたときは、読み込みが終わると、読み込んだ原稿がアプリケーションに表示されますので、メールの送信や OCR の変換などの操作をしてください。セットアップ CD-ROM のアプリケーションをインストールしていないときや、［スキャン画像の渡し先］が設定されていないときはアプリケーションの設定を促すメッセージが表示されます。設定が終わると、原稿が読み込まれます。
→「MP Toolbox の設定」
- 4 の操作で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけたときは、ScanGear MP が開きます。設定を行って、［スキャン］をクリックします。
→「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」



MP Toolbox の設定



MP Toolbox では、読み込みについて、次の設定ができます。

スキャナの設定

原稿の入力部

原稿をセットする場所です。

●原稿台ガラス

●自動給紙装置（ADF）（ファクスモデルのみ）

●オートモード（ファクスモデルのみ）

自動給紙装置に原稿があるときはそれを読み込み、ないときは原稿台ガラスの原稿を読み込みます。

スキャンモード

どんな原稿をどのように読み込むかを選びます。MP Toolbox のどのボタンをクリックしたかによって、選べるスキャンモードがかわります。[OCR] ボタンでは［モノクロ]、[モノクロ（OCR)]、[グレー］の 3 種類、[OCR] ボタン以外では［モノクロ（OCR)］以外の 6 種類が選べます。

●モノクロ

白と黒の画像（白黒 2 値の画像）になるように原稿を読み込みます。

●モノクロ（OCR）

文書などをはっきりと読み込みます。

OCR ソフトウェアを使って文字を読み込むときに適しています。グレースケールで読み込んでから、白黒 2 値に変換するので、［モノクロ］より時間がかかります。

●グレー

グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿を読み込みます。写真を読み込むときに適しています。

●カラー

モアレ低減機能を使わずに、カラーで原稿を読み込みます。プリント写真などを読み込むときに適しています。

●カラー（雑誌、カタログ）

モアレ低減機能を使って、カラーで原稿を読み込みます。モアレ低減機能は、印刷物を読み込むときに発生する縞のような模様（モアレ）をできるだけ減らす機能です。この機能を使うと、読み込み時間が長くなります。

●カラー（マルチスキャン）（[原稿の入力部］が［原稿台ガラス］のときのみ）

原稿台ガラスに置いた複数の原稿を、それぞれの原稿ごとに複数の画像ファイルにします。カラーで読み込みます。

[メール］ボタンでは、複数の画像が添付されたメール作成画面か、画像が添付された複数のメール作成画面が開きます。

[スキャン -1］ボタン、[スキャン -2］ボタンでは、リンクされているアプリケーションに、複数の原稿が別々のファイルとして渡されます。

[ファイルの種類］が［PDF］で、[マルチページ PDF を作成］にチェックマークをつけると、複数の原稿がひとつの PDF ファイルになります。

→「PDF ファイルの設定」

重 要

複数の画像を受け取れないアプリケーションもあります。

●カラー（オートクロップ）（[原稿の入力部］が［原稿台ガラス］のときのみ）

原稿サイズを自動的に読み取って、原稿部分だけをカラーで読み込みます。原稿台ガラスに複数の原稿を置いても、ひとつの画像ファイルが作られます。

原稿サイズ

読み込む原稿のサイズを選びます。
幅と高さを数値で指定したいときは、［カスタム］を選びます。原稿のサイズを設定する画面が表示されますので、［単位］を選んで、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］をクリックしてください。

重要

［スキャンモード］が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］のときは選べません。

添付ファイルサイズの上限（［メール］ボタンのみ）

送信する画像のファイルサイズ（圧縮後のファイルサイズ）の上限の目安を選びます。画像によっては圧縮後のファイルサイズが、設定値を超える場合もあります。
一般的なメールでは、［150K バイト］をおすすめします。

重要

［ファイルの種類］が［PDF］のときは、選べません。

出力解像度

読み込む細かさ（解像度）を選びます。→「解像度の決めかた」
最小値は 75dpi、最大値は 1200dpi です。［原稿の入力部］が［原稿台ガラス］以外のときや［スキャンモード］が［カラー（雑誌、カタログ）］のときは、最大 600dpi になります。［ファイルの種類］が［PDF］のときは、最大 400dpi になります。
［メール］ボタンのときは、［添付ファイルサイズの上限］の設定によって、選択肢がかわります。
［スキャンモード］が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］のときは、75dpi、150dpi、300dpi、600dpi（［ファイルの種類］が［PDF］のときは、75dpi、150dpi、300dpi）しか選べません。

スキャナドライバで詳細な設定を行う（［OCR］ボタン以外）

チェックマークをつけて［実行］をクリックすると、ScanGear MP の画面が表示され、読み込みについて細かく設定できます。
［スキャンモード］、［原稿サイズ］などの［スキャナの設定］は、ScanGear MP の画面で設定してください。
→「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」
チェックマークをつけないと、表示されている設定で、すぐに読み込まれます。

スキャン画像の保存先

ファイル名

読み込んだ画像に付けるファイル名を入力します。
同じ名前のファイルが存在するときは、ファイル名の後ろに「0001」から順に 4 桁の番号が付けられます。拡張子は自動的に付けられます。

ファイルの種類

読み込んだ画像を保存するときのファイルの種類を選びます。

●BMP　BMP 形式。
●JPEG　JPEG 形式。グレースケールまたはカラー画像のときだけ選べます。
●TIFF　TIFF 形式。
●PDF　PDF 形式。［PDF 設定］で細かい設定ができます。

→「PDF ファイルの設定」

各ボタンで保存できるファイルの種類は次のとおりです。

	BMP	JPEG	TIFF	PDF
[メール]	−	○	−	○
[OCR]	○	−	○	−
[保存]	○	○	○	○
[ファイル]	−	−	−	○
[スキャン -1]、[スキャン -2]	○	○	○	−

重 要

- **[ファイルの種類] が [PDF] のとき、ScanGear MP で A4 サイズ／ 600dpi 以上にすると、警告メッセージが表示され読み込めないことがあります。原稿サイズや解像度を低くしてください。**
- **ScanGear MP の画面で [新聞(モノクロ)](基本モード)や [モノクロ](拡張モード)にしても、[ファイルの種類] が [JPEG] のときは、グレースケールで保存されます。**

保存先

読み込んだ画像の保存先が表示されます。
保存するフォルダをかえるときは、[参照] をクリックし、保存先のフォルダを選んで、[OK] をクリックします。
保存される場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
[マイ ドキュメント] フォルダの中に [マイ ピクチャ] フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
[マイ ドキュメント] フォルダの中に [マイ ピクチャ] フォルダがない場合は、[マイ ドキュメント] フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に直接保存するか、そのフォルダの中に今日の日付のフォルダ(たとえば「2004-01-01」など)を作って、その中に保存するかを選びます。

スキャン画像の渡し先

読み込んだ画像を使うアプリケーション名が表示されています。
表示されていない場合や、他のアプリケーションを使いたい場合は、[設定] をクリックし、使いたいアプリケーションを選んで、[OK] または [開く] をクリックします。
[メール] ボタンのときに、使いたいアプリケーションがリストに表示されない場合は、[なし(手動で添付)] を選びます。この場合は、アプリケーションが起動しませんので、アプリケーションで、画像ファイルを開いたり、添付する操作などを行ってください。
[OCR]、[ファイル]、[スキャン -1]、[スキャン -2] ボタンで、アプリケーションを登録したくないときは、[リンクの削除] をクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されますので、[はい] をクリックしてください。

重 要

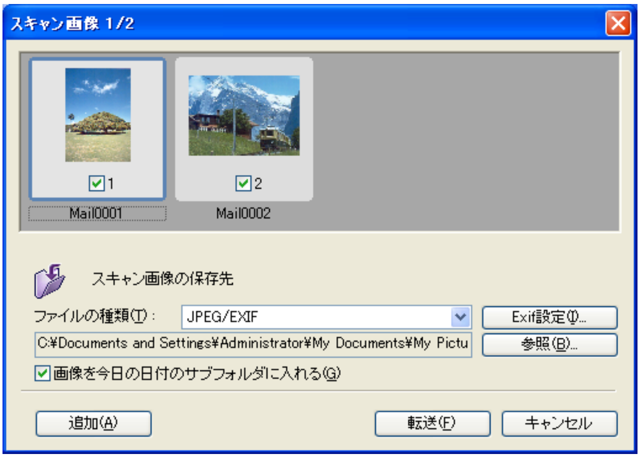
E メールソフトウェアでは、Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger に対応しています。

スキャン画像の確認と Exif 情報の入力（[メール]、[保存]、[スキャン -1]、[スキャン -2] ボタン）／スキャン画像を確認する（[ファイル] ボタンのみ）

チェックマークをつけて［実行］をクリックすると、[スキャン画像］画面が表示され、読み込んだ画像のサムネイル（縮小画像）を確認したり、ファイルの種類や保存先を指定したり、PDF ファイルや Exif 情報の設定をすることができます。
チェックマークをつけないと、表示されている保存先に読み込まれます。

重要

- **[ファイル］ボタンでは、Exif 情報は設定できません。**
- **[ファイルの種類］が［PDF］で、[PDF 設定］画面の［マルチページ PDF を作成］にチェックマークがついているときは、選べません。**



スキャン画像の保存先

読み込んだ画像を保存するときのファイルの種類と保存先のフォルダを選びます。選ぶことができるファイルの種類は、MP Toolbox の設定画面の［ファイルの種類］と同じです。
[ファイルの種類］で［PDF］を選ぶと、[PDF 設定］をクリックしてテキスト検索やマルチページ、圧縮タイプなど、PDF ファイルの設定をすることができます。
→「PDF ファイルの設定」
[ファイルの種類］で［JPEG/EXIF］を選ぶと、[Exif 設定］をクリックしてタイトルや撮影データなど、Exif 情報を付加することができます。
→「Exif 情報の設定」

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に直接保存するか、そのフォルダの中に今日の日付のフォルダ（たとえば「2004-01-01」など）を作って、その中に保存するかを選びます。

追加

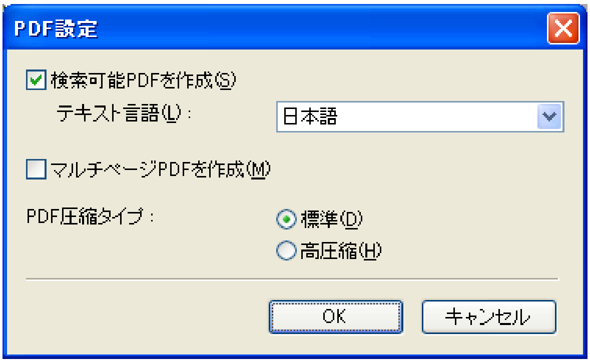
複数の原稿をまとめて読み込みます。MP Toolbox の設定画面に戻りますので、原稿をかえて［実行］をクリックします。

転送（[保存］ボタンのときは保存）

読み込んだ画像を指定した保存先に転送します。[スキャン画像］画面で、チェックマークがついている画像のみが転送されます。

PDF ファイルの設定

読み込んだ画像を PDF ファイルに保存するときの設定を行います。



検索可能 PDF を作成

チェックマークをつけると、原稿の中の文字をテキストデータに変換し、簡単なキーワード検索などができるようになります。[テキスト言語] は [日本語] または [英語] を選び、出力解像度は 300dpi 以上にしてください。

重要

原稿の中のすべての文字を正しく認識できるわけではありません。

マルチページ PDF を作成

チェックマークをつけると、複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにします。

重要

[スキャン画像] 画面に画像が 1 つしかないときは、設定できません。

PDF 圧縮タイプ

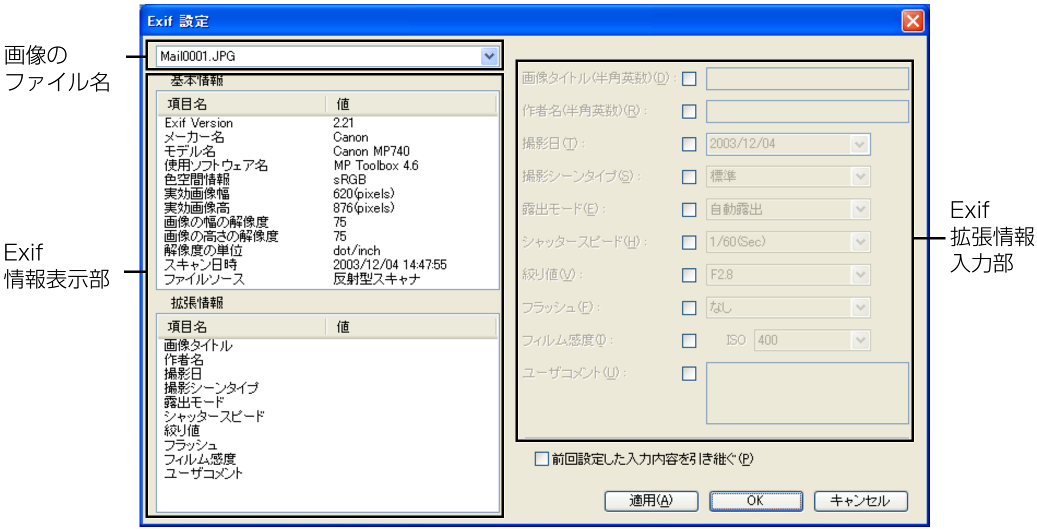
[高圧縮] を選ぶと、画像（写真、イラストなど）がより圧縮され、ファイルサイズが小さくなりますが、画像の品質は低下します。

重要

- **[スキャンモード] が [モノクロ] のときは、[高圧縮] を選べません。**
- **ScanGear MP の画面で、[新聞（モノクロ）]（基本モード）、[モノクロ]（拡張モード）、または [テキスト（OCR）]（拡張モード）にすると、高圧縮の設定は無効になります。**

Exif 情報の設定

読み込んだ画像に付加する Exif 情報の設定を行います。



画像のファイル名

表示されているファイル名の画像に、設定した Exif 情報が付加されます。
［スキャン画像］画面で複数の画像にチェックマークがついているときは、ここで画像を選びます。

Exif 情報表示部

設定されている Exif 情報が表示されます。［基本情報］は、スキャナやソフトウェアから自動的に得られた情報です。［拡張情報］は、画面の右側の各項目に情報があるときに表示されます。

Exif 拡張情報入力部

タイトルや撮影データなど、Exif 情報を入力します。入力したい項目のチェックボックスにチェックマークをつけると、その項目を入力または選ぶことができます。［適用］をクリックすると、設定した値が Exif 情報表示部に表示されます。

前回設定した入力内容を引き継ぐ

チェックマークをつけると、直前に画像に付加した入力情報が表示されます。

アプリケーションから原稿を読み込む

TWAIN または WIA に対応したアプリケーションを操作しながら原稿を読み込んで、その画像をアプリケーションで使うことができます。
この操作は、アプリケーションによって異なります。ここでは、その一例を示します。
詳しい操作のしかたは、使用するアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

本機の ADF（自動給紙装置）に、原稿を上向きにセットすることもできます（ファクスモデルのみ）。

2 アプリケーションで原稿を読み込むためのコマンド（「読み込み」、「イメージの取得」など）を選びます。

3 スキャナドライバを選びます。

Windows XP では、スキャナドライバとして、ScanGear MP（TWAIN）と WIA ドライバを使うことができます。

ScanGear MP を使うときは、[Canon MP740] または [Canon MP710] を選びます。

WIA ドライバを使うときは、[WIA Canon MP740] または [WIA Canon MP710] を選びます。

4 必要があれば、スキャナドライバの画面でプレビューし、設定を調整します。

→「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」
→「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」

5 [スキャン] をクリックします。

読み込みが終わると、アプリケーションの画像表示領域に読み込んだ画像が表示されます。

2 枚以上の A4 などの原稿をひとつの PDF ファイルにする

A4 などの原稿を 2 枚以上読み込んで、それをひとつの PDF ファイルにまとめることができます。

1 **本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。**

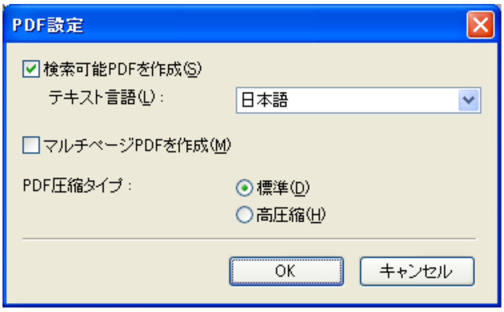
本機の ADF（自動給紙装置）に、原稿を上向きにセットすることもできます（ファクスモデルのみ）。

2 **デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.6］をダブルクリックします。**
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.6］→［Toolbox 4.6］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。

3 **［ファイル］ボタンをクリックします。**
必要があれば、MP Toolbox の設定をします。

4 **［PDF 設定］をクリックします。**



5 **［マルチページ PDF を作成］にチェックマークをつけ、［OK］をクリックします。**

［PDF 設定］画面での設定→「PDF ファイルの設定」

6 **［実行］をクリックします。**

3 の操作で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけたときは、ScanGear MP が開きます。

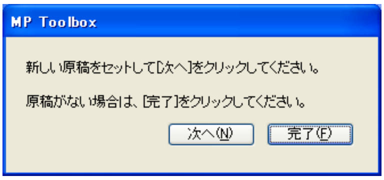
ScanGear MP が開いたとき：



○ 設定を行って、［スキャン］をクリックします。

設定 →「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」

原稿が 1 枚読み込まれるごとに、次の画面が開きます。



7 スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックします。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

重要

ADF（自動給紙装置）から原稿を読み込んだときは表示されません。

［スキャンモード］が［カラー（マルチスキャン）］のときでも、［マルチページ PDF を作成］にチェックマークをつけると、原稿台ガラスの複数の原稿は 1 つの PDF ファイルになります。続けて複数の原稿を読み込めば、それも 1 つの PDF ファイルになります。

参考

- 文字原稿や白黒原稿を読み込むときは、[スキャンモード] を [モノクロ] または [グレー] にすることをおすすめします。
- 出力解像度が300dpi以上でマルチページPDFを作成するときは、1つのPDFファイルを20ページ以下にすることをおすすめします。
- 原稿が読み込まれる場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。

  -[マイ ドキュメント] フォルダの中に [マイ ピクチャ] フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

  -[マイ ドキュメント] フォルダの中に [マイ ピクチャ] フォルダがない場合は、[マイ ドキュメント] フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む

MP Toolbox の［カラー（マルチスキャン)］や、ScanGear MP のマルチスキャン（基本モード）やマルチクロップ（拡張モード）を使うと、2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を、いちどにまとめて読み込むことができます。

→「MP Toolbox の［カラー（マルチスキャン)］」
→「ScanGear MP（基本モード）のマルチスキャン」
→「ScanGear MP（拡張モード）のマルチクロップ」

重 要

次のような原稿は、正しく切り抜いて読み込むことができません。

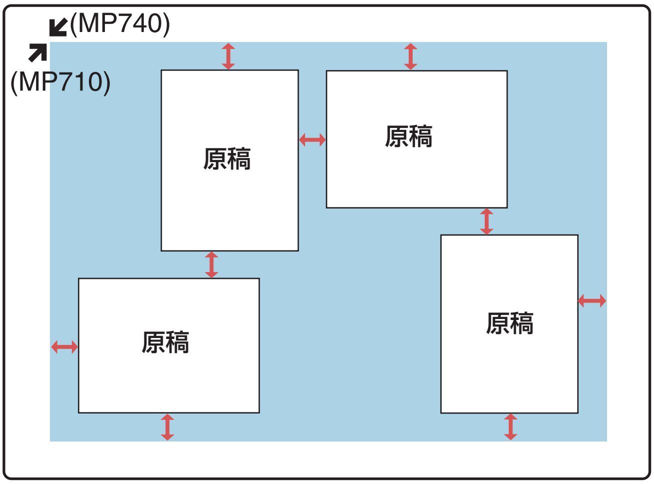
- **1cm 四方より小さい原稿**
- **長い辺と短い辺の比率が 4:1 より大きな、細長い原稿**

次のような原稿は、正しく切り抜けないことがあります。

- **全体が白っぽい写真**
- **周囲が白っぽい写真**
- **写真以外の原稿（とくに白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）**

原稿の置き方

原稿は 10 枚まで置くことができます。



原稿と原稿の間、原稿台ガラスの端と原稿の間は、1cm 以上空けてください。原稿は、多少斜めになっていても、10 度以内の傾きであれば、自動的にまっすぐに修正されます。

MP Toolbox の［カラー（マルチスキャン)］

MP Toolbox の各ボタンの［スキャナの設定］の［スキャンモード］で［カラー（マルチスキャン)］を選ぶと、2 枚以上の写真などの小さい原稿をいちどに読み込むことができます。
アプリケーションからこの方法で読み込むことはできませんので、ScanGear MP の［マルチスキャン］または［マルチクロップ］を使ってください。

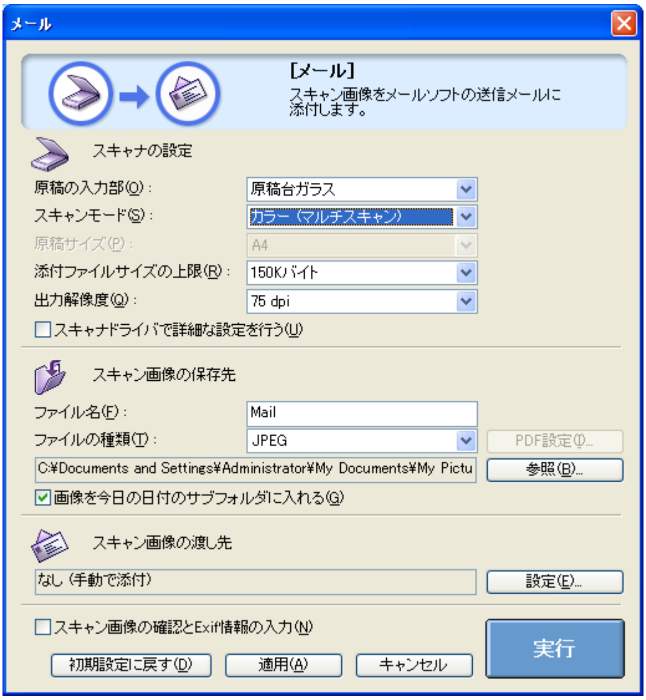
1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

原稿の置き方 → 「2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む」

2 デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.6］をダブルクリックします。
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.6］→［Toolbox 4.6］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。

3 MP Toolbox の［OCR］以外のボタンをクリックします。



4 ファクスモデルのときは、［原稿の入力部］で［原稿台ガラス］を選びます。

5 ［スキャンモード］で［カラー（マルチスキャン)］を選びます。

必要があれば他の設定も行います。

6 ［実行］をクリックします。

枚数分の読み込みが行われます。

ScanGear MP（基本モード）のマルチスキャン

読み込み範囲などを指定しないで、2 枚以上の原稿を読み込むときは［基本モード］の［マルチスキャン］を使います。それぞれの原稿が 1 枚ずつの画像になります。

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

原稿の置き方 →「2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む」

2 次のいずれかの操作をします。

MP Toolbox のボタンを使うとき：

- MP Toolbox のボタンをクリックし、［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけます。
- 必要があれば他の設定を行い、［実行］をクリックします。

アプリケーションから読み込むとき：

- Windows XP で、WIA ドライバを使う設定にしているときは、ScanGear MP に切りかえ、アプリケーションで原稿を読み込むためのコマンドを選びます。

→「アプリケーションから原稿を読み込む」

ScanGear MP の画面が開きます。

参考

アプリケーションのコマンド（「読み込み」、「イメージの取得」など）については、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

3 ［基本モード］タブをクリックします。

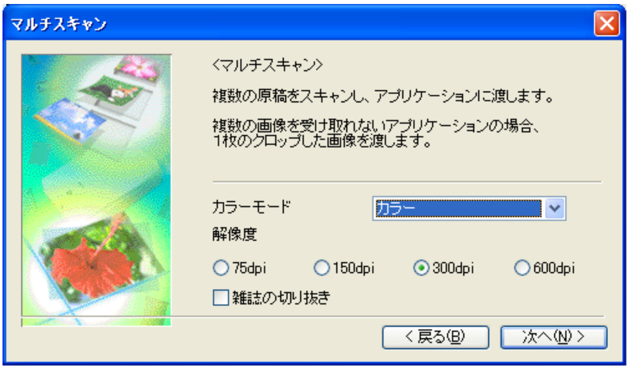
→「基本モードと拡張モードを切りかえる」

4 ファクスモデルのときは、［原稿の種類］で［写真（カラー）］、［雑誌（カラー）］、［新聞（モノクロ）］、［文書（グレー）］のうち、いずれかを選びます。

5 プレビューを見たいときは、［プレビュー］をクリックします。

プレビューとして原稿が仮に読み込まれます。

6 ［マルチスキャン］をクリックします。



7 カラーモードや解像度の設定をします。

■カラーモード

［カラー］、［グレー］、［モノクロ］のうち、いずれかを選びます。

■解像度

［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］、［600dpi］のうち、いずれかを選びます。
数字が大きいほどきめ細かい画像になります。→「解像度の決めかた」

■雑誌の切り抜き

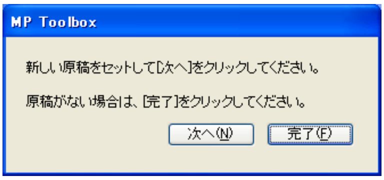
カラーの雑誌を読み込むのに適した設定になり、モアレ低減機能がはたらきます。

8 ［次へ］をクリックします。

枚数分の読み込みが行われます。

MP Toolbox の設定で［ファイルの種類］を［PDF］にし、［PDF 設定］画面で［マルチページ PDF を作成］にチェックマークをつけたとき：

○ 次の画面が開きます。



○ 原稿をセットしてから［次へ］をクリックします。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

ScanGear MP（拡張モード）のマルチクロップ

マルチクロップ（拡張モード）を使うと、2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を、細かい指定をした上で、いちどにまとめて読み込むことができます。
マルチスキャンと違って、読み込む範囲などを調整できます。

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

原稿の置き方 →「2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む」

2 次のいずれかの操作をします。

MP Toolbox のボタンを使うとき：

○ MP Toolbox のボタンをクリックし、［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけます。

○ 必要があれば他の設定を行い、［実行］をクリックします。

アプリケーションから読み込むとき：

○ Windows XP で、WIA ドライバを使う設定にしているときは、ScanGear MP に切りかえ、アプリケーションで原稿を読み込むためのコマンドを選びます。

→「アプリケーションから原稿を読み込む」

ScanGear MP の画面が開きます。

参考

アプリケーションのコマンド（「読み込み」、「イメージの取得」など）については、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

3 ［拡張モード］タブをクリックします。

→「基本モードと拡張モードを切りかえる」

4 ［プレビュー］をクリックします。

プレビューとして原稿が仮に読み込まれます。

5 必要があれば、［カラーモード］や［出力解像度］などの設定を変更します。

→「拡張モードー出力設定」
→「拡張モードー画像設定」

6 ［マルチクロップ］の［適用］をクリックします。

プレビューの原稿が、それぞれ点線で囲まれます。それぞれの点線の枠にしたがって原稿が分割され、読み込まれます。

点線の範囲をすべて解除したいときは、［マルチクロップ］の［リセット］をクリックします。

7 読み込みたくない原稿があるときは、その画像を右クリックして［削除］を選び、点線の枠を消去します。

8 ［スキャン］をクリックします。

枚数分の読み込みが行われます。

ScanGear MP で細かく設定して読み込む

ScanGear MP を使うと、プレビュー（仮読み込み）で原稿がどのように読み込まれるかを確認したり、画像の大きさや色などを細かく調整できます。プレビューに問題がなければ、正式に原稿を読み込みます。
原稿を読み込むときに、ScanGear MP で設定してから読み込みたいときは、MP Toolbox で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけてスキャンするか、アプリケーションから読み込みます。
Windows XP でアプリケーションから読み込むときは、アプリケーションで ScanGear MP を選んでから読み込みます。
→「アプリケーションから原稿を読み込む」

基本モードと拡張モードを切りかえる

ScanGear MP には、［基本モード］と［拡張モード］があります。簡単に設定して読み込むときは［基本モード］で読み込んでください。［拡張モード］では、解像度や色調などの細かい設定ができます。

1 右上の［基本モード］タブと［拡張モード］タブをクリックして切りかえます。





→「基本モードの操作」
→「拡張モードの操作」

基本モードの操作

基本モードの画面は、拡張モードよりシンプルです。
原稿をセットする場所、原稿の種類、出力方法を選んで読み込みます。



1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

本機の ADF（自動給紙装置）に、原稿を上向きにセットすることもできます（ファクスモデルのみ）。

2 ［原稿の種類］を選びます。

●写真（カラー）

カラーの写真をカラーで原稿台ガラスから読み込みます。

●雑誌（カラー）

カラーの雑誌をカラーで原稿台ガラスから読み込みます。

●新聞（モノクロ）

文字や線画だけの原稿をモノクロで原稿台ガラスから読み込みます。

●文書（グレー）

カラーの写真や原稿をモノクロで原稿台ガラスから読み込みます。高解像度のモノクロ画像が必要なときに選びます。

●文書（カラー）ADF（ファクスモデルのみ）

カラーの写真や原稿をカラーで ADF（自動給紙装置）から読み込みます。

●文書（グレー）ADF（ファクスモデルのみ）

カラーの写真や原稿をモノクロで ADF（自動給紙装置）から読み込みます。高解像度のモノクロ画像が必要なときに選びます。

参考

- ［写真（カラー）］、［雑誌（カラー）］、または［文書（カラー）ADF］を選ぶと、自動色調整機能がはたらきます。ただし、拡張モードの［詳細設定］画面の［色の設定］タブで［常に自動色調整を行う］をオフにすると自動色調整機能ははたらかなくなります。
- ［新聞（モノクロ）］以外を選ぶと、輪郭強調機能がはたらきます。
- ［雑誌（カラー）］を選ぶと、モアレ低減機能がはたらきます。

3 プレビュー（仮読み込み）を見たいときは、［プレビュー］をクリックします。

プレビューの読み込みが行われ、画面の左側に原稿が表示されます。

4 ［用途の選択］を選びます。

●印刷（300dpi）

読み込んだ画像をプリンタで印刷するときに選びます。

●画面表示（150dpi）

読み込んだ画像をモニタで表示するときに選びます。

●OCR（300dpi）

OCR ソフトウェアなどで文字を読み込むときに選びます。［原稿の種類］が［新聞（モノクロ）］、［文書（グレー）］、または［文書（グレー）ADF］のときに選ぶことができます。

5 ［出力サイズの選択］を選びます。

●フリーサイズ

クロップ枠が表示されていないときはプレビュー領域全体を読み込みます。プレビュー領域でマウスをドラッグしてクロップ枠を指定することもできます。
クロップ枠が表示されているときはクロップ枠の中の画像だけを読み込みます。クロップ枠をドラッグして、クロップ枠を調整することもできます。
プレビュー直後のクロップ枠の表示は、拡張モードの［詳細設定］画面の［プレビュー］タブでの［プレビュー後のクロップ枠の設定］によります。
クロップ枠を削除するには、［フリーサイズ］以外を選んでから、再び［フリーサイズ］を選びます。

●用紙のサイズ（L 判、A4 など）

選んだ用紙サイズのクロップ枠が表示され、クロップ枠の中の画像だけを読み込みます。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。また、（縦横比切りかえボタン）で、クロップ枠を 90 度回転させることもできます。

［用途の選択］が［印刷（300dpi）］のときに選ぶことができます。

●モニタのサイズ（1024 × 768 ピクセルなど）

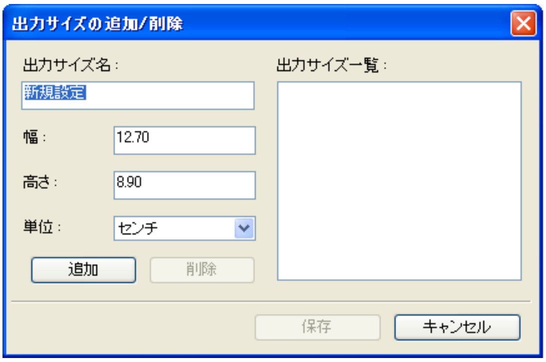
選んだモニタサイズのクロップ枠が表示され、クロップ枠の中の画像だけを読み込みます。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。また、（縦横比切りかえボタン）で、クロップ枠を 90 度回転させることもできます。

［用途の選択］が［画面表示（150dpi）］のときに選ぶことができます。

●追加／削除

［出力サイズの追加／削除］画面が表示され、［出力サイズの選択］に登録する出力サイズを設定することができます。

［用途の選択］が［印刷（300dpi）］または［画面表示（150dpi）］のときに選ぶことができます。



■［出力サイズ名］、［幅］、［高さ］を入力します。［単位］は、［用途の選択］で［印刷（300dpi）］を選んだときは、［センチ］または［インチ］、［画面表示（150dpi）］を選んだときは、［ピクセル］のみとなります。

■［追加］をクリックして、［出力サイズ一覧］に追加します。［出力サイズ一覧］に表示されている出力サイズを削除するには、［出力サイズ一覧］で削除したい出力サイズを選び、［削除］をクリックします。

■［保存］をクリックして、［出力サイズ一覧］に表示されている出力サイズを登録します。

重要

- ［出力サイズ一覧］に登録できる出力サイズの数は、最大 10 個です。
- A4、1024 × 768 ピクセルなど、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

6 必要に応じて、画像の回転や反転などの設定を行います。

→「基本モードのツールバー」

7 ［スキャン］をクリックします。

原稿が読み込まれます。

基本モードのツールバー

基本モードのツールバーで、プレビューした画像を回転したり、反転することができます。



（サムネイルボタン）

使用できません。

（オートクロップボタン）

プレビュー領域の中の画像部分だけが選ばれ、クロップ枠が表示されます。クリックするたびに、読み込む範囲がだんだん狭くなります。

（鏡映ボタン）

プレビュー領域の画像が左右に反転します。

（左回転ボタン）

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

（右回転ボタン）

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

（情報ボタン）

スキャナドライバのバージョンや ScanGear MP の設定値が表示されます。

ツールバーの切り離しと移動

ツールバーの端でマウスのボタンを押し、そのままドラッグすると、ツールバーが ScanGear MP の画面から切り離されます。ツールバーのタイトル部分をダブルクリックすると、元に戻ります。

プレビュー領域の左や右、下の枠にドラッグすると、その位置にくっつきます。

拡張モードの操作

拡張モードでは、プレビューの色合いや明るさなどを調整できます。



1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

本機の ADF（自動給紙装置）に、原稿を上向きにセットすることもできます（ファクスモデルのみ）。

2 [原稿サイズ]、[カラーモード]、[出力解像度] などを選びます。

→「拡張モード－入力設定」
→「拡張モード－出力設定」

3 [プレビュー] をクリックします。

参考

- プレビュー領域で範囲を指定し、[ズーム] をクリックすると、指定した範囲の画像をもう一度読み込んで拡大表示します。拡大表示されると、[ズーム] が [戻す] にかわります。拡大表示を元に戻すには、[戻す] をクリックします。
- プレビュー画像を消すには、X（クリアボタン）をクリックします。消去を確認する画面が開いたら、[OK] をクリックします。

4 原稿の一部を読み込みたいときは、範囲を指定します。

→「拡張モード－入力設定」
→「拡張モード－出力設定」

5 元の原稿を拡大／縮小して印刷したいときは出力サイズを指定します。

→「拡張モード－出力設定」

6 必要に応じて、画像の回転や反転、[モアレ低減]、[輪郭強調]などの設定を行います。

→「拡張モードのツールバー」
→「拡張モード－画像設定」

7 必要に応じて、色調整ボタンで画像の明るさや色合いなどを調整します。

→「拡張モード－色調整ボタン」

8 [スキャン]をクリックします。

画像が読み込まれます。

拡張モードのツールバー

拡張モードのツールバーで、プレビューした画像を調整したり、表示された画像の一部を選択することができます。
拡張モードのツールバーのボタンは、[入力設定]で[マルチクロップ]を適用すると、情報ボタン以外は無効になります。



（サムネイルボタン）

使用できません。

（クロップボタン）

読み込む範囲をマウスでドラッグして指定することができます。プレビュー領域で、選びたい範囲の左上角にマウスポインタを置いて、選びたい範囲の右下角に向けてドラッグします。さらに調整したいときは、選んだ範囲の角や辺をドラッグします。

（画像移動ボタン）

プレビュー領域に拡大した画像が画面に入りきらないとき、見たい部分が表示されるように画像をドラッグします。スクロールバーでも同じように移動できます。

（ズームボタン）

プレビュー領域を拡大するときは、画像の上でクリックします。縮小するときは、画像の上で右クリックします。

（オートクロップボタン）

プレビュー領域の中の画像部分だけが選ばれ、クロップ枠が表示されます。クリックするたびに、読み込む範囲がだんだん狭くなります。

（色反転ボタン）
プレビュー領域の画像の色が反転します。

（鏡映ボタン）
プレビュー領域の画像が左右に反転します。

（左回転ボタン）
プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

（右回転ボタン）
プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

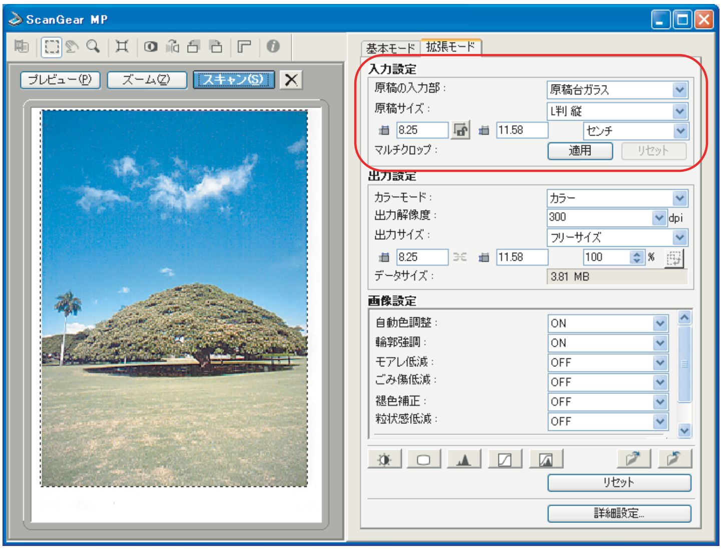
（ルーラボタン）
プレビュー領域の上端と左端に定規が表示され、より正確に作業ができます。

（情報ボタン）
スキャナドライバのバージョンや ScanGear MP の設定値が表示されます。

ツールバーの切り離しと移動

ツールバーの端でマウスのボタンを押し、そのままドラッグすると、ツールバーが ScanGear MP の画面から切り離されます。ツールバーのタイトル部分をダブルクリックすると、元に戻ります。
プレビュー領域の左や右、下の枠にドラッグすると、その位置にくっつきます。

拡張モード－入力設定



［入力設定］では、次の項目を設定します。

原稿の入力部

原稿をセットする場所を選びます。

●原稿台ガラス
●自動給紙装置（ADF）（ファクスモデルのみ）

原稿サイズ

読み込む原稿のサイズを選びます。原稿サイズを選ぶと、プレビュー領域の大きさがかわり、幅と高さが と にそれぞれ表示されます。
原稿のサイズがわからないときは、大きめに設定してください。プレビュー後に範囲を指定できます。
プレビュー後に［原稿サイズ］をかえると、プレビュー画像が消去されます。
読み込む範囲の幅と高さを、 と に数値を入力して指定することができます。ただし、原稿サイズよりも大きな値を指定することはできません。数値を入力した後に、Enterキーを押すと、その大きさのクロップ枠がプレビュー領域に表示されます。
（縦横比固定ボタン）をクリックして、（鍵がかかったアイコン）にかえると、クロップ枠の大きさを数値で指定するとき、幅と高さの比率が保たれます。

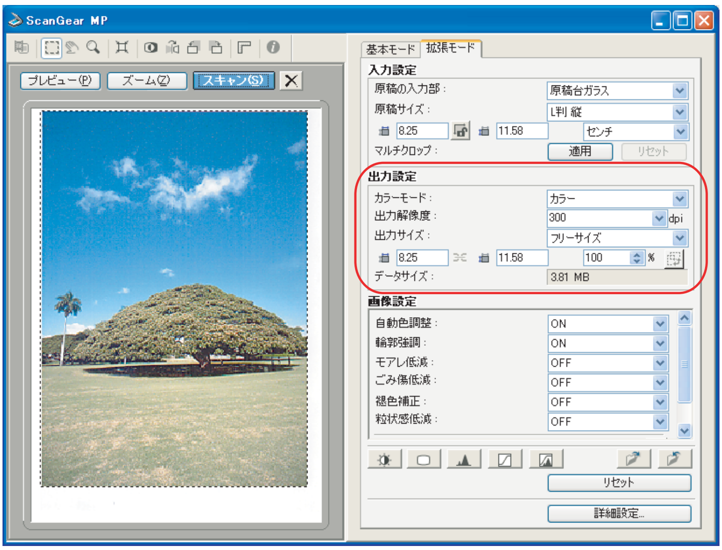
重 要

- **アプリケーションによっては、受け取れる画像データの容量に制限があります。範囲が 21,000 × 30,000 ピクセル以上のときは受け取れません。**
- **入力できる数値は、選ばれている原稿サイズの範囲内です。最小選択範囲は、［出力解像度］が 600dpi のときで 96 × 96 ピクセルです。**

マルチクロップ

プレビュー画像が表示されているときに［適用］をクリックすると、原稿台ガラスに置かれた 2 枚以上の原稿を、1 枚ずつ範囲指定（クロップ）します。［スキャン］をクリックすると、枚数分の画像として読み込みます。
画像を右クリックして［削除］を選ぶと、その画像の範囲指定は解除されます。［リセット］をクリックすると、すべての範囲指定が解除されます。
→「ScanGear MP（拡張モード）のマルチクロップ」

拡張モードー出力設定



［出力設定］では、次の項目を設定します。

カラーモード

どんな原稿をどのように読み込むかを選びます。

●モノクロ
写真などの原稿をモノクロで読み込むときに選びます。画像を白と黒の 2 色で表現します。画像の明暗をあるレベル（2 階調化する境界値）で白と黒に分割し、2 色で表現します。2 階調化する境界値は （モノクロ設定ボタン）で設定します。

●グレースケール
白黒写真などの読み込みやモノクロ画像が必要なときに選びます。画像を白黒 256 段階（グレースケール）で表現します。

●カラー
カラー原稿などを読み込むときに選びます。画像を、R、G、B 各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

●テキスト（OCR）
文字などをはっきりと読み込みます。OCR ソフトウェアなどで文字を読み込むときに選びます。画像を白と黒の 2 色で表現します。グレースケールで読み込んでから白黒に変換するので、［モノクロ］より時間がかかります。

出力解像度

読み込むときの解像度を選びます。
解像度を高く（数字を大きく）するほど、きめ細かい画像になります。
クリックして表示される選択肢から選ぶか、25 ～ 2400dpi の範囲の数値（1dpi 単位）、または 4800、7200、9600dpi のいずれかの数値を入力します。
→「解像度の決めかた」

出力サイズ

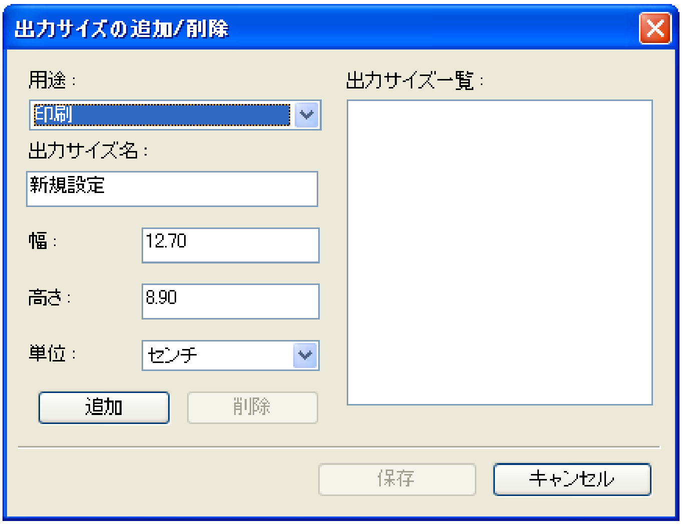
読み込む画像の出力サイズを選びます。

●フリーサイズ
クロップ枠が表示されていないときはプレビュー領域全体を読み込みます。プレビュー領域でマウスをドラッグしてクロップ枠を指定することもできます。
クロップ枠が表示されているときはクロップ枠の中の画像だけを読み込みます。クロップ枠をドラッグして調整することもできます。クロップ枠の大きさを細かく調整したいときは、［入力設定］の と に数値を入力します。
プレビュー直後のクロップ枠の表示は、拡張モードの［詳細設定］画面の［プレビュー］タブでの［プレビュー後のクロップ枠の設定］によります。
クロップ枠を削除するには、［フリーサイズ］以外を選んでから、再び［フリーサイズ］を選びます。
読み込んだ画像を拡大／縮小するには、［出力設定］の と に数値を入力するか、［%］に 25 ～ 4800（1% 単位）を指定します。［%］に指定できる最大値は［出力解像度］によって異なります。［出力解像度］を 4800、7200、9600dpi にすると、100% に固定されます。

●用紙のサイズ（L 判、A4 など）／モニタのサイズ（1024 × 768 ピクセルなど）
選んだサイズのクロップ枠が表示され、クロップ枠の中の画像だけを読み込みます。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。また、（縦横比切りかえボタン）で、クロップ枠を 90 度回転させることもできます。

●追加／削除

［出力サイズの追加／削除］画面が表示され、［出力サイズ］に登録する出力サイズを設定することができます。



■［用途］で［印刷］または［画面表示］を選び、［出力サイズ名］、［幅］、［高さ］を入力します。［単位］は、［用途］を［印刷］にしたときは、［センチ］または［インチ］、［画面表示］にしたときは、［ピクセル］のみとなります。

■［追加］をクリックして、［出力サイズ一覧］に追加します。［出力サイズ一覧］に表示されている出力サイズを削除するには、［出力サイズ一覧］で削除したい出力サイズを選び、［削除］をクリックします。

■［保存］をクリックして、［出力サイズ一覧］に表示されている出力サイズを登録します。

重要

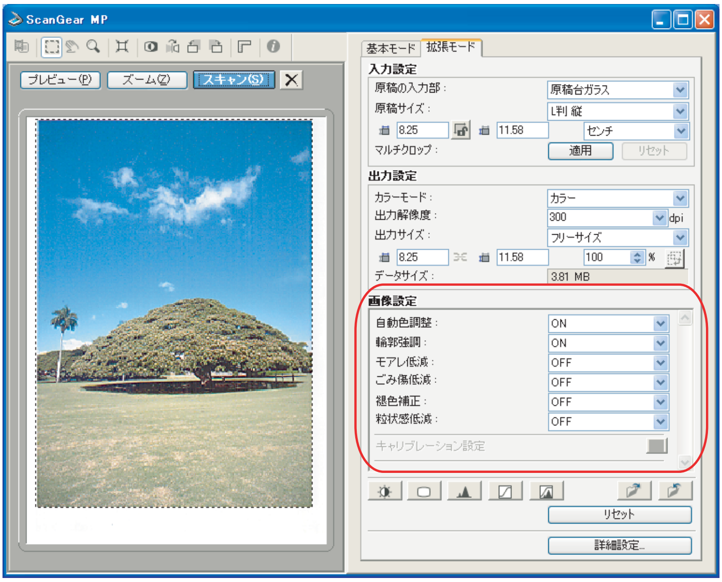
- ［出力サイズ一覧］に登録できる出力サイズの数は、最大 10 個です。
- A4、1024 × 768 ピクセルなど、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

データサイズ

プレビュー画像を読み込んだときに作成される画像ファイル（BMP ／ PICT 形式）の大きさが表示されます。

データサイズが 100MB 以上になった場合は、文字が赤く表示されます。このときに読み込むと、警告メッセージが表示され正しく読み込めないことがあります。

拡張モード－画像設定



［画像設定］では、次の項目を設定します。

自動色調整

［ON］にすると、指定した範囲の画像の明るさが最適な状態になるように自動調整されます。色調整の結果は画像全体に反映され、実際の読み込み時にも反映されます。はじめて使うときは、［ON］になっています。

重要

- **自動色調整はプレビュー後に設定できます。**
- **［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。**
- **［褪色補正］が［OFF］以外のときは無効です。**
- **拡張モードの［詳細設定］画面の［色の設定］タブで［Canon ColorGear］または［色補正なし］を選んだときは無効です。**
- **［マルチクロップ］の［適用］をクリックしたときは、この設定を変更できません。**

輪郭強調

［ON］にすると、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。はじめて使うときは、［ON］になっています。ピントのあまい写真などを読み込むときに効果的です。

重要

- **［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。**
- **［モアレ低減］を［ON］にしてもモアレが残る場合は、［輪郭強調］を［OFF］にしてください。**

モアレ低減

印刷された写真や絵を読み込むときは、［ON］にします。はじめて使うときは、［OFF］になっています。

重要

- **［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。**
- **［モアレ低減］が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、［輪郭強調］を［OFF］にしてください。**
- **ScanGear MP 画面を表示しないアプリケーションから読み込むときは、設定できません。**
- **ScanGear MP を使わないで、MP Toolbox から読み込むときは、［スキャンモード］で［カラー（雑誌、カタログ）］を選ぶとモアレ低減ができます。**

参考

- 印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。そのまま読み込むと、点と点が干渉し、モアレといわれる濃淡のむらや縞模様が出ることがあります。モアレ低減は、このモアレを少なくする機能です。
- 基本モードの［原稿の種類］で、［雑誌（カラー）］を選ぶと、拡張モードの［モアレ低減］を［ON］にしたときと同じ効果があります。

ごみ傷低減

写真を読み込むと、ゴミや傷が原因で白い点が出ることがあります。このゴミや傷をできるだけ少なくします。［弱］、［標準］、［強］のいずれかを選びます。はじめて使うときは、［OFF］になっています。

●OFF

ごみ傷低減を行いません。

●弱

小さなゴミや傷を減らします。大きいゴミや傷は残ることがあります。

●標準

通常は、この設定をおすすめします。

●強

大きいゴミや傷も減らすことができますが、処理をした跡が残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまうことがあります。

重要

- **［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。**
- **印刷物を読み込むときは、［OFF］をおすすめします。**
- **［モアレ低減］が［ON］のとき、［ごみ傷低減］は選べません。**
- **写真の種類によっては、この機能を使わない方がいい場合があります。**

褪色補正

経年変化などで褪色したり、色カブリした写真を色補正して読み込みます。色カブリとは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。［弱］、［標準］、［強］のいずれかを選びます。はじめて使うときは、［OFF］になっています。

●OFF

褪色補正を行いません。

●弱

わずかに褪色または色カブリしたときに指定します。

●標準

通常は、この設定をおすすめします。

●強

かなり強く褪色または色カブリしたときに指定します。画像の色合いに影響を与える場合があります。

重要

- 褪色補正はプレビュー後に設定できます。
- ［カラーモード］が［カラー］のときに有効です。
- 拡張モードの［詳細設定］画面の［色の設定］タブで［Canon ColorGear］を選んだときは無効です。
- ［マルチクロップ］の［適用］をクリックしたときは、この設定を変更できません。
- 読み込む時間が通常よりも長くなります。
- 読み込む範囲が小さすぎると、褪色補正できない場合があります。

粒状感低減

高感度フィルムや増感撮影されたフィルムから作成された写真で感じられる粒状感（ざらつき）を低減します。はじめて使うときは、［OFF］になっています。

●OFF

　粒状感低減を行いません。

●弱

　わずかに粒状感の目立つ写真のときに指定します。

●標準

　通常は、この設定をおすすめします。

●強

　かなり強く粒状感の目立つ写真のときに指定します。画像の階調性やシャープネスに影響を与える場合があります。

重要

- ［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。
- 読み込む時間が通常よりも長くなります。
- 読み込む範囲が小さすぎると、粒状感低減できない場合があります。
- プレビュー画像には処理結果は反映されません。

キャリブレーション設定

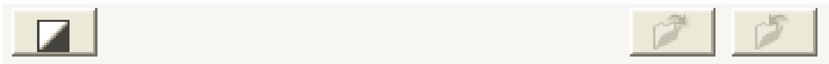
設定できません。

拡張モードー色調整ボタン

色調整ボタンでは、画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、モニタの明るさに合った調整（ガンマ値の補正）、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色合いにかかわる詳細な設定ができます。
色調整ボタンは、カラーモードが［カラー］、［グレースケール］、または［モノクロ］のときに表示されます。ただし、［入力設定］で［マルチクロップ］を適用したり、拡張モードの［詳細設定］画面の［色の設定］タブで［Canon ColorGear］を選んだときは、無効になります。［テキスト（OCR）］のときは表示されません。
色調整ボタンで画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。また、読み込み時にも反映されます。
色調整ボタンの下にある［リセット］をクリックすると、明るさ・コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブすべての調整が、初期状態に戻ります。



カラーモードが［カラー］または［グレースケール］のときの色調整ボタン



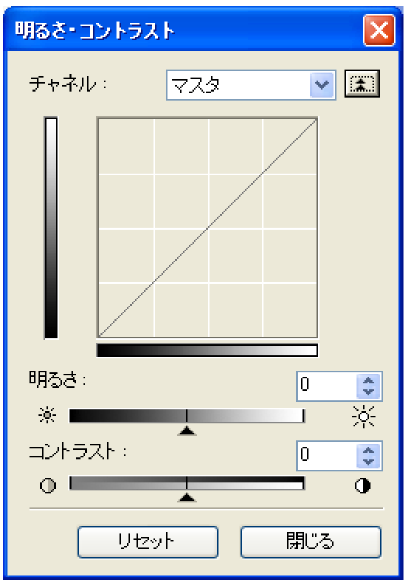
カラーモードが［モノクロ］のときの色調整ボタン

色調整ボタンをクリックして、次の項目を設定します。

（明るさ・コントラスト）

画面の明るさや明暗度（コントラスト）を調整します。読み込む前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。





■ ボタンをクリックすると、詳細な画面に切りかわります。 ボタンをクリックすると元に戻ります。

■カラー画像のときは、［チャネル］で、赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを選んで調整するか、マスタを選んで３つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。

■［明るさ］のスライダを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127 ～ 127）を直接入力して指定することもできます。

■［コントラスト］のスライダを左に動かすと明暗差（コントラスト）が弱まり、右に動かすと強まります。数値（-127 ～ 127）を直接入力して指定することもできます。

■［リセット］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

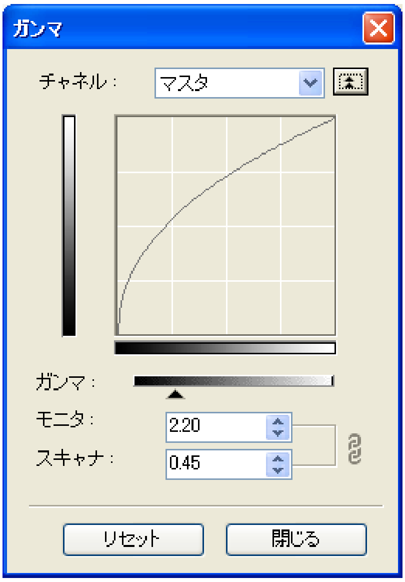
（ガンマ）

元の原稿の明るさとパソコンのモニタ（ディスプレイ）で見る画像の明るさを近づけます。はじめて使うときは、2.2 に設定されていますので、ガンマ値が異なるモニタを使うときは変更してください。
モニタのガンマ値を設定すると、次の計算式（モニタのガンマ値の逆数）でスキャナのガンマ値が自動的に表示されます。
1 ／モニタのガンマ値＝スキャナのガンマ値
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

参考

- モニタは、色を再現するときの特性（ガンマ値）を持っています。一般的なモニタのガンマ値は 1.4 から 2.2 で、多少暗めに画像を再現します。したがって、元の原稿に近づけるには、ガンマ値を補正する必要があります。
- モニタのガンマ値は、モニタの取扱説明書で調べてください。記載されていないときは、製造メーカーの相談窓口などに問い合わせてください。





■ ボタンをクリックすると、詳細な画面に切りかわります。 ボタンをクリックすると元に戻ります。

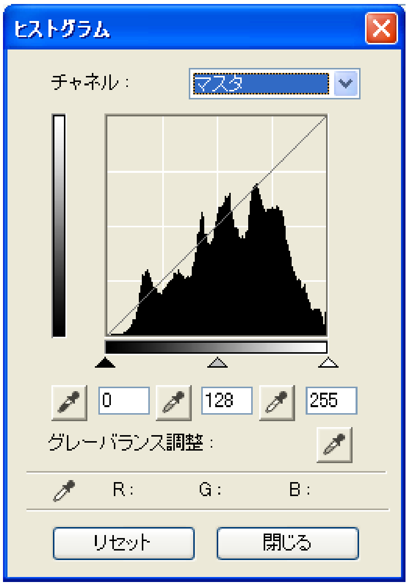
■カラー画像のときは、［チャネル］で、赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを選んで調整するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。

■［ガンマ］のスライダを左に動かすと、全範囲の中間値（中間色）で表示されているコントラストが弱くなり、右に動かすと強くなります。数値（0.10 ～ 10.00）を直接入力することもできます。

■［リセット］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

（ヒストグラム）

どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。



■カラー画像のときは、［チャネル］で、赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを選んで調整するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。

■ （暗点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像でいちばん暗くしたい部分をクリックします。数値（0 ～ 245）でも指定できます。

■ （中間点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像で白と黒の中間の色にしたい部分をクリックします。数値（5 ～ 250）でも指定できます。

■ （明点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像でいちばん明るくしたい部分をクリックします。数値（10 ～ 255）でも指定できます。

■カラー画像のときは、［グレーバランス調整］のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像でグレーバランス調整を行いたい部分をクリックします。再度グレーバランス調整を行うには、もう一度このボタンをクリックして調整します。

グレーバランス調整とは、クリックした点を無彩色にし、それに応じた調整を画像全体に行う機能です。雪が青みがかって写っている写真などで効果があります。

■ヒストグラムの下にある三角形を適当なレベルまでドラッグします。

▲ より左の部分（[暗点］に指定した数値より暗い部分）は、すべて黒になります。

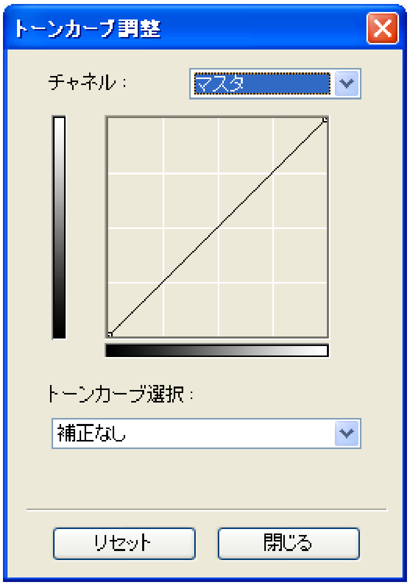
△ の部分（[中間点］に指定した部分）は、暗点と明点のちょうど中間の色になります。

△ より右の部分（[明点］に指定した数値より明るい部分）は、すべて白になります。

■[リセット］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

（トーンカーブ調整）

明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選択して、画像の明るさを調整します。特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。



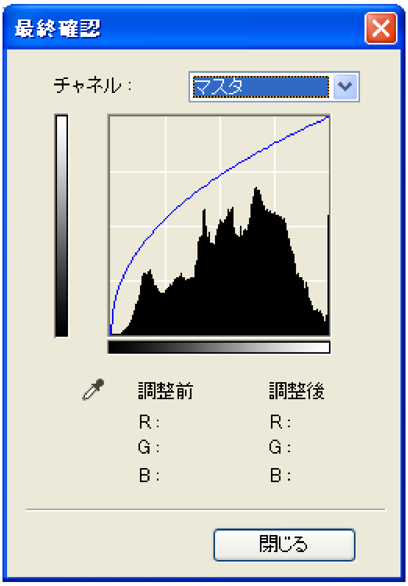
■カラー画像のときは、［チャネル］で、赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを選んで調整するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。

■[トーンカーブ選択］でトーンカーブを選びます。

■[リセット］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

（最終確認）

色調整の最終確認をします。最終の合成トーンカーブと、その後の画像処理で得られるヒストグラムが表示されます。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。



■カラー画像のときは、［チャネル］で、赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを選んで確認するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて確認するかを選びます。

■プレビュー画像にカーソルを置くと、その位置の画像の調整前と調整後の RGB 値（［カラーモード］が［グレースケール］のときは K のみ）が表示されます。

（ロード）

保存した設定値を読み込みます。拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）です。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

（保存）

同じ画像を再度読み込むときに、設定値を保存しておくと、同じ設定で読み込めます。拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）です。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

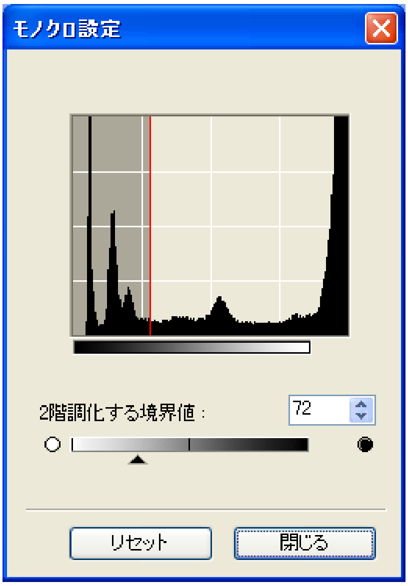
（モノクロ設定）

2 階調化する境界値の設定ができます。
［カラーモード］が［モノクロ］のときに有効です。

参考

カラーやグレースケールの画像は、明るさを 0 ～ 255 の数値で表現しますが、モノクロの場合は中間色の部分も、白と黒のどちらかに分けます。このときの、白と黒に分ける境を 2 階調化する境界値といいます。

2 階調化する境界値を調節すると、文字原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させることができます。

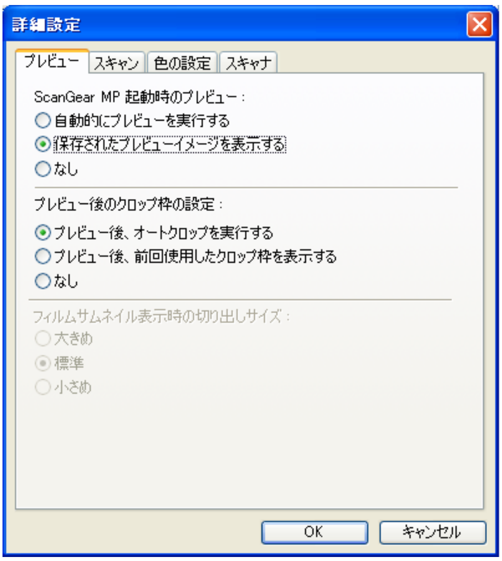


■スライダを右にドラッグして 2 階調化の境界値の数値を大きくすると、白になる部分が少なく（黒になる部分が多く）なり、左にドラッグして数値を小さくすると、白になる部分が多く（黒になる部分が少なく）なります。数値（0 ～ 255）を入力して直接指定することもできます。

■[リセット］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

拡張モード－［詳細設定］画面 －［プレビュー］タブの設定

［詳細設定］画面は、拡張モードの［詳細設定］をクリックすると表示されます。



［プレビュー］タブでは、次の設定ができます。

ScanGear MP 起動時のプレビュー

ScanGear MP を起動したときのプレビューの動作を選びます。はじめて使うときは、[保存されたプレビューイメージを表示する］が選ばれています。

●自動的にプレビューを実行する

ScanGear MP が起動すると、自動的にプレビューを開始します。

●保存されたプレビューイメージを表示する

前回、プレビューしたときの画像を表示します。

色調整ボタンの設定項目、ツールバーの鏡映、左回転、右回転、色反転、ルーラーボタンの設定も再現されます。

●なし

起動時はプレビュー画像を表示しません。

プレビュー後のクロップ枠の設定

プレビューした後のクロップの動作を設定します。はじめて使うときは、［プレビュー後、オートクロップを実行する］が選ばれています。

●プレビュー後、オートクロップを実行する

プレビュー後、自動的に原稿サイズに合わせてクロップ枠を表示します。

●プレビュー後、前回使用したクロップ枠を表示する

プレビュー後、前回クロップした範囲と同じ枠を表示します。

●なし

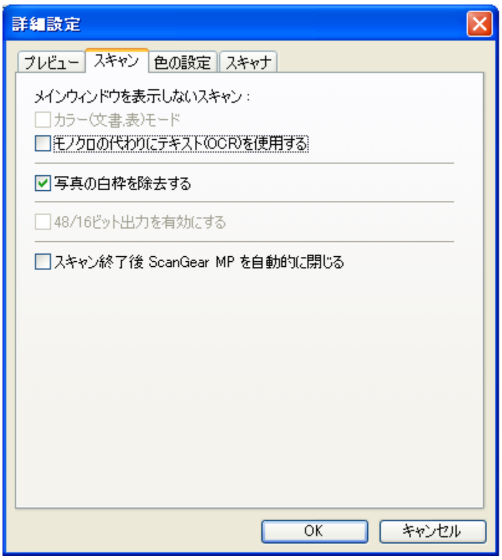
プレビュー後、クロップ枠を表示しません。

フィルムサムネイル表示時の切り出しサイズ

設定できません。

拡張モード－［詳細設定］画面 －［スキャン］タブの設定

［詳細設定］画面は、拡張モードの［詳細設定］をクリックすると表示されます。



［スキャン］タブでは、次の設定ができます。

メインウィンドウを表示しないスキャン

OCRソフトウェアなど､読み込み時にScanGear MPの画面を表示しないアプリケーション（UI オフモード）では、カラーモードがかえられないので、アプリケーションの設定値で読み込まれます。アプリケーションの設定値を無視して、特定のカラーモードでスキャンしたいときは、ここで設定します。はじめて使うときは、両方ともオフになっています。

●カラー（文書、表）モード
　設定できません。

●モノクロの代わりにテキスト（OCR）を使用する
　アプリケーションで［モノクロ］の設定をしたときに、［テキスト（OCR)］で読み込みます。

重要

この設定は、UI モード（ScanGear MP の画面を表示するモード）のときは無効です。

写真の白枠を除去する

マルチスキャン、マルチクロップで読み込むとき、原稿の周囲の白い余白を自動的に除いてクロップします。はじめて使うときは、オンになっています。

48/16 ビット出力を有効にする

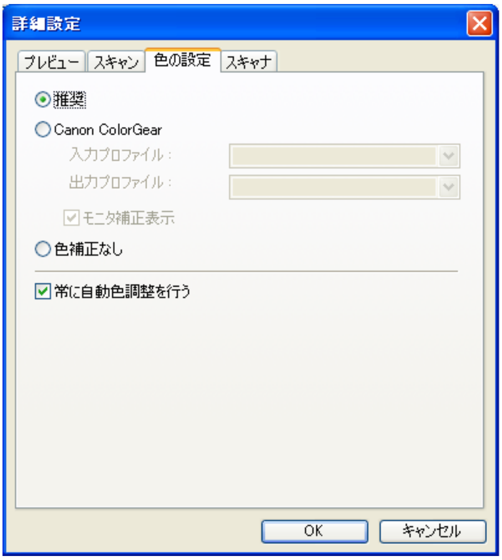
設定できません。

スキャン終了後 ScanGear MP を自動的に閉じる

チェックマークをつけると、画像を読み込んだ後、ScanGear MP の画面が自動的に閉じます。はじめて使うときは、オフになっています。
アプリケーションによっては、この設定に関わらず、スキャン終了後、ScanGear MP を自動的に閉じます。

拡張モードー［詳細設定］画面 －［色の設定］タブの設定

［詳細設定］画面は、拡張モードの［詳細設定］をクリックすると表示されます。



［色の設定］タブでは、次の設定ができます。

色の調整方法

次のうち、いずれかを選びます。はじめて使うときは、[推奨] になっています。[カラーモード] が [モノクロ] または [テキスト (OCR)] のときは無効です。

●推奨

原稿の色合いを、画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定を選択することをおすすめします。

●Canon ColorGear

スキャナ、ディスプレイ、カラープリンタの間の色調が合うように自動調整し、ディスプレイやプリンタの色合わせなどの手間を軽減します。

自動色調整機能ははたらかなくなり、色調整ボタンは使えなくなります。

[カラーモード] が [グレースケール] のときは無効です。

●色補正なし

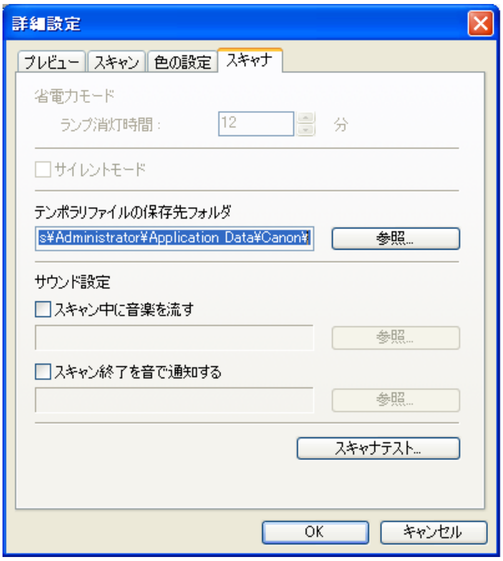
ScanGear MP が行っている色補正を行いません。自動色調整機能ははたらかなくなります。

常に自動色調整を行う

チェックマークをつけると、読み込んだ画像に、常に自動色調整を行います。はじめて使うときは、オンになっています。[カラーモード] が [モノクロ] または [テキスト (OCR)] のときは無効です。

拡張モードー [詳細設定] 画面 ー [スキャナ] タブの設定

[詳細設定] 画面は、拡張モードの [詳細設定] をクリックすると表示されます。



[スキャナ] タブでは、次の設定ができます。

省電力モード

設定できません。

サイレントモード

設定できません。

テンポラリファイルの保存先フォルダ

画像を一時的に保存するフォルダを指定します。[参照] をクリックして、保存先のフォルダを指定します。

サウンド設定

スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。
[スキャン中に音楽を流す] や [スキャン終了を音で通知する] にチェックマークをつけ、[参照] をクリックして、サウンドファイルを指定します。
次のファイルを指定できます。

●MIDI ファイル（*.mid、*.rmi、*.midi）
●オーディオファイル（*.wav、*.aiff）
●MP3 ファイル（*.mp3）

スキャナテスト

原稿を正しく読み込めない場合に行ってください。[スキャナテスト] をクリックすると、[スキャナ自己診断] 画面が表示されます。この画面の [スタート] をクリックすると、スキャナの自己診断が行われます。

解像度の決めかた

MP Toolbox の各動作ボタンをクリックしたときに開く設定画面の [出力解像度]、または ScanGear MP の拡張モードの [出力解像度] で指定します。

参考

読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点の集まりです。この点の密度を [解像度] といい、1 インチあたりの点（ドット）の数を「dpi （ドット・パー・インチ)」で表します。画像のきめ細かさや粗さは、この解像度で決まります。解像度を高く（数字を大きく）すると、きめ細かい画像になり、低く（数字を小さく）すると粗い画像になります。

原稿を読み込むときの解像度は、その画像を最終的に出力する機器（たとえばディスプレイやプリンタなど）の解像度に合わせるのが原則です。

ディスプレイに表示するとき

ディスプレイに表示する画像は、一般的なディスプレイの解像度、75dpi で読み込みます。

プリンタで印刷するとき

プリンタで印刷する画像は、そのプリンタの解像度に合わせて読み込みます。
たとえば、600dpi のモノクロプリンタで印刷する場合には [600dpi] を選びます。

参考

カラープリンタでは、何色かのインクのかけ合わせで色を表現しますので、プリンタの解像度の半分ぐらいの解像度でいいでしょう。たとえば、600dpi のカラープリンタで印刷するときは、[300dpi] でいいでしょう。

拡大／縮小して印刷するとき

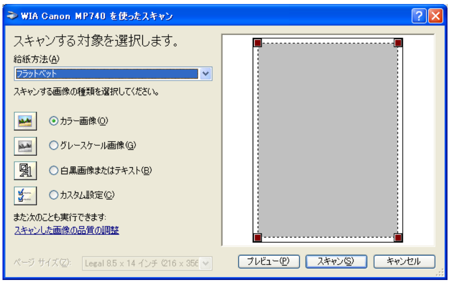
たとえば、縦横の長さを 2 倍に拡大して印刷すると、実質上の解像度は半分になります。元の画像の解像度が 300dpi であれば、拡大した画像の解像度は 150dpi になります。これを 600dpi のカラープリンタで印刷すると、粗さが目立つ可能性があります。このようなときに、600dpi で読み込んでおけば、2 倍に拡大すると 300dpi になり、十分な品質で印刷できます。逆に、半分に縮小して印刷するときは、半分の解像度で十分です。

解像度とデータ容量

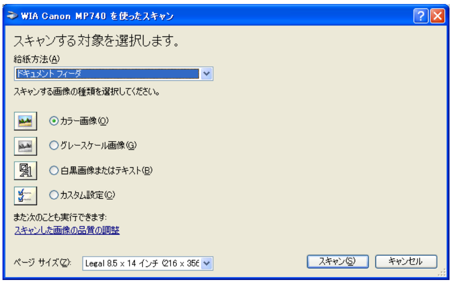
解像度を 2 倍にすると、読み込んだ画像データの容量は 4 倍になります。データ容量があまり増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどの不都合が生じます。解像度は、使用目的に合わせて、必要最小限に設定してください。

WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）

WIA ドライバの画面で次のように操作してください。
WIA ドライバを表示する方法 → 「アプリケーションから原稿を読み込む」



［フラットベット］
（原稿台ガラス）のときの画面



［ドキュメント フィーダ］
（ADF（自動給紙装置））のときの画面

1 ファクスモデルのときは、［給紙方法］で、［フラットベット］（原稿台ガラス）または［ドキュメント フィーダ］（ADF（自動給紙装置））を選びます。

2 原稿をどのような画像として読み込むかによって、［カラー画像］、［グレースケール画像］、［白黒画像またはテキスト］のいずれかをクリックします。
前回［詳細プロパティ］画面で設定した内容で読み込みたいときは、［カスタム設定］をクリックします。

［詳細プロパティ］画面で、細かい設定をして読み込むときは、［スキャンした画像の品質の調整］をクリックします。

→「WIA ドライバで細かい設定をする」

3 次のいずれかの操作をします。

原稿台ガラスから読み込むとき：

○ **プレビュー（仮読み込み）ができます。**

プレビューするときは、［プレビュー］をクリックします。右側にプレビューした画像が表示されますので、をドラッグして読み込み範囲を指定してください。

ADF（自動給紙装置）から読み込むとき（ファクスモデルのみ）：

○ **［ページサイズ］で原稿のサイズを選びます。**

4 ［スキャン］をクリックします。

「スキャナとカメラ」から読み込む

1 タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］を順にクリックし、［WIA Canon MP740］または［WIA Canon MP710］をダブルクリックします。

3 ［スキャナとカメラ ウィザード］が表示されますので、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

WIA ドライバで細かい設定をする

WIA ドライバの画面で次のように操作してください。

→「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」

1 ［スキャンした画像の品質の調整］をクリックします。

［スキャナとカメラ ウィザード］から操作した場合は、［カスタム設定］をクリックします。



2 ［詳細プロパティ］画面で、読み込みの設定をします。

■［画像の種類］で、原稿をどのような画像として読み込むかを選びます。

■［明るさ］のスライダを動かして明るさを調整します。スライダを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127 ～ 127）を入力することもできます。

■カラーまたはグレースケールの画像のときは、［コントラスト］のスライダを動かしてコントラストを調整します。スライダを左に動かすとコントラストは弱まり、右に動かすと強くなります。数値(-127 ～ 127)を入力することもできます。

■［解像度］に解像度を入力します。50 ～ 600dpi の数値を指定できます。

→「解像度の決めかた」

■元の設定に戻すときは、［リセット］をクリックします。

3 ［OK］をクリックすると、指定した読み込みの設定が有効になり、［詳細プロパティ］画面が閉じます。
［キャンセル］をクリックすると、指定した読み込みの設定は無効になり、［詳細プロパティ］画面が閉じます。

→「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」

4

ファクス（ファクスモデルのみの機能）

パソコンから送信する（PC ファクス）

4章 ファクス（パソコンから送信する）

ファクスを送信する

印刷機能のあるアプリケーションから、ファクスドライバを使ってファクスを送信できます。送信先は 1 件だけ指定できます。いちどに 2 件以上に送信することはできません。

1 送信する文書をアプリケーション（Word など）で開き、印刷の操作をします。

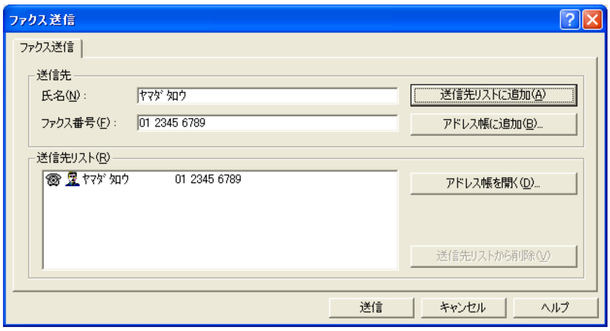
参考

ほとんどのアプリケーションでは、［ファイル］メニューの［印刷］を選びます。





2 ［印刷］画面の［プリンタの選択］欄または［プリンタ名］欄で「Canon MP740 FAX」を選び、［印刷］または［OK］をクリックします。



3 送信先の［氏名］と［ファクス番号］を半角文字で入力して、［送信先リストに追加］をクリックします。

参考

- ［ファクス番号］だけでも送信することができます。
- 氏名には、半角カナ英数字を使えます。
- ファクス番号には、0 から 9 までの数字、番号を区切るためのハイフン「-」やカッコ「( )」なども使えます。→「ファクス番号に使える文字と記号」
- 外線にかけるときは、外線接続番号を入力しなければならないことがあります。たとえば、電話番号「XXX-XXXX」の前に「0」をつけるときは、「0XXX-XXXX」と入力します。
- アドレス帳から送信先を指定することもできます。→「送信先をアドレス帳から選ぶ」
- 入力した送信先をアドレス帳に登録しておくと、次に同じ送信先に送信するときに使うことができます。→「送信先をアドレス帳に加える」

4 ［送信］をクリックします。

ファクス番号に使える文字と記号

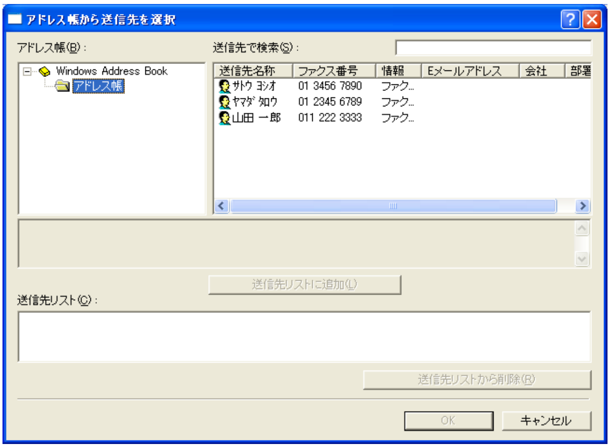
パソコンからファクスを送ったり、アドレス帳に送信先を登録するときは、次の文字や記号が使えます。

文字 / 記号	説明
0～9　＊　#	電話番号やファクス番号に使います。
,　p	番号の間にポーズを入れるときに使います。
P	番号の最後にポーズを入れるときに使います。
T	この後の電話番号はプッシュ（トーン）信号で発信されます。
＋ －　( )　スペース	番号を読みやすくするために使います。 ただし、スペースを番号の先頭に入れることはできません。

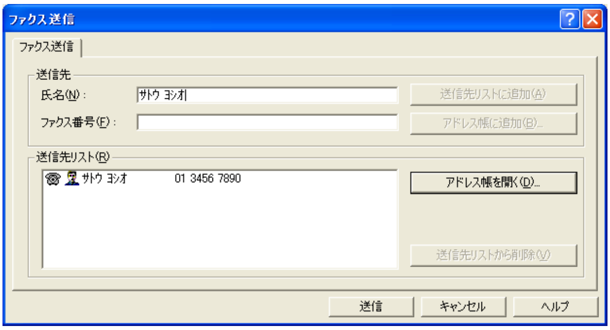
送信先をアドレス帳から選ぶ

アドレス帳から送信先を選ぶには、あらかじめアドレス帳を作成する必要があります。
→「アドレス帳に送信先を登録する、変更する」
［ファクス送信］画面（→「ファクスを送信する」）が表示された状態で、次のように操作してください。

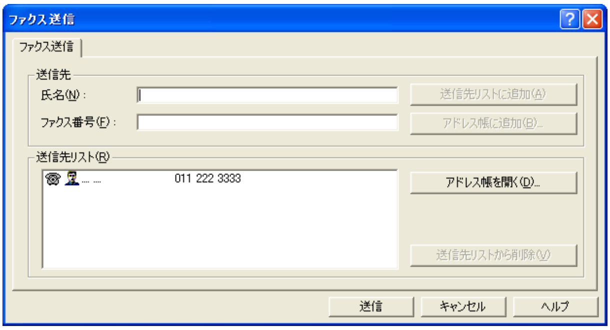
1 ［ファクス送信］画面で、［アドレス帳を開く］をクリックします。



2 ［アドレス帳から送信先を選択］画面で、送信先の一覧から送信先を選び、［送信先リストに追加］をクリックして、［OK］をクリックします。



アドレス帳の［姓］、［名］は、ファクスが送信先に届くと、ファクスのいちばん上の部分に印刷されます。ただし、漢字やひらがななどの全角文字は、［ファクス送信］画面の［送信先リスト］でピリオド（...）に置きかわって表示され、ファクスでもピリオド（...）で印刷されます。半角文字（英字、数字、カタカナ）は、登録した文字のとおりに印刷されます。



［姓］、［名］がピリオドで表示された例

アドレス帳の登録 →「アドレス帳に送信先を登録する、変更する」

3 **[ファクス送信］画面（→「ファクスを送信する」）の操作に戻ります。**

送信先をアドレス帳に加える

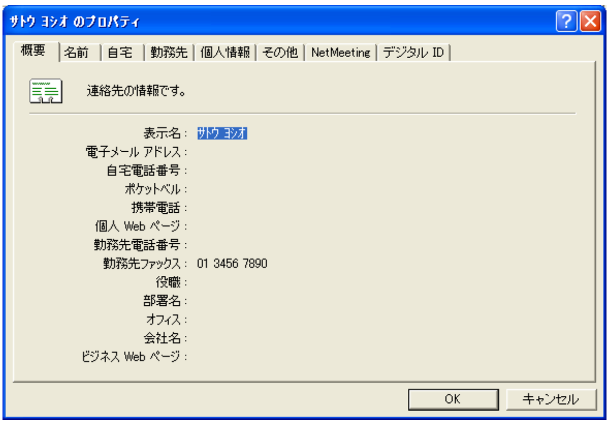
送信のために入力した送信先情報をアドレス帳に登録しておくと、それ以降に送信するファクスにも使えます。
［ファクス送信］画面が表示された状態で次のように操作してください。
→「ファクスを送信する」

1 **[ファクス送信］画面で、送信先の［氏名］を半角のカタカナまたは英数字で、［ファクス番号］を半角の英数字で入力します。**

2 **[アドレス帳に追加］をクリックします。**

はじめてアドレス帳を開いたときは、[Windows アドレス帳の設定] 画面が表示されます。→「はじめてアドレス帳を開いたとき」

二度目以降は次の画面が開きます。



［ファクス送信］画面に入力した送信先の情報は、連絡先のプロパティ画面の対応する項目に反映されます。

3 **必要があれば、その他の情報を入力し、[OK] をクリックします。**

アドレス帳の設定について →「アドレス帳に送信先（WAB 連絡先）を登録する」

4 **[ファクス送信］画面（→「ファクスを送信する」）の操作に戻ります。**

ファクス設定を変更する

ファクスの用紙サイズや印刷方向などの設定は次のようにしてかえます。

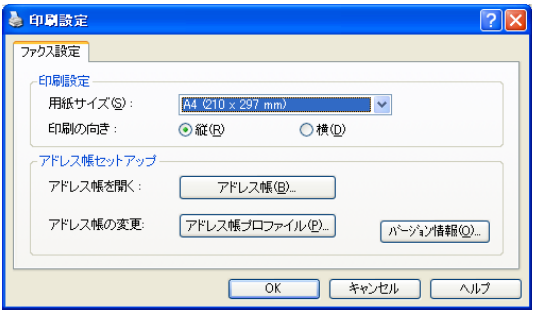
これから送信するファクスだけの設定をするには（[印刷] 画面から表示する方法）

1 送信する文書をアプリケーション（Word など）で開き、印刷の操作をします。

参考

ほとんどのアプリケーションでは、[ファイル] メニューの [印刷] を選びます。

2 [印刷] 画面の [プリンタの選択] 欄または [プリンタ名] 欄で [Canon MP740 FAX] を選び、[プロパティ] または [ファクス設定] タブ（Windows XP のときは、[詳細設定]）をクリックします。



3 用紙サイズや印刷の向きを指定します。

4 [OK] をクリックします。

送信するすべてのファクスに適用されるように設定するには（プリンタのアイコンから表示する方法）

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから［プリンタと FAX］）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

Windows 2000/XP のとき：

○［Canon MP740 FAX］のアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows 98/Me のとき：

○［Canon MP740 FAX］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［プリンタの設定］をクリックします。

3 用紙サイズや印刷の向きを指定します。

4 ［OK］をクリックします。

アドレス帳に送信先を登録する、変更する

アドレス帳を使うと、簡単に送信先を指定してファクスを送れます。アドレス帳には、送信先の名前、ファクス番号などを登録します。
送信先を登録したり、変更するときは、アドレス帳を［プリンタ］画面から開きます。
ファクスを送信するときに開く方法 →「送信先をアドレス帳から選ぶ」

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから［プリンタと FAX］）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

Windows 2000/XP のとき：

○ ［Canon MP740 FAX］のアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows 98/Me のとき：

○ ［Canon MP740 FAX］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［プリンタの設定］をクリックします。



3 ［ファクス設定］画面で［アドレス帳］をクリックします。

はじめてアドレス帳を開いたときは、［Windows アドレス帳の設定］画面が表示されます。→「はじめてアドレス帳を開いたとき」

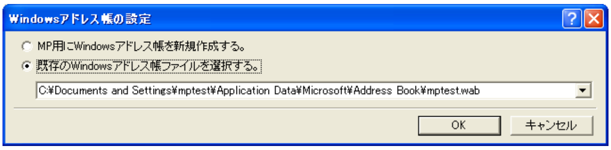
二度目以降は次の画面が開きます。



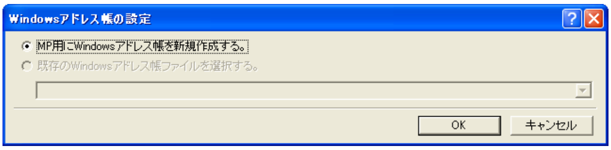
→「アドレス帳に送信先（WAB 連絡先）を登録する」
→「送信先の検索・削除」
→「別の Windows アドレス帳を使う」
→「アドレス帳のインポート」

はじめてアドレス帳を開いたとき

はじめてアドレス帳を開いたときは、[Windows アドレス帳の設定] 画面が表示されます。



Windows アドレス帳に連絡先が登録されているとき



Windows アドレス帳に連絡先が登録されていないとき

本ソフトウェア専用の Windows アドレス帳（WAB ファイル）を新規作成するとき：

○ **[MP 用に Windows アドレス帳を新規作成する。] をクリックして、[OK] をクリックします。**

あとで別のアドレス帳を使うように設定をかえることもできます。

→「別の Windows アドレス帳を使う」

既存の Windows アドレス帳を使うとき：

○ [既存の Windows アドレス帳ファイルを選択する。] をクリックして、[OK] をクリックします。

既存のアドレス帳を使うと、他の Windows アドレス帳を使うアプリケーションと共用することができます。本ソフトウェア専用に別のアドレス帳ファイルを作ることはできません。

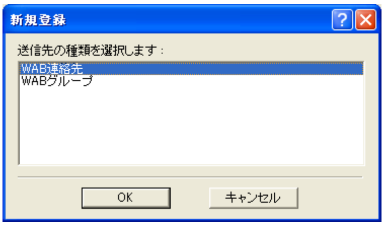
[OK] をクリックすると、[アドレス帳] 画面や [アドレス帳から送信先を選択] 画面、連絡先のプロパティ画面が表示されます。
[アドレス帳] 画面 →「アドレス帳に送信先を登録する、変更する」
[アドレス帳から送信先を選択] 画面 →「送信先をアドレス帳から選ぶ」
連絡先のプロパティ画面 →「送信先をアドレス帳に加える」

アドレス帳に送信先（WAB 連絡先）を登録する

アドレス帳には、個人の送信先（WAB 連絡先）を登録できます。WAB 連絡先とは、Windows アドレス帳（Windows Address Book）に登録する個人の連絡先情報のことです。

[アドレス帳] 画面（→「アドレス帳に送信先を登録する、変更する」）を開いて、次のように操作します。

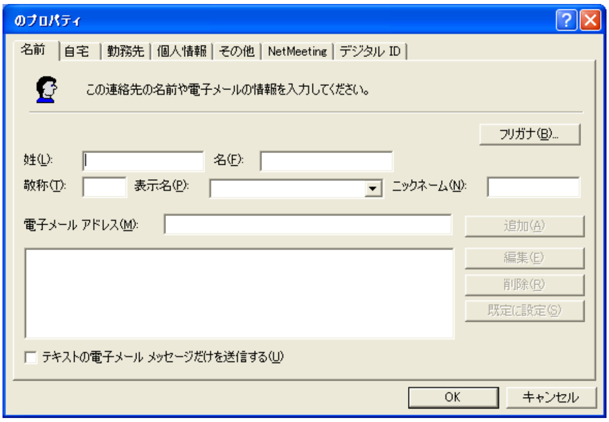
1 [アドレス帳] 画面の [新規] をクリックします。



2 [WAB 連絡先] をクリックして、[OK] をクリックします。

参考

ファクスの送信先は 1 件だけ指定できます。[WAB グループ]（複数の送信先）を指定することはできません。



3 [名前] タブで [姓] と [名] を入力します。

4 [自宅] タブまたは [勤務先] タブでファクス番号を入力します。

[姓]、[名] は、ファクスが送信先に届くと、ファクスのいちばん上の部分に印刷されます。ただし、漢字やひらがななどの全角文字で登録するとピリオド（...）に置きかわって印刷されます。半角文字（英字、数字、カタカナ）は、登録した文字のとおりに印刷されます。

連絡先の内容を変更するには

[アドレス帳] 画面 （→「アドレス帳に送信先を登録する、変更する」）を開いて、次のように操作します。

1 [アドレス帳] 画面の送信先の一覧で、変更する送信先をクリックして、[プロパティ] をクリックします。

2 連絡先のプロパティ画面で変更を行い、[OK] をクリックします。

送信先の検索・削除

アドレス帳の送信先を検索するには

[アドレス帳] 画面 （→「アドレス帳に送信先を登録する、変更する」）を開いて、次のように操作します。

1 [名前を入力するか、リストから選択する] 欄に名前を入力します。

入力した名前の送信先があれば、送信先一覧に表示され、その送信先が選択された状態になります。名前以外で送信先を検索することはできません。

アドレス帳の送信先を削除するには

［アドレス帳］画面（→「アドレス帳に送信先を登録する、変更する」）を開いて、次のように操作します。

1 送信先一覧で名前をクリックし、［削除］をクリックします。

2 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

別の Windows アドレス帳を使う

現在使っているアドレス帳とは別のアドレス帳を使いたいときは、次のように操作してください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから［プリンタとFAX］）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

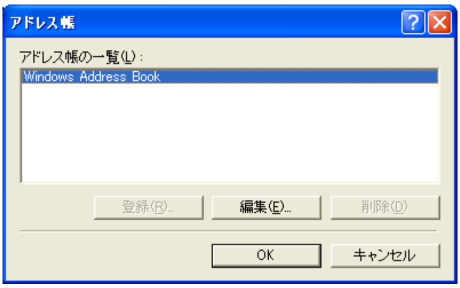
Windows 2000/XP のとき：

○ ［Canon MP740 FAX］のアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

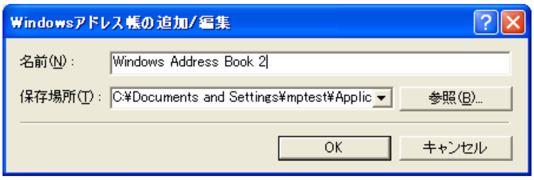
Windows 98/Me のとき：

○ ［Canon MP740 FAX］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［プリンタの設定］をクリックします。

3 ［ファクス設定］画面で［アドレス帳プロファイル］をクリックします。



4 [アドレス帳] 画面の [Windows Address Book] をクリックして、[編集] をクリックします。



5 [Windows アドレス帳の追加 / 編集] 画面で、WAB ファイルの名前を入力して、[参照] をクリックします。

6 [WAB ファイルを選択します] 画面で、WAB ファイルを選んで、[開く] をクリックします。

7 [Windows アドレス帳の追加 / 編集] 画面で、[OK] をクリックします。

8 [アドレス帳] 画面で、[OK] をクリックします。

アドレス帳のインポート

Windows アドレス帳ファイルを別の Windows アドレス帳ファイルにインポートして、ひとつのファイルにまとめることができます。
たとえば、ファクス送信のために作ったアドレス帳ファイルを、既存のアドレス帳ファイルにインポートできます。
既存の Windows アドレス帳ファイルに、ファクス送信用の Windows アドレス帳ファイルをインポートしたいときは、次のように操作します。

1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[検索] → [ファイルやフォルダ](Windows XP のときは、[ファイルとフォルダすべて])をクリックします。

2 ファイル名を入力する欄に「*.wab」と入力して、[検索開始](Windows XP のときは、[検索])をクリックします。

重要

Windows アドレス帳ファイルを検索するときは、Windows で隠しファイルとフォルダを表示してください。隠しファイルとフォルダの表示方法は、Windows のヘルプをご覧ください。

Windows XP のときは、[検索結果] 画面で、[詳細設定オプション] の [隠しファイルとフォルダの検索] にチェックマークをつけます。

3 検索された Windows アドレス帳ファイルのうち、既存の Windows アドレス帳ファイルをダブルクリックして開きます。

4 ［ファイル］メニューの［インポート］の［アドレス帳（WAB)］を選びます。

5 ファクス送信用の Windows アドレス帳ファイルを選んで、［開く］をクリックします。

6 完了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

用語解説

C

Canon ColorGear（カラーギア）カラーマッチング

キヤノン独自の色処理技術を採用し、高速で高精度な処理を実現するカラーマネジメントシステム。業界標準フォーマットである「ICC プロファイル」に対応し、ICC プロファイルに記述されたカラー機器の特性を使った高度な色管理を実現します。多くのキヤノン製品に採用されています。

D

dpi（ディー・ピー・アイ）（dots per inch）

1 インチあたりのドット数。モニタやプリンタの解像度の単位。

E

Exif（エグジフ）（Exchangeable image file format）

サムネイルや撮影情報など、画像以外の付加情報をファイル内部に記録できる画像データ形式。撮影情報には、撮影日、シャッタースピード、絞り値などがあり、Exif 対応の画像管理ソフトウェアで参照することができます。

I

ICM（アイ・シー・エム）（Image Color Management）

スキャナ、モニタ、プリンタなどの色彩をできるだけ近づけるための Windows のカラーマネージメントシステム。ICM をサポートしているアプリケーションから印刷するときにしか使えません。

O

OCR（オー・シー・アール）（Optical Character Reader）

光学式文字読み取り装置。スキャナなどを使って手書きの文字や印刷された文字を読み込み、その画像から文字情報を抽出するシステム。スキャナで読み込んだ画像のままでは、ワープロなどで文字を修正することはできませんが、OCR ソフトウェアを使ってテキストファイルにすれば、ワープロなどで編集したり修正したりすることができます。

P

PDF（ピー・ディー・エフ）ファイル（Portable Document Format file）

アドビシステムズ社による文書フォーマット。閲覧用ソフトウェア Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader を使うと、閲覧者の環境が違っても、同じように見ることができます。MP Toolbox は、スキャンした原稿を PDF ファイルとして保存できます。また、簡単なキーワード検索ができるように、原稿の中の文字をテキスト情報にして、PDF ファイルに持たせることができます。

T

TWAIN（Technology Without An Interested Name）

トゥェイン

スキャナやデジタルカメラなどのデバイスからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格。スキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）の標準規格。装置とアプリケーションの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持つことができます。

たとえば、TWAIN 対応の画像処理ソフトウェアを使うときは、そのソフトウェアのメニューからスキャナの TWAIN ドライバ（ScanGear MP）を起動してスキャンし、スキャンした画像を元の画像処理ソフトウェアに渡すことができます。

U

USB（Universal Serial Bus）

キーボード、マウス、プリンタなどをパソコンと接続するための方式。USB ケーブルを使って接続します。USB ケーブルを差し込む接続口は USB ポートといいます。

W

WAB 連絡先

Windows アドレス帳（Windows Address Book）の個人のデータ。ひとりにつき、ひとつの WAB 連絡先を作ります。

複数の WAB 連絡先を集めてひとつのデータにしたものが WAB グループ。

WIA（Windows Image Acquisition）

ダブリュー・アイ・エー

スキャナやデジタルカメラから画像を読み込むための規格。本機には、スキャナドライバとして、TWAIN 対応の ScanGear MP と WIA 対応ドライバのふたつが用意されています。WIA ドライバは、Windows XP のときにだけ使えます。どちらも TWAIN インタフェースをサポートしているアプリケーション（Photoshop など）で、プリンタ本体を使って原稿を読み込むことができます。

Windows アドレス帳（Windows Address Book）

Outlook Express や Outlook で使われる、Windows 標準のアドレス帳。

あ

アプリケーション（application）

アプリケーション・ソフトウェアの略。ワープロ・ソフトウェア、表計算ソフトウェア、データベース・ソフトウェアなどの、特定の目的のために作られたソフトウェア。または、それらを統合したソフトウェア。

アンインストール（uninstall）

インストールしたソフトウェアを削除して、インストールする前の状態に戻すこと。

インストール（install）

ソフトウェアをパソコンのハードディスクの所定の位置にコピーし、いつでも使える状態にすること。

インポート（import）

他のアプリケーションで作った情報を取り込むこと。

オートシートフィーダ（Auto Sheet Feeder）（ASF）

印刷に使う用紙をセットする部分。印刷するときに自動的に用紙をプリンタ本体の中に引き込みます。

か

ガンマ（ガンマ補正）（gamma correction）

画像の明るさをかえる方法。画像のいちばん暗い部分と明るい部分はかえずに、中間調の部分を中心に明るさをかえるので、コントラストを保ったままで明るさをかえることができます。

給紙

印刷するために、用紙をプリンタ本体の内部に引き込むこと。または、印刷するために、用紙をプリンタ本体にセットすること。

グラフィックス（graphics）

イラストやグラフなど。

マッチング方法でグラフィックスを選ぶと、くっきりした色で印刷されます。イラストやグラフ、地図などの印刷をするときに選んでください。やわらかい階調を出したい写真などの印刷には適していません。

グレースケール（gray scale）

白黒画像を中間調を使って表す方法。

クロップ（crop）

画像の一部分を長方形に選ぶ動作。ScanGear MP のツールバーにあるクロップボタンを使って、プレビュー画像の一部分を選び、その部分だけを再度プレビューしたり、スキャンしたりすることができます。

さ

再インストール（reinstall）

インストールしてあったソフトウェアを、いったん削除（アンインストール）して、再度インストールすること。

スキャナドライバ（scanner driver）

スキャナを制御するためのソフトウェア。本機には「ScanGear MP」と WIA ドライバ（Windows XP 用）が付属しています。

は

バックグラウンド印刷

パソコンでほかの作業をしながら、同時に印刷を行うこと。バックグラウンド印刷にすると、たとえば、ワープロで印刷しながら、文書を修正することができます。バックグラウンド印刷でない状態にすると、印刷が終わるまで、パソコンでほかの操作ができません。

プリンタドライバ

プリンタを制御するソフトウェア。

プレビュー（preview）

実際に印刷したり画像を読み込む前に、どのように印刷またはスキャンされるかを画面に表示したもの。プレビューが印刷またはスキャンしたいイメージとちがうときは、設定をかえて、もう一度プレビューを表示し、確認します。

ま

マルチページ PDF（multi page PDF）

スキャンした複数の原稿を 1 つの PDF ファイルに保存します。それぞれの原稿が、PDF ファイルの 1 ページになります。

索引